

岩見沢市国民健康保険
第2期データヘルス計画
第3期特定健康診査等実施計画

平成30年3月
岩見沢市

第1章 保険者の特性把握と分析結果		
1. 分析の背景		5
2. 保険者の特性把握		6
(1) 基本情報		6
(2) 医療費等の状況		9
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況		10
① 特定健康診査		10
② 特定保健指導		12
(4) 介護保険の状況		14
(5) 主たる死因の状況		18
3. 医療情報分析結果		20
(1) 基礎統計		20
(2) 高額レセプトの件数及び医療費		22
① 高額レセプトの件数及び割合		22
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向		24
(3) 疾病別医療費		28
① 大分類による疾病別医療費統計		28
② 中分類による疾病別医療費統計		32
第2章 第2期データヘルス計画		
1. 計画策定について		44
(1) 背景		44
(2) 計画期間		44
(3) 基本方針		45
(4) データヘルス計画の位置づけ		46
(5) 実施体制・関係者連携		46
2. 過去の取組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)		47
(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況		47
(2) 第1期データヘルス計画の各事業実施内容		49
① 特定保健指導事業		49
② 糖尿病性腎症重症化予防事業		50
③ 受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)		51
④ 健診異常値放置者受診勧奨事業		52
⑤ 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業		52
⑥ ジェネリック医薬品差額通知事業		53
⑦ 薬剤併用禁忌防止事業		54
⑧ 高血圧症重症化予防事業		55
⑨ COPD 予防受診勧奨事業		56
3. 保健事業実施に係る分析結果		57
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析		57
(2) 特定健康診査に係る分析		58
(3) 特定保健指導に係る分析		60
(4) 健診異常値放置者に係る分析		62

	(5)生活習慣病治療中断者に係る分析	64
	(6)糖尿病性腎症重症化予防に係る分析	66
	(7)受診行動適正化に係る分析	70
	(8)ジェネリック医薬品普及率に係る分析	73
	(9)薬剤併用禁忌に係る分析	76
	(10)服薬情報に係る分析	78
4.	分析結果に基づく健康課題の把握	80
	(1)分析結果	80
	(2)分析結果に基づく課題とその対策	85
5.	保健事業実施計画	87
	(1)各事業の目的と概要一覧	87
	(2)全体スケジュール	89
	(3)各事業の実施内容と評価方法	90
	①特定健康診査受診勧奨事業	90
	②特定保健指導事業	92
	③糖尿病性腎症重症化予防事業	94
	④受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)	96
	⑤健診異常値放置者受診勧奨事業	98
	⑥ジェネリック医薬品差額通知事業	101
	⑦薬剤併用禁忌防止事業	103
	⑧高血圧重症化予防事業	106
	⑨COPD予防受診勧奨事業	108
6.	その他	111
	(1)データヘルス計画の見直し	111
	①評価	111
	②評価時期	111
	(2)計画の公表・周知	111
	(3)個人情報の取り扱い	112
	(4)地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	112
第3章 第3期特定健康診査等実施計画		
1.	計画策定について	113
	(1)背景	113
	(2)計画期間	113
	(3)基本方針	113
	(4)計画の位置づけ	113
2.	メタボリックシンドローム関連疾病の状況等	114
	(1)メタボリックシンドローム関連疾病の状況	114
	(2)月額80万円以上の高額レセプトの状況	114
3.	特定健康診査及特定保健指導の実施状況	115
	(1)特定健康診査及び特定保健指導の実施状況	115
	(2)これまでの取組みに対する評価	115
	(3)特定健康診査等の実施目標	116

(4) 特定健康診査等対象者の推計	116
① 特定健康診査	116
② 特定保健指導	116
4. 実施目標達成のための方策	117
(1) 受診率向上に向けた特定健康診査等に関する情報提供	117
(2) 特定健康診査等の未受診者対策	117
(3) 受診しやすい環境の整備	118
(4) 定期治療者に対する受診支援	118
(5) 検査項目の充実と自己負担の無料化	118
5. 特定健康診査等の実施方法	119
(1) 実施項目	119
(2) 実施場所及び実施期間	120
(3) 周知・案内方法	120
(4) 受信方法	120
6. 特定保健指導の実施方法	121
(1) 対象者の選定基準	121
(2) 実施項目	121
(3) 実施場所及び実施期間	122
(4) 周知・案内方法	122
7. その他	123
(1) 実施計画の公表・周知	123
(2) 個人情報の保護	123
(3) 実施計画の評価	123
(4) 実施計画の見直し	123
巻末資料	
1. 地区分析	
(1) 大分類による疾病別医療費地区別統計	
(2) 中分類による疾病別医療費地区別統計	
2. 年度別 特定健康診査結果分析	
(1) 有所見者割合	
(2) 質問別回答状況	
3. その他	
(1) 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	
(2) 用語解説集	
(3) 疾病分類	

第1章

保険者の特性把握と分析結果

1. 分析の背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取組むべき健康課題、中長期的に取組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月4日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

※医療費分解技術(特許第4312757号)	レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。
※傷病管理システム(特許第5203481号)	レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。
※レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)	中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ
平成26年度～平成28年度(3年分)
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12か月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12か月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)
- ・ 健康診査データ
単年分析
平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12か月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12か月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)

2. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

本市の平成28年度における、人口構成概要を以下に示す。高齢化率(65歳以上)は27.8%であり、道との比較で1.1倍、同規模との比較で1.2倍となっている。また、国民健康保険被保険者数は19,517人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は21.7%である。国民健康保険被保険者平均年齢は55.1歳である。

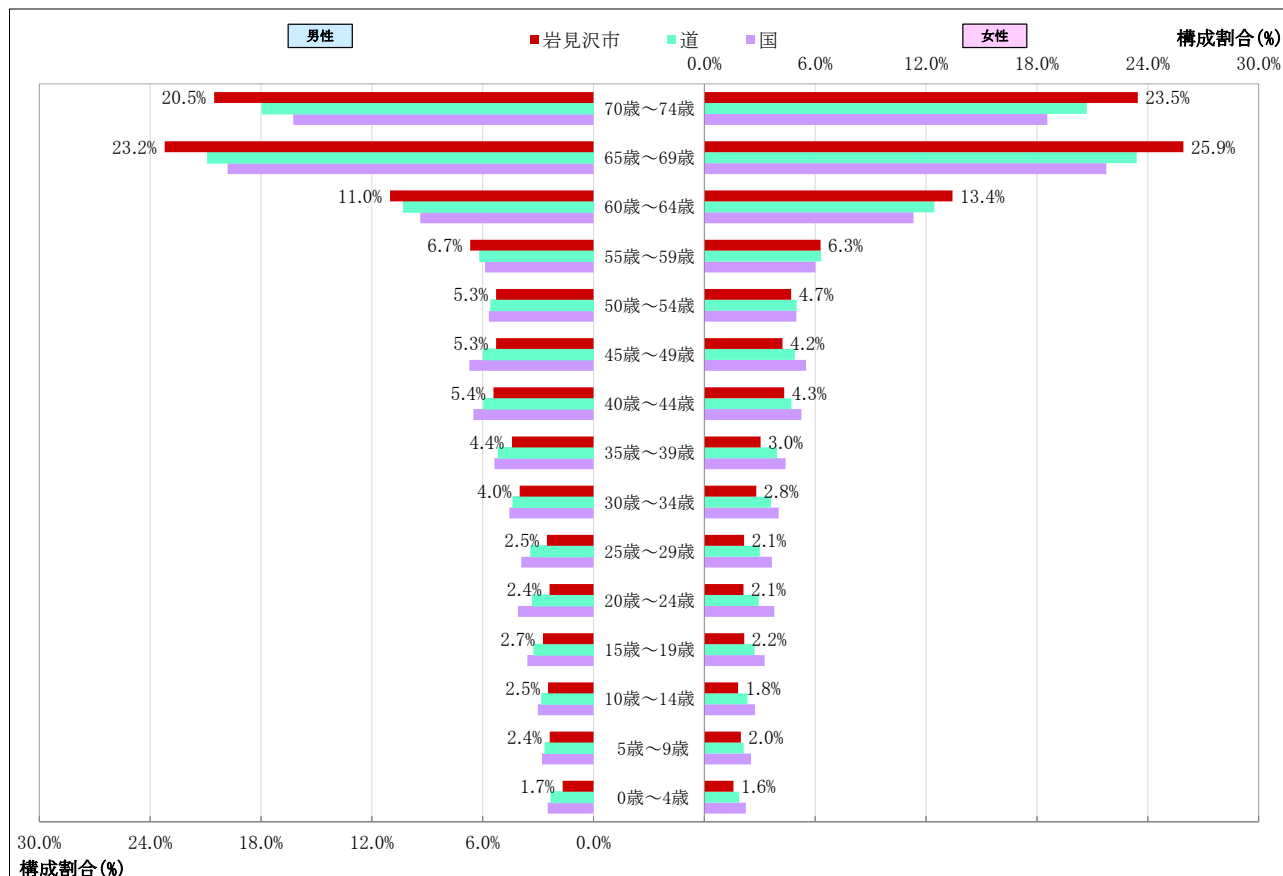
人口構成概要(平成28年度)

	人口総数(人)	高齢化率(65歳以上)	国保被保険者数(人)	国保加入率	国保被保険者平均年齢(歳)	出生率	死亡率
岩見沢市	89,929	27.8%	19,517	21.7%	55.1	6.6%	11.5%
道	5,475,176	24.8%	1,312,713	24.0%	52.6	7.3%	10.1%
同規模	68,973	24.1%	16,979	24.7%	52.8	8.4%	10.1%
国	124,852,975	23.2%	32,587,223	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

※「道」は北海道を指す。以下すべての表において同様である。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」

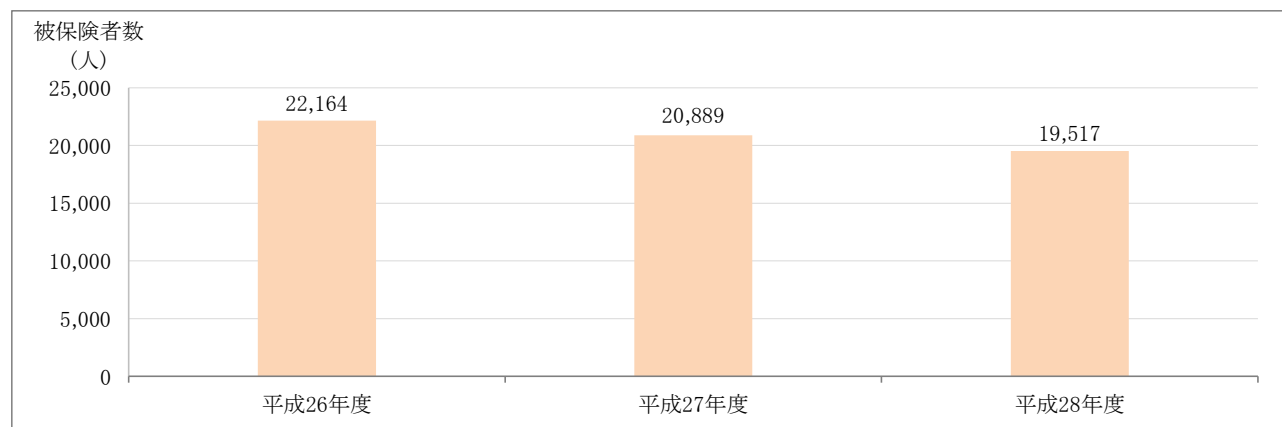
本市の平成26年度から平成28年度における、人口構成概要を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、国民健康保険被保険者数19,517人は平成26年度22,164人より2,647人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢55.1歳は平成26年度53.7歳より1.4歳上昇している。

年度別 人口構成概要

区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
岩見沢市	平成26年度	89,929	27.8%	22,164	24.6%	53.7	6.6%	11.5%
	平成27年度	89,929	27.8%	20,889	23.2%	54.4	6.6%	11.5%
	平成28年度	89,929	27.8%	19,517	21.7%	55.1	6.6%	11.5%
道	平成26年度	5,475,176	24.8%	902,766	27.9%	51.7	7.3%	10.1%
	平成27年度	5,475,176	24.8%	1,382,094	25.2%	52.1	7.3%	10.1%
	平成28年度	5,475,176	24.8%	1,312,713	24.0%	52.6	7.3%	10.1%
同規模	平成26年度	68,299	24.2%	18,546	27.1%	51.7	8.3%	10.1%
	平成27年度	68,241	24.2%	17,773	26.1%	52.2	8.4%	10.1%
	平成28年度	68,973	24.1%	16,979	24.7%	52.8	8.4%	10.1%
国	平成26年度	124,852,975	23.2%	32,318,324	28.8%	50.3	8.6%	9.6%
	平成27年度	124,852,975	23.2%	33,767,446	28.2%	50.4	8.6%	9.6%
	平成28年度	124,852,975	23.2%	32,587,223	26.9%	50.7	8.6%	9.6%

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

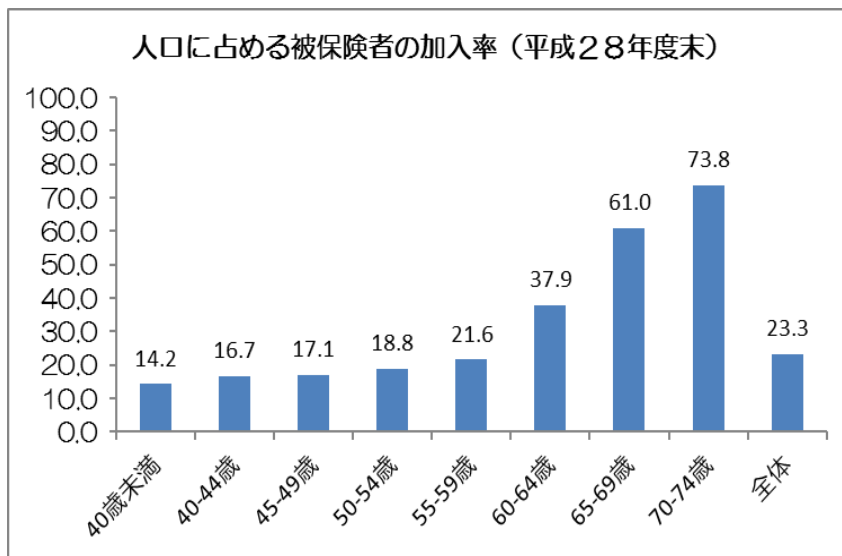
年度別 被保険者数



出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

年代別被保険者数の状況

平成28年度末の人口に占める被保険者の加入率は約23.3%で、年代が高くなるにつれて、加入率も上昇している。



医療費の経年比較

被保険者数の減少により総医療費、受診件数も減少傾向であるが、一人当たり医療費、一件当たり医療費はともに増加傾向となっている。

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
年間平均被保険者数(人)	23,132	22,387	21,495	20,085
総医療費(千円)	8,543,207	8,549,307	8,390,688	8,224,786
受診件数(件)	343,000	336,317	326,360	308,286
受診率(件/100人)	1,482.79	1,502.28	1,518.30	1,534.90
一人当たり医療費(円)	369,324	381,887	390,355	409,499
一件当たり医療費(円)	24,907	25,420	25,975	26,201

(2) 医療費等の状況

本市の平成28年度における、医療基礎情報を以下に示す。

医療基礎情報(平成28年度)

医療項目	岩見沢市	道	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.4	0.4	0.3	0.3
診療所数	2.9	2.6	2.8	3.0
病床数	89.3	73.6	50.3	46.8
医師数	9.1	9.9	7.5	9.2
外来患者数	711.4	646.1	688.2	668.3
入院患者数	26.1	22.9	19.8	18.2
受診率	737.5	669.0	708.0	686.5
一件当たり医療費(円)	41,430	41,530	36,130	35,330
一般(円)	41,410	41,400	36,080	35,270
退職(円)	42,550	47,000	37,660	37,860
後期(円)	0	0	0	0
外来				
外来費用の割合	55.0%	55.2%	59.3%	60.1%
外来受診率	711.4	646.1	688.2	668.3
一件当たり医療費(円)	23,620	23,750	22,060	21,820
一人当たり医療費(円)	16,800	15,340	15,180	14,580
一日当たり医療費(円)	16,210	16,160	14,130	13,910
一件当たり受診回数	1.5	1.5	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	45.0%	44.8%	40.7%	39.9%
入院率	26.1	22.9	19.8	18.2
一件当たり医療費(円)	526,770	543,800	524,900	531,780
一人当たり医療費(円)	13,760	12,440	10,400	9,670
一日当たり医療費(円)	29,780	34,470	32,470	34,030
一件当たり在院日数	17.7	15.8	16.2	15.6

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

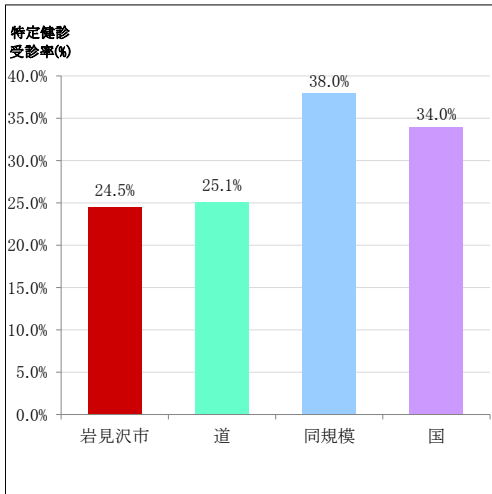
本市の平成28年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

特定健康診査受診率(平成28年度)

	特定健診受診率
岩見沢市	24.5%
道	25.1%
同規模	38.0%
国	34.0%

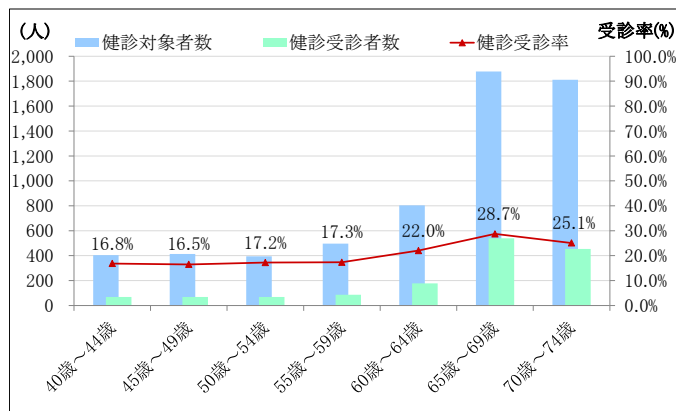
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

特定健康診査受診率(平成28年度)

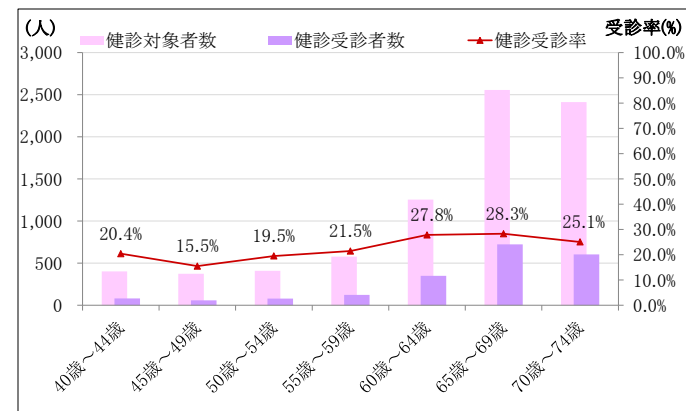


出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(男性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)



(女性) 年齢別特定健康診査受診率(平成28年度)

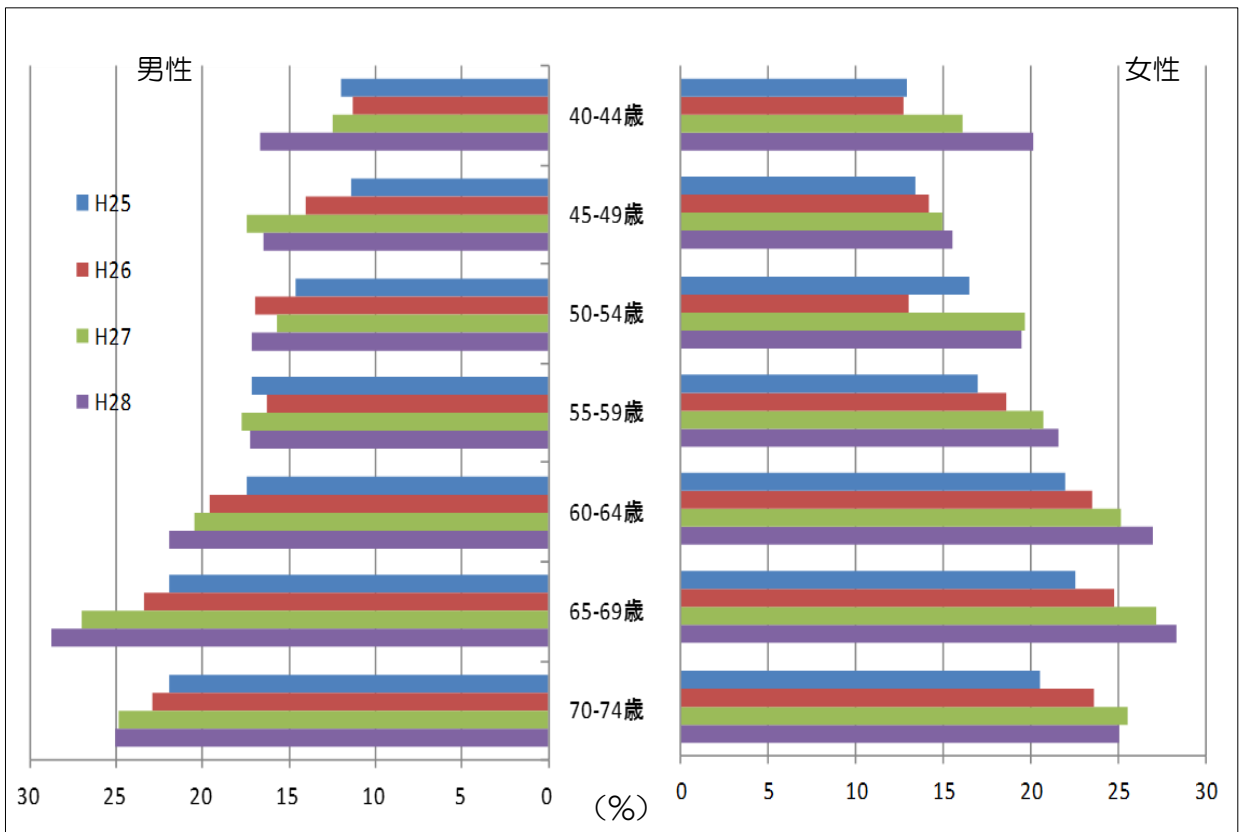


出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

受診率は、平成25年度から全ての年齢層で向上しており、全体では毎年約4%～10%向上している。また、ほとんどの年代層で女性の方が男性より高く、40歳代から50歳代の男性の受診率が低い傾向にあり、男女とも年齢が上がるにつれて受診率が上がっている。

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
対象者数(人)	15,906	15,544	14,928	14,180
受診者数(人)	3,102	3,289	3,500	3,481
受診率(%)	19.5	21.2	23.4	24.5

平成25年度からの特定健診受診率の推移



②特定保健指導

本市の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を以下に示す。

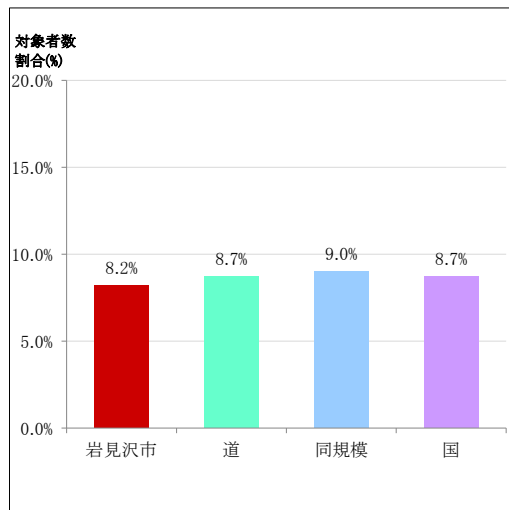
特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
岩見沢市	8.2%	2.5%	10.7%	9.7%
道	8.7%	3.1%	11.9%	3.5%
同規模	9.0%	2.9%	11.9%	5.2%
国	8.7%	3.2%	11.9%	4.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

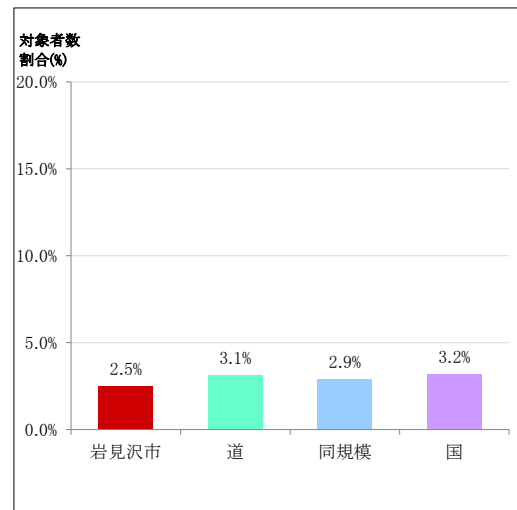
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



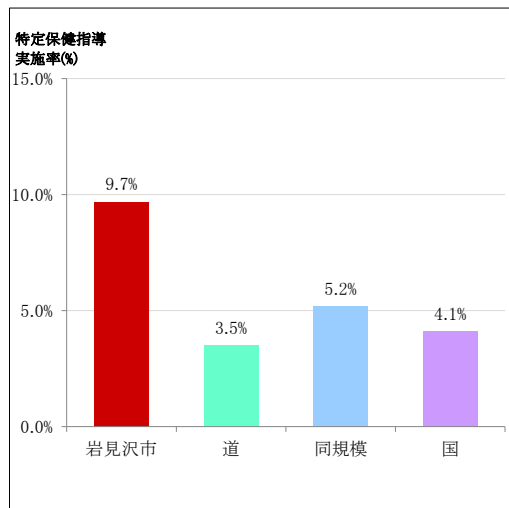
出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示す。
平成28年度の特定保健指導実施率9.7%は平成26年度11.1%より1.4ポイント低下している。

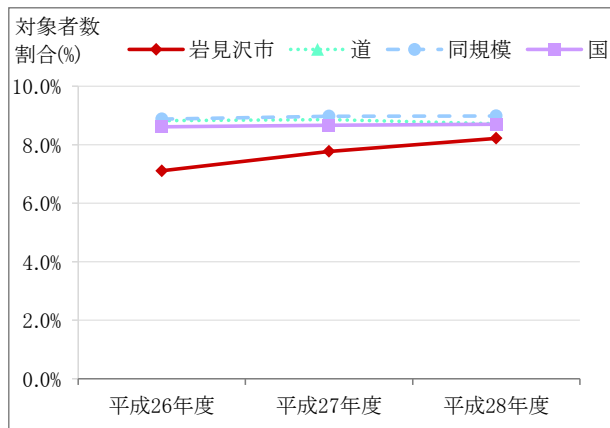
年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
岩見沢市	7.1%	7.8%	8.2%	3.0%	3.0%	2.5%	10.1%	10.7%	10.7%	11.1%	6.9%	9.7%
道	8.8%	8.9%	8.7%	3.6%	3.4%	3.1%	12.4%	12.3%	11.9%	20.7%	22.3%	3.5%
同規模	8.9%	9.0%	9.0%	3.2%	3.0%	2.9%	12.1%	12.0%	11.9%	26.7%	28.3%	5.2%
国	8.6%	8.7%	8.7%	3.4%	3.3%	3.2%	12.0%	12.0%	11.9%	19.9%	20.2%	4.1%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

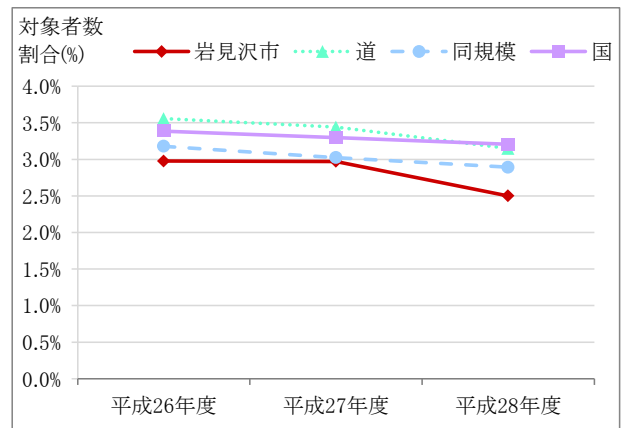
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 動機付け支援対象者数割合



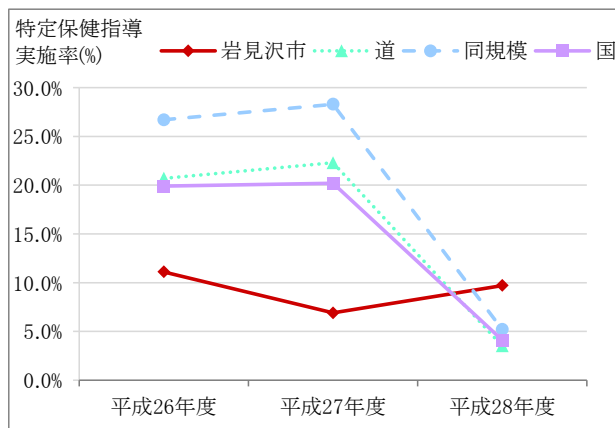
出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 積極的支援対象者数割合



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

年度別 特定保健指導実施率



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(4) 介護保険の状況

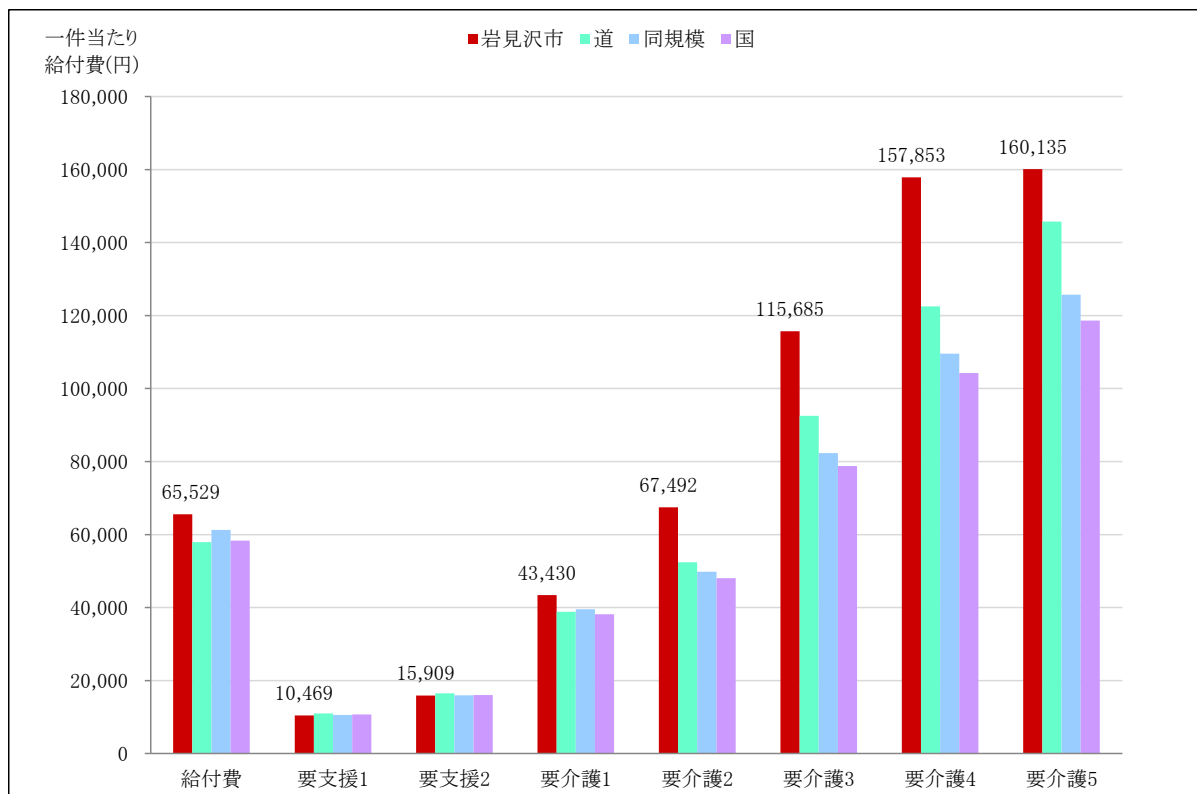
本市の平成28年度における、認定率及び給付費等の状況を以下に示す。

認定率及び給付費等の状況(平成28年度)

区分	岩見沢市	道	同規模	国
認定率	22.5%	23.0%	20.2%	21.2%
認定者数(人)	5,849	322,645	913,701	6,034,085
第1号(65歳以上)	5,734	315,124	891,715	5,882,340
第2号(40～64歳)	115	7,521	21,986	151,745
一件当たり給付費(円)				
給付費	65,529	57,953	61,236	58,349
要支援1	10,469	10,965	10,581	10,730
要支援2	15,909	16,489	15,951	15,996
要介護1	43,430	38,833	39,501	38,200
要介護2	67,492	52,378	49,847	48,047
要介護3	115,685	92,508	82,302	78,791
要介護4	157,853	122,518	109,598	104,264
要介護5	160,135	145,754	125,708	118,599

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成28年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

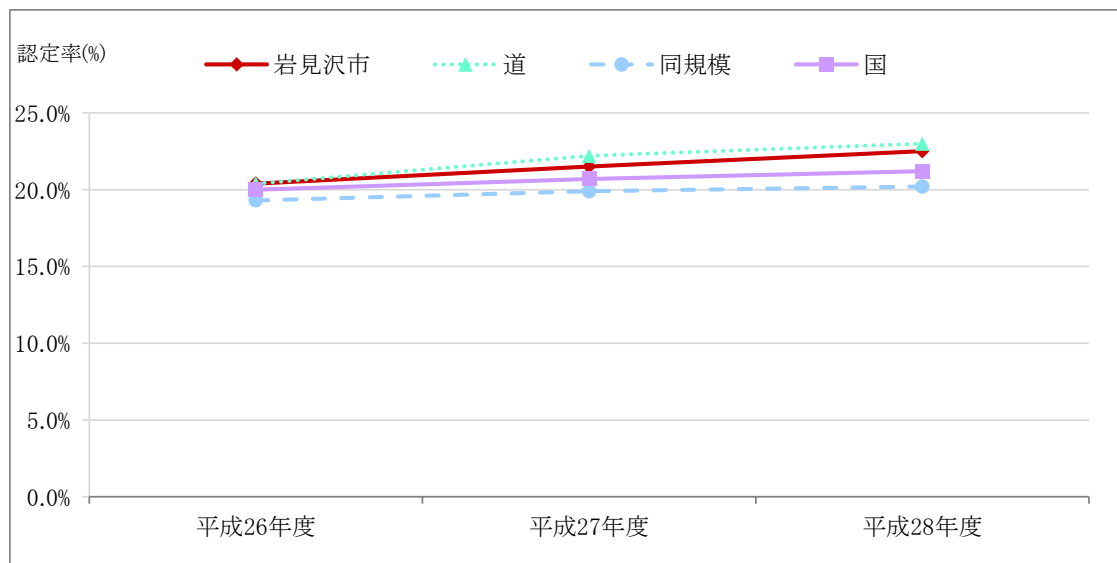
平成26年度から平成28年度における、認定率及び認定者数を年度別に示す。平成28年度認定率22.5%は平成26年度20.4%より2.1ポイント上昇しており、平成28年度の認定者数5,849人は平成26年度5,347人より502人増加している。

年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
			第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)	
岩見沢市	平成26年度	20.4%	5,347	5,232	115
	平成27年度	21.5%	5,599	5,466	133
	平成28年度	22.5%	5,849	5,734	115
道	平成26年度	20.4%	186,821	182,098	4,723
	平成27年度	22.2%	292,275	285,208	7,067
	平成28年度	23.0%	322,645	315,124	7,521
同規模	平成26年度	19.3%	883,689	860,333	23,356
	平成27年度	19.9%	908,391	885,519	22,872
	平成28年度	20.2%	913,701	891,715	21,986
国	平成26年度	20.0%	5,324,880	5,178,997	145,883
	平成27年度	20.7%	5,751,982	5,602,383	149,599
	平成28年度	21.2%	6,034,085	5,882,340	151,745

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成28年度における、認定者の疾病別有病率を以下に示す。疾病別の有病者数を合計すると17,008人となり、認定者は平均2.9疾病を有していることがわかる。

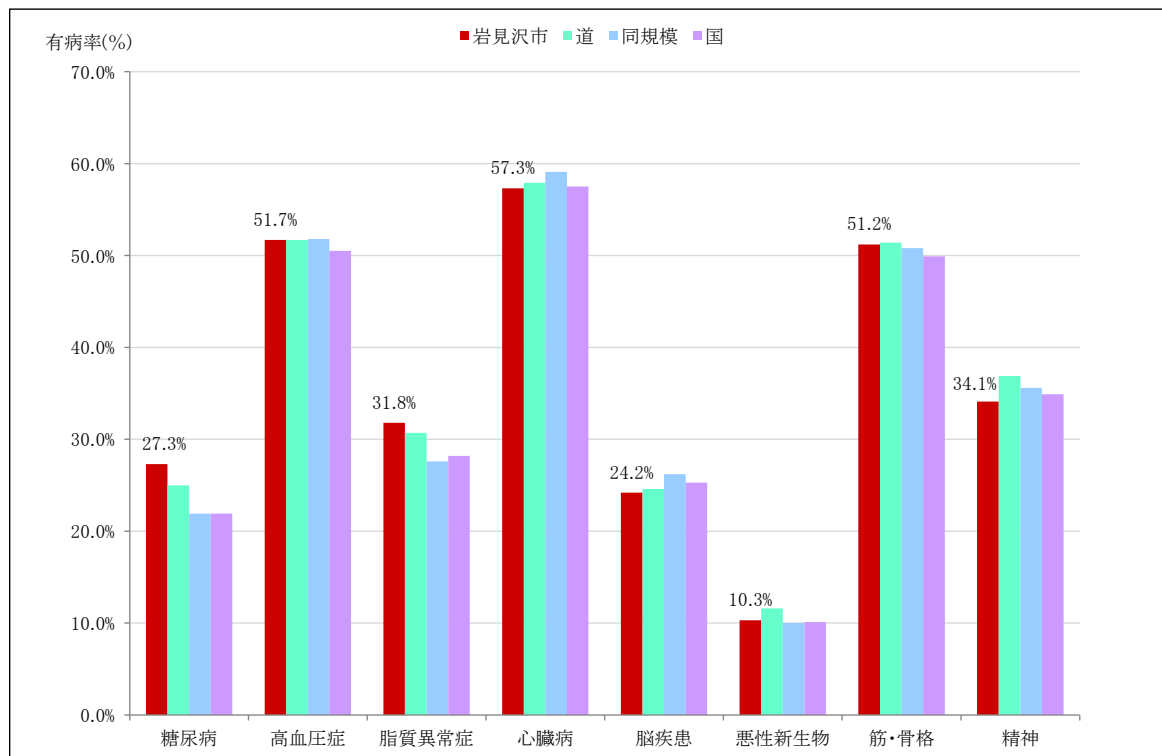
認定者の疾病別有病状況(平成28年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	岩見沢市	順位	道	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	5,849		322,645		913,701		6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	1,634	82,243	6	203,607	7	1,343,240	7
	有病率	27.3%	25.0%	6	21.9%	7	21.9%	7
高血圧症	実人数(人)	3,041	169,499	2	478,594	2	3,085,109	2
	有病率	51.7%	51.7%	2	51.8%	2	50.5%	2
脂質異常症	実人数(人)	1,867	100,850	5	255,994	5	1,733,323	5
	有病率	31.8%	30.7%	5	27.6%	5	28.2%	5
心臓病	実人数(人)	3,370	189,212	1	545,522	1	3,511,354	1
	有病率	57.3%	57.9%	1	59.1%	1	57.5%	1
脳疾患	実人数(人)	1,418	79,841	7	239,267	6	1,530,506	6
	有病率	24.2%	24.6%	7	26.2%	6	25.3%	6
悪性新生物	実人数(人)	625	38,597	8	92,924	8	629,053	8
	有病率	10.3%	11.6%	8	10.0%	8	10.1%	8
筋・骨格	実人数(人)	3,013	168,550	3	468,953	3	3,051,816	3
	有病率	51.2%	51.4%	3	50.8%	3	49.9%	3
精神	実人数(人)	2,040	121,275	4	330,813	4	2,141,880	4
	有病率	34.1%	36.9%	4	35.6%	4	34.9%	4

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の平成26年度から平成28年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示す。平成28年度の認定者が有している平均疾病数2.9疾病は平成26年度からほぼ横ばいである。

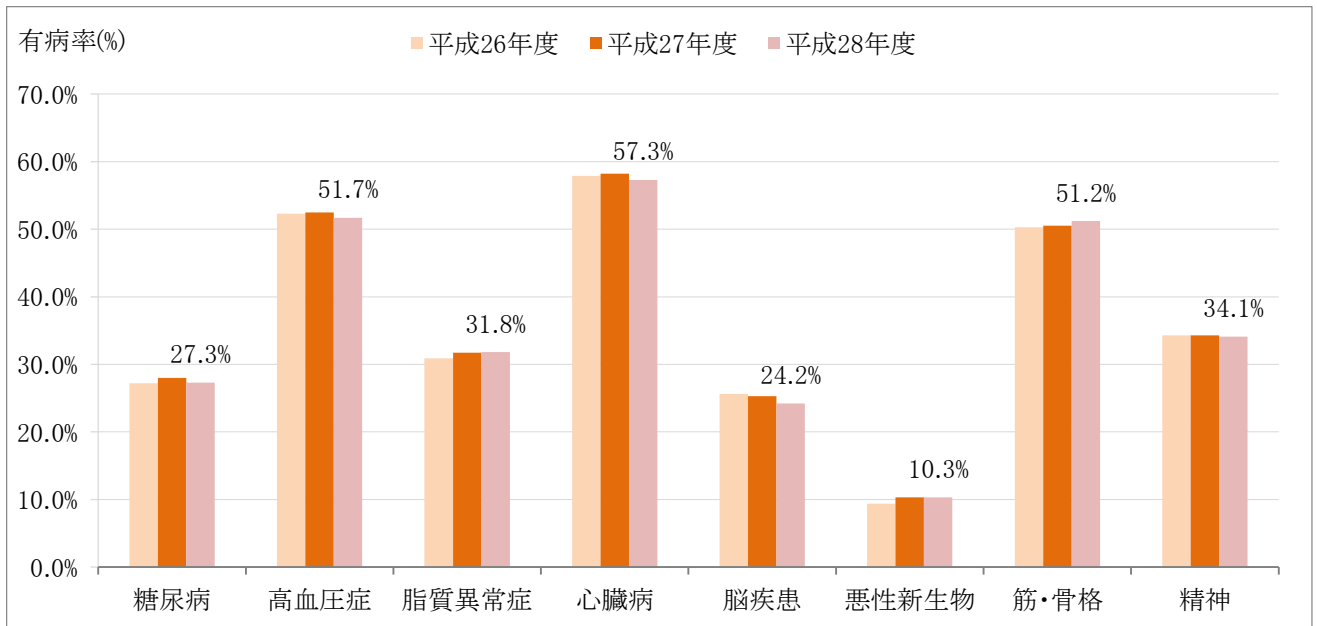
年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	岩見沢市						道			同規模			国			
	平成26年度	順位	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
認定者数(人)	5,347		5,599		5,849		186,821	292,275	322,645	883,689	908,391	913,701	5,324,880	5,751,982	6,034,085	
糖尿病	実人数(人)	1,505	6	1,557	6	1,634	6	47,283	73,850	82,243	180,064	198,628	203,607	1,089,285	1,241,024	1,343,240
	有病率(%)	27.2%		28.0%		27.3%		24.9%	25.0%	25.0%	19.7%	21.5%	21.9%	20.3%	21.4%	21.9%
高血圧症	実人数(人)	2,859	2	2,968	2	3,041	2	99,232	152,957	169,499	429,786	468,849	478,594	2,551,660	2,865,466	3,085,109
	有病率(%)	52.3%		52.5%		51.7%		52.7%	51.8%	51.7%	47.3%	50.9%	51.8%	47.9%	49.7%	50.5%
脂質異常症	実人数(人)	1,710	5	1,813	5	1,867	5	56,146	90,596	100,850	224,805	249,089	255,994	1,386,541	1,586,963	1,733,323
	有病率(%)	30.9%		31.7%		31.8%		29.3%	30.4%	30.7%	24.5%	26.8%	27.6%	25.7%	27.3%	28.2%
心臓病	実人数(人)	3,150	1	3,287	1	3,370	1	111,016	171,216	189,212	491,660	534,422	545,522	2,914,608	3,261,576	3,511,354
	有病率(%)	57.9%		58.2%		57.3%		59.1%	58.2%	57.9%	54.3%	58.2%	59.1%	54.8%	56.7%	57.5%
脳疾患	実人数(人)	1,392	7	1,437	7	1,418	7	48,898	73,652	79,841	223,901	239,223	239,267	1,324,669	1,455,985	1,530,506
	有病率(%)	25.6%		25.3%		24.2%		26.3%	25.2%	24.6%	25.0%	26.2%	26.2%	25.2%	25.4%	25.3%
悪性新生物	実人数(人)	542	8	587	8	625	8	20,352	34,131	38,597	80,701	89,488	92,924	493,808	569,967	629,053
	有病率(%)	9.4%		10.3%		10.3%		10.7%	11.4%	11.6%	8.8%	9.7%	10.0%	9.2%	9.8%	10.1%
筋・骨格	実人数(人)	2,717	3	2,849	3	3,013	3	96,634	151,112	168,550	420,178	457,630	468,953	2,505,146	2,813,795	3,051,816
	有病率(%)	50.3%		50.5%		51.2%		51.2%	51.2%	51.4%	46.3%	49.8%	50.8%	47.1%	48.9%	49.9%
精神	実人数(人)	1,896	4	1,929	4	2,040	4	68,326	108,629	121,275	288,192	318,349	330,813	1,720,172	1,963,213	2,141,880
	有病率(%)	34.3%		34.3%		34.1%		36.2%	36.8%	36.9%	31.6%	34.4%	35.6%	32.2%	33.8%	34.9%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(5) 主たる死因の状況

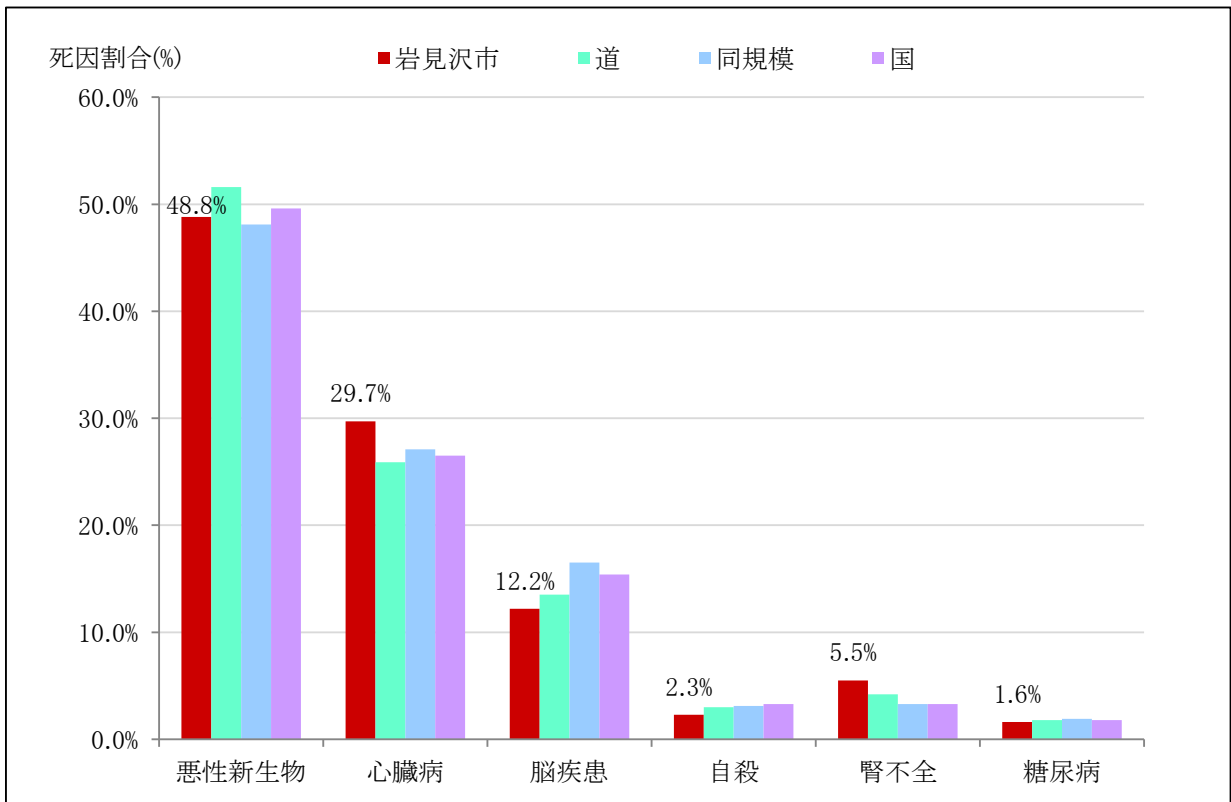
本市の平成28年度における、主たる死因の状況を以下に示す。

主たる死因の状況(平成28年度)

疾病項目	岩見沢市		道	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	340	48.8%	51.6%	48.1%	49.6%
心臓病	207	29.7%	25.9%	27.1%	26.5%
脳疾患	85	12.2%	13.5%	16.5%	15.4%
自殺	16	2.3%	3.0%	3.1%	3.3%
腎不全	38	5.5%	4.2%	3.3%	3.3%
糖尿病	11	1.6%	1.8%	1.9%	1.8%
合計	697				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(平成28年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

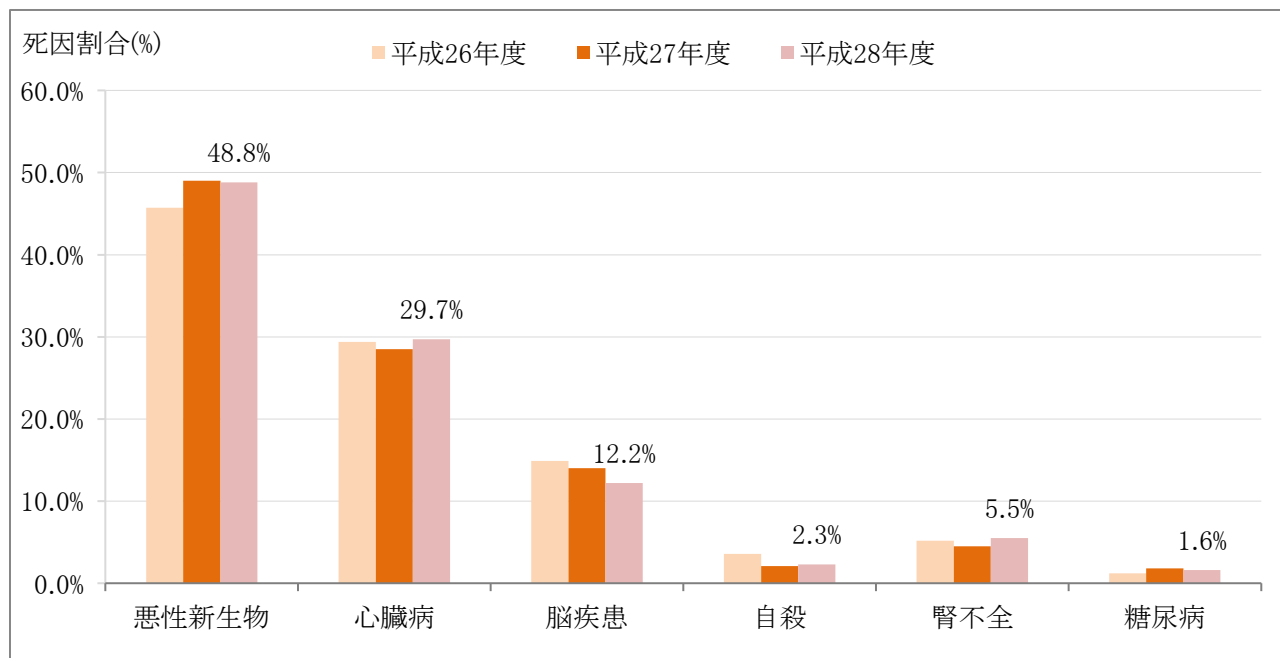
本市の平成26年度から平成28年度における、主たる死因の状況を年度別に示す。平成28年度を平成26年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数340人は平成26年度301人より39人増加しており、心臓病を死因とする人数207人は194人より13人増加している。また、脳疾患を死因とする人数85人は平成26年度98人より13人減少している。

年度別 主たる死因の状況

疾病項目	岩見沢市						道			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度									
悪性新生物	301	325	340	45.7%	49.0%	48.8%	50.3%	50.8%	51.6%	46.7%	47.5%	48.1%	48.3%	49.0%	49.6%
心臓病	194	189	207	29.4%	28.5%	29.7%	26.2%	26.1%	25.9%	27.2%	27.1%	27.1%	26.6%	26.4%	26.5%
脳疾患	98	93	85	14.9%	14.0%	12.2%	14.1%	13.7%	13.5%	17.2%	16.7%	16.5%	16.3%	15.9%	15.4%
自殺	24	14	16	3.6%	2.1%	2.3%	3.3%	3.1%	3.0%	3.4%	3.4%	3.1%	3.5%	3.5%	3.3%
腎不全	34	30	38	5.2%	4.5%	5.5%	4.2%	4.4%	4.2%	3.5%	3.4%	3.3%	3.4%	3.4%	3.3%
糖尿病	8	12	11	1.2%	1.8%	1.6%	1.9%	1.9%	1.8%	2.0%	1.9%	1.9%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	659	663	697												

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、岩見沢市国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均20,067人、レセプト件数は平均22,770件、患者数は平均10,330人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均59,183円となった。

基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	21,228	20,545	20,329	20,192	20,055	19,936	19,934	
B	レセプト件数(件)	入院外	15,141	14,297	14,634	14,364	14,129	14,141	14,414
		入院	531	523	544	538	527	482	527
		調剤	8,706	8,181	8,214	8,079	7,985	7,920	7,993
		合計	24,378	23,001	23,392	22,981	22,641	22,543	22,934
C	医療費(円) ※	654,304,710	600,504,830	627,103,570	617,755,030	614,958,990	584,082,700	604,092,620	
D	患者数(人) ※	10,916	10,419	10,547	10,401	10,224	10,205	10,384	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	30,823	29,229	30,848	30,594	30,664	29,298	30,305	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	26,840	26,108	26,808	26,881	27,161	25,910	26,340	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	59,940	57,636	59,458	59,394	60,149	57,235	58,175	
B/A	受診率(%)	114.8%	112.0%	115.1%	113.8%	112.9%	113.1%	115.0%	
D/A	有病率(%)	51.4%	50.7%	51.9%	51.5%	51.0%	51.2%	52.1%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	19,866	19,827	19,739	19,598	19,552	20,067		
B	レセプト件数(件)	入院外	14,196	14,627	13,352	13,125	14,534	14,246	170,954
		入院	561	502	502	509	515	522	6,261
		調剤	7,903	8,247	7,478	7,276	8,038	8,002	96,020
		合計	22,660	23,376	21,332	20,910	23,087	22,770	273,235
C	医療費(円) ※	631,310,800	615,355,650	589,004,240	569,572,990	627,979,270	611,335,450	7,336,025,400	
D	患者数(人) ※	10,314	10,546	9,823	9,745	10,431	10,330	123,955	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	31,778	31,036	29,840	29,063	32,118	30,465		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	27,860	26,324	27,611	27,239	27,201	26,849		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	61,209	58,350	59,962	58,448	60,203	59,183		
B/A	受診率(%)	114.1%	117.9%	108.1%	106.7%	118.1%	113.5%		
D/A	有病率(%)	51.9%	53.2%	49.8%	49.7%	53.4%	51.5%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

平成26年度から平成28年度における、入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし年度別に分析する。平成28年度を平成26年度と比較すると、一か月平均の被保険者数20,067人は、平成26年度22,475人より2,408人減少しており、医療費73億3,603万円は76億7,492万円より3億3,889万円減少している。また、一か月平均の患者数10,330人は、平成26年度11,287人より957人減少している。

年度別 基礎統計

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
A	一か月平均の被保険者数(人)	22,475	21,517	20,067	
B	レセプト件数(件)	入院外	185,772	181,184	170,954
		入院	6,743	6,482	6,261
		調剤	106,553	103,205	96,020
		合計	299,068	290,871	273,235
C	医療費(円) ※	7,674,920,940	7,593,468,230	7,336,025,400	
D	一か月平均の患者数(人) ※	11,287	10,947	10,330	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	341,483	352,907	365,581	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	25,663	26,106	26,849	
D/A	有病率(%)	50.2%	50.9%	51.5%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

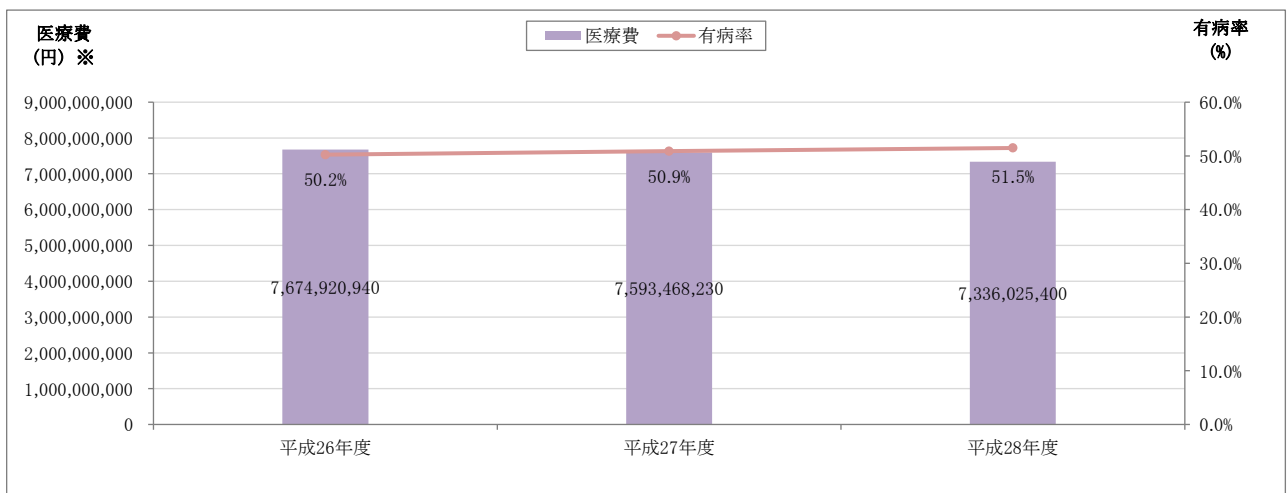
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※一か月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

年度別 医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは2,449件発生しており、レセプト件数全体の0.9%を占める。高額レセプトの医療費は24億3,040万円となり、医療費全体の33.1%を占める。

高額レセプトの件数及び医療費

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	24,378	23,001	23,392	22,981	22,641	22,543	22,934
B	高額レセプト件数(件)	210	197	209	204	221	188	194
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	1.0%	0.8%	0.8%
C	医療費(円) ※	654,304,710	600,504,830	627,103,570	617,755,030	614,958,990	584,082,700	604,092,620
D	高額レセプトの医療費(円) ※	218,567,000	197,105,340	207,165,700	206,506,390	217,715,990	186,965,150	187,922,210
E	その他レセプトの医療費(円) ※	435,737,710	403,399,490	419,937,870	411,248,640	397,243,000	397,117,550	416,170,410
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	33.4%	32.8%	33.0%	33.4%	35.4%	32.0%	31.1%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12か月平均	12か月合計
A	レセプト件数(件)	22,660	23,376	21,332	20,910	23,087	22,770	273,235
B	高額レセプト件数(件)	216	215	199	185	211	204	2,449
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	1.0%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	
C	医療費(円) ※	631,310,800	615,355,650	589,004,240	569,572,990	627,979,270	611,335,450	7,336,025,400
D	高額レセプトの医療費(円) ※	217,802,830	204,908,910	195,055,210	182,736,370	207,947,340	202,533,203	2,430,398,440
E	その他レセプトの医療費(円) ※	413,507,970	410,446,740	393,949,030	386,836,620	420,031,930	408,802,247	4,905,626,960
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	34.5%	33.3%	33.1%	32.1%	33.1%	33.1%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

平成26年度から平成28年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示す。平成28年度高額レセプト件数2,449件は平成26年度2,563件より114件減少しており、平成28年度高額レセプトの医療費24億3,040万円は平成26年度24億1,450万円より1,590万円増加している。

年度別 高額レセプトの件数及び医療費

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
A	レセプト件数(件)	299,068	290,871	273,235
B	高額レセプト件数(件)	2,563	2,498	2,449
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.9%	0.9%	0.9%
C	医療費(円) ※	7,674,920,940	7,593,468,230	7,336,025,400
D	高額レセプトの医療費(円) ※	2,414,500,460	2,417,105,390	2,430,398,440
E	その他レセプトの医療費(円) ※	5,260,420,480	5,176,362,840	4,905,626,960
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	31.5%	31.8%	33.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

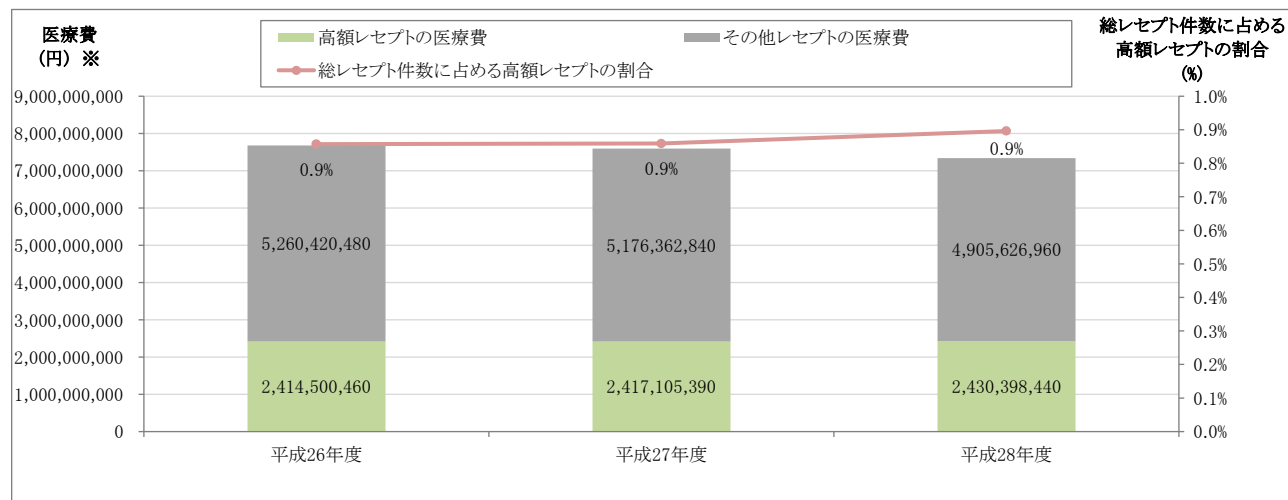
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

年度別 高額レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「熱傷及び腐食」「白血病」「腎不全」等となった。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	1903	熱傷及び腐食	全身熱傷	1	29,571,260	0	29,571,260	29,571,260
2	0209	白血病	慢性骨髄性白血病, 急性骨髄性白血病, 成人T細胞白血病リンパ腫	7	30,581,560	18,326,440	48,908,000	6,986,857
3	1402	腎不全	慢性腎不全	42	93,622,540	174,616,940	268,239,480	6,386,654
4	0506	知的障害<精神遅滞>	最重度知的障害	1	5,960,300	0	5,960,300	5,960,300
5	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固, 特発性血小板減少性紫斑病, 血友病B	9	31,834,410	18,420,470	50,254,880	5,583,876
6	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, 悪性リンパ腫, 濾胞性リンパ腫	13	62,836,880	8,241,780	71,078,660	5,467,589
7	0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	1	5,415,930	0	5,415,930	5,415,930
8	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 肺癌	42	117,525,890	102,466,440	219,992,330	5,237,913
9	0904	くも膜下出血	くも膜下出血, くも膜下出血後遺症	5	24,016,430	629,960	24,646,390	4,929,278
10	0109	その他の感染症及び寄生虫症	ガス壊疽, MRSA敗血症, MRSA感染症	4	15,206,620	3,238,940	18,445,560	4,611,390
11	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	8	695,810	34,087,240	34,783,050	4,347,881
12	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	ファブリー病, カルニチン欠乏症, ヘモクロマトーシス	6	10,008,400	15,387,030	25,395,430	4,232,572
13	0606	その他の神経系の疾患	脊髄小脳変性症, 多発性硬化症, 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	21	72,237,530	15,558,460	87,795,990	4,180,761
14	0301	貧血	再生不良性貧血, 特発性再生不良性貧血, 貧血	5	17,851,180	2,449,230	20,300,410	4,060,082
15	0905	脳内出血	脳出血, 脳出血後遺症, 被殻出血	13	49,182,550	3,142,990	52,325,540	4,025,042
16	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸S状部結腸癌	21	55,763,000	28,475,110	84,238,110	4,011,339
17	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌, 幽門前庭部癌, 噴門癌	18	52,828,300	17,623,530	70,451,830	3,913,991
18	1011	その他の呼吸器系の疾患	呼吸不全, 誤嚥性肺炎, 慢性呼吸不全	25	88,021,050	9,593,170	97,614,220	3,904,569
19	2106	その他の理由による保健サービスの利用者	腎移植後	2	1,720,070	6,071,660	7,791,730	3,895,865
20	0601	パーキンソン病	パーキンソン病, パーキンソン症候群	7	22,771,670	4,457,290	27,228,960	3,889,851

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成26年度	1	2106 その他の理由による保健サービスの利用者	気管切開術後	1	12,384,050
	2	0904 くも膜下出血	くも膜下出血	2	10,707,170
	3	0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	ファブリー病, 低カリウム血症, カルニチン欠乏症	8	8,917,078
	4	1701 心臓の先天奇形	心室中隔欠損症, 単心室症	2	7,060,000
	5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	3	6,343,553
平成27年度	1	2106 その他の理由による保健サービスの利用者	気管切開術後, 腎移植後	3	7,539,653
	2	1903 熱傷及び腐食	全身熱傷, 大腿部第2度熱傷	2	7,255,915
	3	0208 悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫, びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, 濾胞性リンパ腫	12	5,995,853
	4	0506 知的障害<精神遅滞>	最重度知的障害	1	5,976,680
	5	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎不全	51	5,947,525
平成28年度	1	1903 熱傷及び腐食	全身熱傷	1	29,571,260
	2	0209 白血病	慢性骨髄性白血病, 急性骨髄性白血病, 成人T細胞白血病リンパ腫	7	6,986,857
	3	1402 腎不全	慢性腎不全	42	6,386,654
	4	0506 知的障害<精神遅滞>	最重度知的障害	1	5,960,300
	5	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固, 特発性血小板減少性紫斑病, 血友病B	9	5,583,876

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)の疾病傾向を患者数順に示す。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「虚血性心疾患」「関節症」である。

高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腎癌, 多発性骨髄腫	98	226,978,820	104,076,120	331,054,940	3,378,112
2	0902	虚血性心疾患	狭心症, 労作性狭心症, 急性下壁心筋梗塞	61	93,742,830	24,672,060	118,414,890	1,941,228
3	1302	関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 形成不全性股関節症	60	123,844,790	21,751,480	145,596,270	2,426,605
4	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 半月板損傷, 肩関節唇損傷	55	98,217,340	19,365,760	117,583,100	2,137,875
5	1901	骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折	48	70,516,190	11,604,970	82,121,160	1,710,858
6	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 肺癌	42	117,525,890	102,466,440	219,992,330	5,237,913
6	1402	腎不全	慢性腎不全	42	93,622,540	174,616,940	268,239,480	6,386,654
8	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 心房細動, 発作性上室頻拍	39	107,963,180	23,100,460	131,063,640	3,360,606
9	1113	その他の消化器系の疾患	閉塞性黄疸, 急性虫垂炎, 胆管狭窄症	38	50,556,480	14,511,220	65,067,700	1,712,308
10	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 上行結腸癌, 下行結腸癌	35	77,580,110	53,742,960	131,323,070	3,752,088
11	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房上外側部乳癌, 乳房上内側部乳癌	30	41,193,710	34,904,930	76,098,640	2,536,621
11	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫, 骨髄異形成症候群, 脳腫瘍	30	52,249,240	6,795,480	59,044,720	1,968,157
13	0402	糖尿病	2型糖尿病, 増殖性糖尿病性網膜症, 糖尿病黄斑浮腫	28	40,075,050	23,701,050	63,776,100	2,277,718
14	0906	脳梗塞	脳梗塞, ラクナ梗塞, 脳梗塞後遺症	27	80,580,540	5,663,880	86,244,420	3,194,238
15	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 変形性頸椎症, 頸椎症性脊髄症	26	50,270,250	9,621,840	59,892,090	2,303,542
16	1011	その他の呼吸器系の疾患	呼吸不全, 誤嚥性肺炎, 慢性呼吸不全	25	88,021,050	9,593,170	97,614,220	3,904,569
16	1111	胆石症及び胆のう炎	胆石性急性胆のう炎, 総胆管結石, 胆石性胆のう炎	25	24,494,320	7,483,380	31,977,700	1,279,108
18	0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症, 前交通動脈瘤, 脳動脈瘤	23	55,892,340	7,728,860	63,621,200	2,766,139
19	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸S状部結腸癌	21	55,763,000	28,475,110	84,238,110	4,011,339
19	0606	その他の神経系の疾患	脊髄小脳変性症, 多発性硬化症, 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	21	72,237,530	15,558,460	87,795,990	4,180,761

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

平成26年度から平成28年度における、患者数上位5疾病を年度別に示す。

年度別 高額レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
平成26年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 卵巣癌, 胸部食道癌	105	260,532,640	94,492,530	355,025,170	3,381,192
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 橈骨遠位端骨折, 足関節外果骨折	80	138,994,820	20,382,630	159,377,450	1,992,218
	3	1302 関節症	変形性膝関節症, 両側性原発性膝関節症, 変形性股関節症	66	138,972,210	26,365,130	165,337,340	2,505,111
	4	0902 虚血性心疾患	狭心症, 労作性狭心症, 陳旧性心筋梗塞	56	114,989,660	24,370,540	139,360,200	2,488,575
	5	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	55	98,810,780	211,748,990	310,559,770	5,646,541
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腎癌, 食道癌	104	239,135,160	117,773,900	356,909,060	3,431,818
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 橈骨遠位端骨折, 骨折	68	119,583,650	18,851,380	138,435,030	2,035,809
	3	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 半月板損傷, 術後疼痛	66	69,486,460	21,512,390	90,998,850	1,378,770
	4	1302 関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 形成不全性股関節症	53	107,294,240	18,203,950	125,498,190	2,367,890
	5	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 急性腎不全	51	91,701,150	211,622,640	303,323,790	5,947,525
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腎癌, 多発性骨髄腫	98	226,978,820	104,076,120	331,054,940	3,378,112
	2	0902 虚血性心疾患	狭心症, 労作性狭心症, 急性下壁心筋梗塞	61	93,742,830	24,672,060	118,414,890	1,941,228
	3	1302 関節症	変形性膝関節症, 変形性股関節症, 形成不全性股関節症	60	123,844,790	21,751,480	145,596,270	2,426,605
	4	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 半月板損傷, 肩関節唇損傷	55	98,217,340	19,365,760	117,583,100	2,137,875
	5	1901 骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折, 腰椎圧迫骨折	48	70,516,190	11,604,970	82,121,160	1,710,858

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の15.7%、「循環器系の疾患」は医療費合計の14.7%と高い割合を占めている。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	198,392,881	2.7%	12	22,329	11	5,618	9	35,314	15
II. 新生物<腫瘍>	1,147,840,986	15.7%	1	20,860	12	5,771	6	198,898	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	106,366,839	1.5%	15	8,665	15	2,297	15	46,307	13
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	697,230,536	9.5%	3	92,351	2	10,279	1	67,831	10
V. 精神及び行動の障害	659,910,165	9.0%	5	29,327	8	2,903	14	227,320	1
VI. 神経系の疾患	392,887,888	5.4%	9	47,372	6	4,816	11	81,580	7
VII. 眼及び付属器の疾患	235,102,378	3.2%	11	29,439	7	5,642	8	41,670	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	27,329,557	0.4%	16	5,618	17	1,641	16	16,654	20
IX. 循環器系の疾患	1,074,530,997	14.7%	2	94,780	1	9,261	4	116,028	3
X. 呼吸器系の疾患	468,066,022	6.4%	8	54,405	5	10,025	2	46,690	12
X I. 消化器系の疾患 ※	571,745,344	7.8%	6	82,810	3	9,962	3	57,393	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	138,759,121	1.9%	14	26,489	9	5,666	7	24,490	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	667,590,946	9.1%	4	62,921	4	8,258	5	80,842	8
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	478,383,584	6.5%	7	19,115	13	4,491	12	106,521	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	17,132,541	0.2%	18	509	20	192	20	89,232	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※	5,514,505	0.1%	20	81	21	56	21	98,473	5
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	9,356,569	0.1%	19	766	19	268	19	34,913	16
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	144,221,180	2.0%	13	23,371	10	5,341	10	27,003	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	253,683,211	3.5%	10	12,346	14	3,437	13	73,809	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	25,439,008	0.3%	17	7,756	16	1,316	17	19,331	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	4,427,672	0.1%	21	1,932	18	362	18	12,231	21
合計	7,323,911,930			271,064		18,029		406,230	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

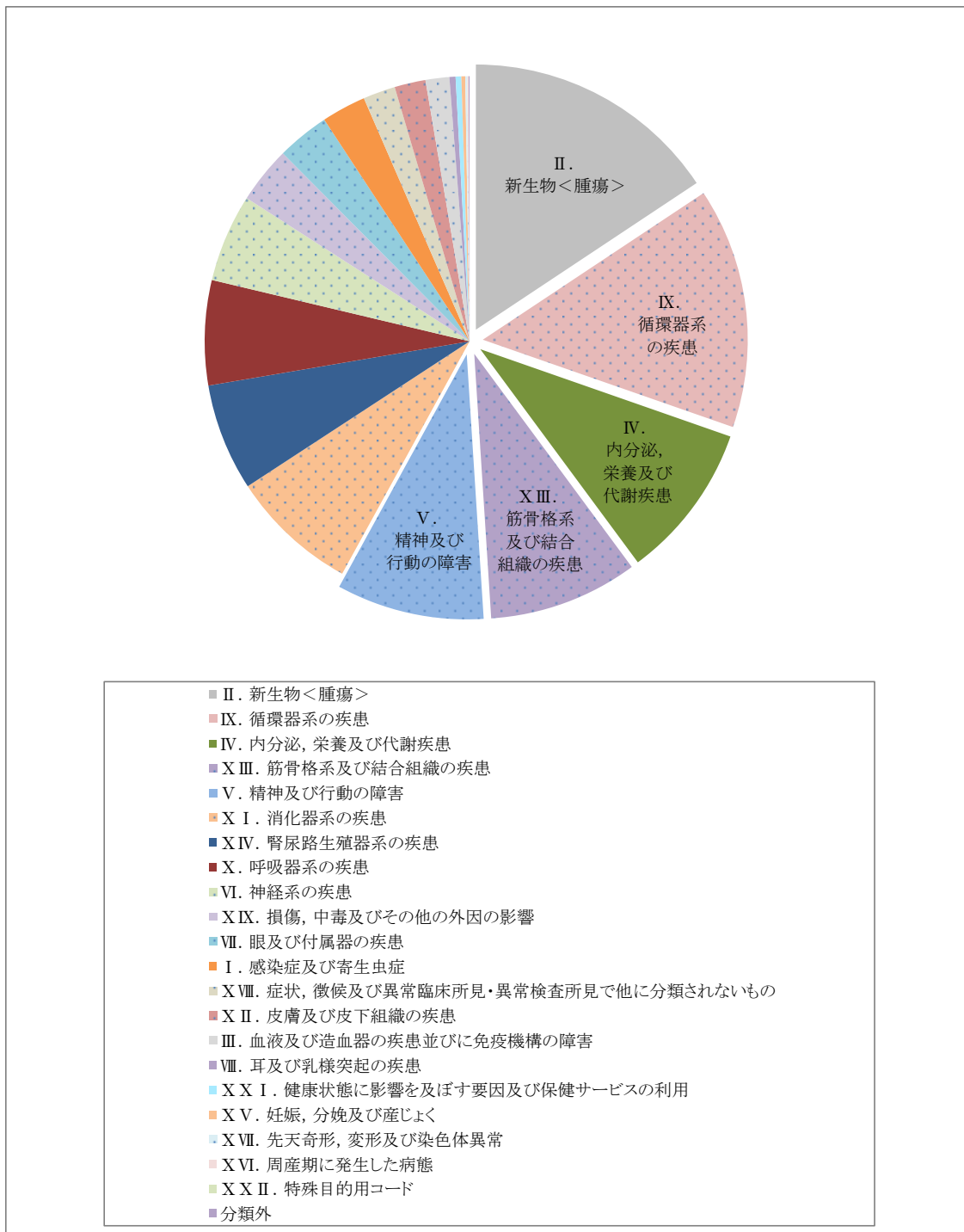
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物<腫瘍>」「循環器系の疾患」「内分泌，栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「精神及び行動の障害」の医療費で高い割合を占める。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示す。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	193,339,002	2.5%	12	270,113,676	3.6%	11	198,392,881	2.7%	12
II. 新生物<腫瘍>	1,087,432,171	14.2%	2	1,048,297,295	13.8%	2	1,147,840,986	15.7%	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	87,383,361	1.1%	15	95,663,599	1.3%	15	106,366,839	1.5%	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	763,579,764	10.0%	3	710,212,300	9.4%	3	697,230,536	9.5%	3
V. 精神及び行動の障害	702,345,259	9.2%	5	664,602,419	8.8%	4	659,910,165	9.0%	5
VI. 神経系の疾患	369,626,539	4.8%	9	393,263,536	5.2%	9	392,887,888	5.4%	9
VII. 眼及び付属器の疾患	253,674,666	3.3%	11	231,364,049	3.1%	12	235,102,378	3.2%	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	34,890,625	0.5%	16	35,128,398	0.5%	16	27,329,557	0.4%	16
IX. 循環器系の疾患	1,217,588,639	15.9%	1	1,224,031,288	16.2%	1	1,074,530,997	14.7%	2
X. 呼吸器系の疾患	449,859,316	5.9%	8	473,490,983	6.2%	7	468,066,022	6.4%	8
X I. 消化器系の疾患 ※	615,712,753	8.0%	6	642,094,639	8.5%	6	571,745,344	7.8%	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	149,584,866	2.0%	13	152,911,483	2.0%	14	138,759,121	1.9%	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	707,070,085	9.2%	4	651,862,175	8.6%	5	667,590,946	9.1%	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	505,318,621	6.6%	7	471,095,562	6.2%	8	478,383,584	6.5%	7
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	18,334,242	0.2%	19	21,859,328	0.3%	18	17,132,541	0.2%	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	5,957,712	0.1%	21	5,091,210	0.1%	21	5,514,505	0.1%	20
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	18,815,714	0.2%	18	11,558,681	0.2%	19	9,356,569	0.1%	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	149,011,060	1.9%	14	153,879,197	2.0%	13	144,221,180	2.0%	13
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	302,643,060	4.0%	10	286,738,522	3.8%	10	253,683,211	3.5%	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	21,715,623	0.3%	17	26,179,317	0.3%	17	25,439,008	0.3%	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		87,171	0.0%	22	0	0.0%	
分類外	6,852,084	0.1%	20	7,788,582	0.1%	20	4,427,672	0.1%	21
合計	7,660,735,160			7,577,313,410			7,323,911,930		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

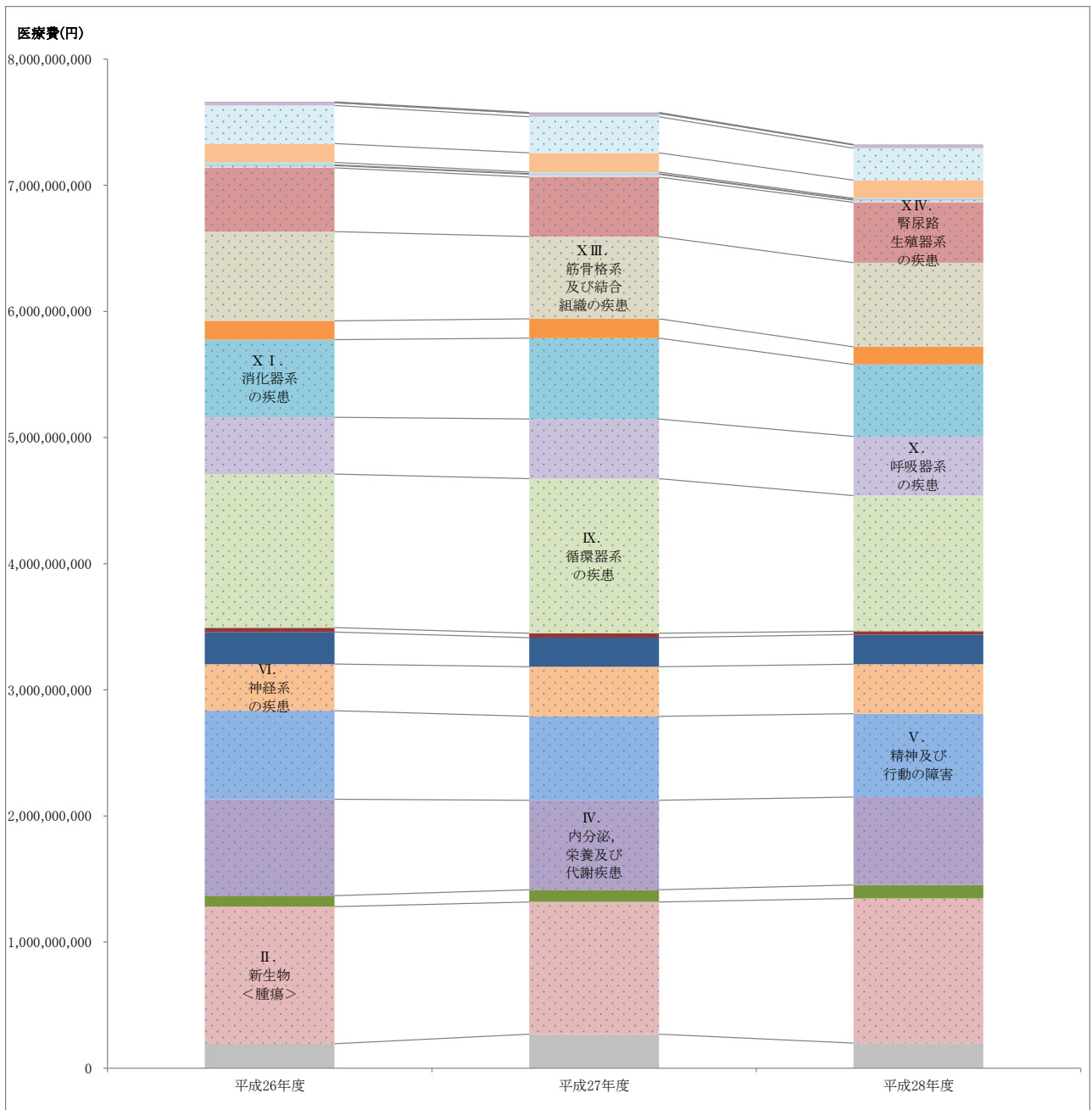
そのため他統計と一致しない。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②中分類による疾病別医療費統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	378,078,053	5.2%	768
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	372,633,234	5.1%	2,572
3	0402 糖尿病	360,388,352	4.9%	7,245
4	0901 高血圧性疾患	346,433,724	4.7%	7,162
5	1402 腎不全	321,016,648	4.4%	496
6	1113 その他の消化器系の疾患	309,966,499	4.2%	6,759
7	0403 脂質異常症	215,615,454	2.9%	5,738
8	0606 その他の神経系の疾患	215,588,245	2.9%	4,298
9	0903 その他の心疾患	214,317,057	2.9%	2,982
10	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	189,785,545	2.6%	968

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	360,388,352	7,245	40.2%
2	0901 高血圧性疾患	346,433,724	7,162	39.7%
3	1113 その他の消化器系の疾患	309,966,499	6,759	37.5%
4	0403 脂質異常症	215,615,454	5,738	31.8%
5	1006 アレルギー性鼻炎	89,794,343	5,456	30.3%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	144,221,180	5,341	29.6%
7	1105 胃炎及び十二指腸炎	56,512,251	4,544	25.2%
8	0606 その他の神経系の疾患	215,588,245	4,298	23.8%
9	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	27,455,343	4,295	23.8%
10	1003 その他の急性上気道感染症	22,058,517	4,104	22.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0209 白血病	41,992,461	44	954,374
2	1402 腎不全	321,016,648	496	647,211
3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	378,078,053	768	492,289
4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	66,292,702	139	476,926
5	0602 アルツハイマー病	58,204,852	149	390,637
6	0208 悪性リンパ腫	60,010,748	190	315,846
7	0501 血管性及び詳細不明の認知症	20,922,907	68	307,690
8	0904 くも膜下出血	16,589,253	62	267,569
9	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	85,660,298	368	232,773
10	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	189,785,545	968	196,059

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

平成26年度から平成28年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人) ※
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	423,088,021	5.5%	7,505
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	413,040,920	5.4%	784
	3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	369,146,015	4.8%	2,387
	4	0402 糖尿病	356,417,991	4.7%	7,495
	5	1113 その他の消化器系の疾患	333,586,215	4.4%	7,224
	6	1402 腎不全	325,560,941	4.2%	440
	7	0903 その他の心疾患	243,139,472	3.2%	3,012
	8	0403 脂質異常症	241,298,721	3.1%	5,853
	9	0606 その他の神経系の疾患	216,125,373	2.8%	4,598
	10	0902 虚血性心疾患	180,218,868	2.4%	2,428
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	397,083,063	5.2%	7,439
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	394,496,790	5.2%	793
	3	0402 糖尿病	362,102,088	4.8%	7,627
	4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	351,838,651	4.6%	2,599
	5	1113 その他の消化器系の疾患	351,487,072	4.6%	7,209
	6	1402 腎不全	300,814,922	4.0%	457
	7	0403 脂質異常症	237,567,601	3.1%	5,928
	8	0903 その他の心疾患	225,220,150	3.0%	3,145
	9	0606 その他の神経系の疾患	224,766,319	3.0%	4,582
	10	0902 虚血性心疾患	167,101,442	2.2%	2,333
平成28年度	1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	378,078,053	5.2%	768
	2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	372,633,234	5.1%	2,572
	3	0402 糖尿病	360,388,352	4.9%	7,245
	4	0901 高血圧性疾患	346,433,724	4.7%	7,162
	5	1402 腎不全	321,016,648	4.4%	496
	6	1113 その他の消化器系の疾患	309,966,499	4.2%	6,759
	7	0403 脂質異常症	215,615,454	2.9%	5,738
	8	0606 その他の神経系の疾患	215,588,245	2.9%	4,298
	9	0903 その他の心疾患	214,317,057	2.9%	2,982
	10	0205 気管支, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	189,785,545	2.6%	968

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者数上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成26年度	1	0901 高血圧性疾患	423,088,021	7,505	38.0%
	2	0402 糖尿病	356,417,991	7,495	37.9%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	333,586,215	7,224	36.6%
	4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	149,011,060	5,865	29.7%
	5	0403 脂質異常症	241,298,721	5,853	29.6%
	6	1006 アレルギー性鼻炎	99,182,010	5,722	29.0%
	7	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	33,944,840	4,781	24.2%
	8	1105 胃炎及び十二指腸炎	65,702,702	4,688	23.7%
	9	0606 その他の神経系の疾患	216,125,373	4,598	23.3%
	10	1003 その他の急性上気道感染症	26,779,750	4,562	23.1%
平成27年度	1	0402 糖尿病	362,102,088	7,627	39.6%
	2	0901 高血圧性疾患	397,083,063	7,439	38.6%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	351,487,072	7,209	37.4%
	4	0403 脂質異常症	237,567,601	5,928	30.8%
	5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	153,879,197	5,750	29.9%
	6	1006 アレルギー性鼻炎	98,053,766	5,690	29.6%
	7	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	31,696,580	4,587	23.8%
	8	0606 その他の神経系の疾患	224,766,319	4,582	23.8%
	9	1105 胃炎及び十二指腸炎	63,433,478	4,565	23.7%
	10	1003 その他の急性上気道感染症	24,935,375	4,310	22.4%
平成28年度	1	0402 糖尿病	360,388,352	7,245	40.2%
	2	0901 高血圧性疾患	346,433,724	7,162	39.7%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	309,966,499	6,759	37.5%
	4	0403 脂質異常症	215,615,454	5,738	31.8%
	5	1006 アレルギー性鼻炎	89,794,343	5,456	30.3%
	6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	144,221,180	5,341	29.6%
	7	1105 胃炎及び十二指腸炎	56,512,251	4,544	25.2%
	8	0606 その他の神経系の疾患	215,588,245	4,298	23.8%
	9	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	27,455,343	4,295	23.8%
	10	1003 その他の急性上気道感染症	22,058,517	4,104	22.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示す。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成26年度	1	0209 白血病	44,296,026	46	962,957
	2	1402 腎不全	325,560,941	440	739,911
	3	0501 血管性及び詳細不明の認知症	35,062,288	54	649,302
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	413,040,920	784	526,838
	5	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	62,846,831	136	462,109
	6	0208 悪性リンパ腫	52,675,757	149	353,529
	7	0602 アルツハイマー病	43,356,643	134	323,557
	8	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	85,056,794	335	253,901
	9	0904 くも膜下出血	12,269,823	58	211,549
	10	0506 知的障害<精神遅滞>	13,004,573	67	194,098
平成27年度	1	1402 腎不全	300,814,922	457	658,238
	2	0209 白血病	30,844,064	51	604,786
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	77,072,076	145	531,532
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	394,496,790	793	497,474
	5	0208 悪性リンパ腫	62,228,663	149	417,642
	6	0602 アルツハイマー病	43,733,093	138	316,906
	7	0501 血管性及び詳細不明の認知症	16,812,301	65	258,651
	8	0904 くも膜下出血	13,791,464	56	246,276
	9	0507 その他の精神及び行動の障害	44,934,805	234	192,029
	10	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	77,533,984	422	183,730
平成28年度	1	0209 白血病	41,992,461	44	954,374
	2	1402 腎不全	321,016,648	496	647,211
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	378,078,053	768	492,289
	4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	66,292,702	139	476,926
	5	0602 アルツハイマー病	58,204,852	149	390,637
	6	0208 悪性リンパ腫	60,010,748	190	315,846
	7	0501 血管性及び詳細不明の認知症	20,922,907	68	307,690
	8	0904 くも膜下出血	16,589,253	62	267,569
	9	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	85,660,298	368	232,773
	10	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	189,785,545	968	196,059

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	7,323,911,930	271,064	18,029

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	198,392,881	2.7%		22,329	8.2%		5,618	31.2%		35,314	
0101 腸管感染症	15,345,289	0.2%	80	6,190	2.3%	43	2,141	11.9%	32	7,167	110
0102 結核	3,826,545	0.1%	103	540	0.2%	98	267	1.5%	88	14,332	96
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	2,024,437	0.0%	108	578	0.2%	97	394	2.2%	79	5,138	114
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	18,462,216	0.3%	73	3,203	1.2%	62	914	5.1%	57	20,199	80
0105 ウイルス性肝炎	76,503,019	1.0%	31	4,137	1.5%	55	1,015	5.6%	55	75,372	25
0106 その他のウイルス性疾患	12,408,108	0.2%	83	959	0.4%	88	403	2.2%	78	30,789	63
0107 真菌症	30,929,192	0.4%	59	4,875	1.8%	49	1,318	7.3%	45	23,467	73
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	402,000	0.0%	115	152	0.1%	112	39	0.2%	114	10,308	101
0109 その他の感染症及び寄生虫症	38,492,075	0.5%	53	4,810	1.8%	50	1,705	9.5%	38	22,576	76
II. 新生物<腫瘍>	1,147,840,986	15.7%		20,860	7.7%		5,771	32.0%		198,898	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	68,353,372	0.9%	35	2,935	1.1%	66	1,294	7.2%	47	52,823	36
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	118,208,774	1.6%	17	2,991	1.1%	63	1,135	6.3%	54	104,149	23
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	66,292,702	0.9%	37	756	0.3%	90	139	0.8%	100	476,926	4
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	24,900,186	0.3%	65	1,545	0.6%	81	612	3.4%	73	40,687	51
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	189,785,545	2.6%	10	2,750	1.0%	67	968	5.4%	56	196,059	10
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	85,660,298	1.2%	29	1,570	0.6%	80	368	2.0%	80	232,773	9
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	30,980,368	0.4%	58	1,045	0.4%	87	626	3.5%	70	49,489	42
0208 悪性リンパ腫	60,010,748	0.8%	39	785	0.3%	89	190	1.1%	95	315,846	6
0209 白血病	41,992,461	0.6%	51	273	0.1%	107	44	0.2%	111	954,374	1
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	372,633,234	5.1%	2	8,080	3.0%	36	2,572	14.3%	24	144,881	15
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	89,023,298	1.2%	26	5,528	2.0%	46	2,552	14.2%	25	34,884	57
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	106,366,839	1.5%		8,665	3.2%		2,297	12.7%		46,307	
0301 貧血	37,340,416	0.5%	55	5,317	2.0%	47	1,366	7.6%	42	27,336	67
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	69,026,423	0.9%	33	3,905	1.4%	58	1,329	7.4%	44	51,939	37
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	697,230,536	9.5%		92,351	34.1%		10,279	57.0%		67,831	
0401 甲状腺障害	35,019,942	0.5%	57	7,760	2.9%	38	1,969	10.9%	34	17,786	87
0402 糖尿病	360,388,352	4.9%	3	46,096	17.0%	4	7,245	40.2%	1	49,743	40
0403 脂質異常症	215,615,454	2.9%	7	59,144	21.8%	2	5,738	31.8%	4	37,577	53
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	86,206,788	1.2%	28	16,128	5.9%	18	2,850	15.8%	20	30,248	65
V. 精神及び行動の障害	659,910,165	9.0%		29,327	10.8%		2,903	16.1%		227,320	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	20,922,907	0.3%	70	200	0.1%	111	68	0.4%	108	307,690	7
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	11,574,791	0.2%	88	601	0.2%	93	111	0.6%	103	104,277	22
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	378,078,053	5.2%	1	8,185	3.0%	35	768	4.3%	65	492,289	3

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	7,323,911,930	271,064	18,029

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	134,778,622	1.8%	14	14,249	5.3%	21	1,196	6.6%	51	112,691	19
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	53,996,943	0.7%	44	17,113	6.3%	15	1,749	9.7%	37	30,873	62
0506	知的障害<精神遅滞>	11,997,518	0.2%	85	217	0.1%	110	76	0.4%	106	157,862	12
0507	その他の精神及び行動の障害	48,561,331	0.7%	47	1,399	0.5%	82	251	1.4%	89	193,471	11
VI. 神経系の疾患		392,887,888	5.4%		47,372	17.5%		4,816	26.7%		81,580	
0601	パーキンソン病	48,902,358	0.7%	46	3,924	1.4%	57	334	1.9%	84	146,414	14
0602	アルツハイマー病	58,204,852	0.8%	40	1,232	0.5%	83	149	0.8%	99	390,637	5
0603	てんかん	46,754,820	0.6%	48	5,207	1.9%	48	624	3.5%	72	74,928	26
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	19,353,550	0.3%	72	596	0.2%	94	135	0.7%	101	143,360	16
0605	自律神経系の障害	4,084,063	0.1%	102	1,655	0.6%	78	201	1.1%	94	20,319	79
0606	その他の神経系の疾患	215,588,245	2.9%	8	41,567	15.3%	5	4,298	23.8%	8	50,160	39
VII. 眼及び付属器の疾患		235,102,378	3.2%		29,439	10.9%		5,642	31.3%		41,670	
0701	結膜炎	19,424,952	0.3%	71	13,824	5.1%	23	2,634	14.6%	22	7,375	109
0702	白内障	66,974,505	0.9%	36	10,894	4.0%	27	1,908	10.6%	35	35,102	56
0703	屈折及び調節の障害	16,464,130	0.2%	78	19,385	7.2%	11	4,056	22.5%	11	4,059	117
0704	その他の眼及び付属器の疾患	132,238,791	1.8%	15	22,743	8.4%	10	3,957	21.9%	13	33,419	58
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		27,329,557	0.4%		5,618	2.1%		1,641	9.1%		16,654	
0801	外耳炎	775,133	0.0%	112	483	0.2%	99	217	1.2%	92	3,572	119
0802	その他の外耳疾患	1,309,237	0.0%	110	718	0.3%	91	339	1.9%	83	3,862	118
0803	中耳炎	10,888,452	0.1%	89	2,430	0.9%	70	686	3.8%	68	15,872	93
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	515,086	0.0%	114	247	0.1%	109	95	0.5%	105	5,422	112
0805	メニエール病	5,496,134	0.1%	99	1,157	0.4%	85	206	1.1%	93	26,680	70
0806	その他の内耳疾患	1,512,930	0.0%	109	394	0.1%	103	134	0.7%	102	11,291	99
0807	その他の耳疾患	6,832,585	0.1%	97	1,938	0.7%	75	716	4.0%	66	9,543	103
IX. 循環器系の疾患		1,074,530,997	14.7%		94,780	35.0%		9,261	51.4%		116,028	
0901	高血圧性疾患	346,433,724	4.7%	4	79,781	29.4%	1	7,162	39.7%	2	48,371	46
0902	虚血性心疾患	155,145,457	2.1%	12	15,216	5.6%	20	2,235	12.4%	29	69,416	29
0903	その他の心疾患	214,317,057	2.9%	9	16,574	6.1%	16	2,982	16.5%	19	71,870	28
0904	くも膜下出血	16,589,253	0.2%	76	314	0.1%	105	62	0.3%	109	267,569	8
0905	脳内出血	44,647,216	0.6%	50	1,084	0.4%	86	422	2.3%	77	105,799	21
0906	脳梗塞	118,068,362	1.6%	18	10,839	4.0%	28	2,181	12.1%	30	54,135	35
0907	脳動脈硬化(症)	85,345	0.0%	119	37	0.0%	117	11	0.1%	118	7,759	107
0908	その他の脳血管疾患	65,921,576	0.9%	38	4,728	1.7%	51	1,335	7.4%	43	49,379	44
0909	動脈硬化(症)	27,377,029	0.4%	62	4,247	1.6%	53	1,266	7.0%	48	21,625	77
0911	低血圧(症)	2,824,004	0.0%	104	443	0.2%	101	61	0.3%	110	46,295	48
0912	その他の循環器系の疾患	83,121,974	1.1%	30	5,676	2.1%	45	1,223	6.8%	50	67,966	30
X. 呼吸器系の疾患		468,066,022	6.4%		54,405	20.1%		10,025	55.6%		46,690	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	2,131,416	0.0%	107	2,020	0.7%	74	852	4.7%	59	2,502	120
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	10,798,937	0.1%	90	6,352	2.3%	42	2,494	13.8%	27	4,330	115
1003	その他の急性上気道感染症	22,058,517	0.3%	69	11,795	4.4%	26	4,104	22.8%	10	5,375	113

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	7,323,911,930	271,064	18,029

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	45,299,364	0.6%	49	3,313	1.2%	61	1,490	8.3%	41	30,402	64
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	27,455,343	0.4%	61	12,738	4.7%	25	4,295	23.8%	9	6,392	111
1006	アレルギー性鼻炎	89,794,343	1.2%	24	27,563	10.2%	6	5,456	30.3%	5	16,458	91
1007	慢性副鼻腔炎	13,856,683	0.2%	81	6,647	2.5%	41	1,514	8.4%	40	9,152	105
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	8,006,045	0.1%	95	2,323	0.9%	71	790	4.4%	63	10,134	102
1009	慢性閉塞性肺疾患	39,959,084	0.5%	52	6,878	2.5%	40	1,137	6.3%	53	35,144	55
1010	喘息	94,413,889	1.3%	22	16,557	6.1%	17	2,837	15.7%	21	33,279	59
1011	その他の呼吸器系の疾患	114,292,401	1.6%	19	10,055	3.7%	31	3,681	20.4%	14	31,049	61
X I . 消化器系の疾患		571,745,344	7.8%		82,810	30.5%		9,962	55.3%		57,393	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	12,151	0.0%	121	8	0.0%	119	5	0.0%	119	2,430	121
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	145,559	0.0%	117	43	0.0%	115	34	0.2%	115	4,281	116
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	88,681,223	1.2%	27	27,326	10.1%	8	3,539	19.6%	15	25,058	71
1105	胃炎及び十二指腸炎	56,512,251	0.8%	42	27,342	10.1%	7	4,544	25.2%	7	12,437	97
1106	痔核	9,880,154	0.1%	91	2,971	1.1%	64	565	3.1%	74	17,487	88
1107	アルコール性肝疾患	8,679,893	0.1%	93	425	0.2%	102	73	0.4%	107	118,903	18
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	6,152,119	0.1%	98	2,478	0.9%	69	307	1.7%	85	20,039	81
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	13,784,439	0.2%	82	1,176	0.4%	84	290	1.6%	87	47,533	47
1110	その他の肝疾患	23,158,341	0.3%	67	8,531	3.1%	34	2,452	13.6%	28	9,445	104
1111	胆石症及び胆のう炎	38,189,859	0.5%	54	4,209	1.6%	54	788	4.4%	64	48,464	45
1112	膵疾患	16,582,856	0.2%	77	2,230	0.8%	72	705	3.9%	67	23,522	72
1113	その他の消化器系の疾患	309,966,499	4.2%	6	56,529	20.9%	3	6,759	37.5%	3	45,860	49
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		138,759,121	1.9%		26,489	9.8%		5,666	31.4%		24,490	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	11,682,063	0.2%	87	2,113	0.8%	73	815	4.5%	62	14,334	95
1202	皮膚炎及び湿疹	68,985,094	0.9%	34	17,816	6.6%	13	3,978	22.1%	12	17,342	89
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	58,091,964	0.8%	41	13,087	4.8%	24	3,003	16.7%	18	19,345	83
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		667,590,946	9.1%		62,921	23.2%		8,258	45.8%		80,842	
1301	炎症性多発性関節障害	105,569,081	1.4%	20	10,071	3.7%	30	1,586	8.8%	39	66,563	32
1302	関節症	160,562,631	2.2%	11	15,508	5.7%	19	2,170	12.0%	31	73,992	27
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	89,571,086	1.2%	25	10,833	4.0%	29	2,037	11.3%	33	43,972	50
1304	椎間板障害	25,143,956	0.3%	64	4,627	1.7%	52	847	4.7%	60	29,686	66
1305	頸腕症候群	9,196,635	0.1%	92	6,078	2.2%	44	889	4.9%	58	10,345	100
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	55,868,884	0.8%	43	19,368	7.1%	12	3,387	18.8%	16	16,495	90
1307	その他の脊柱障害	16,739,371	0.2%	75	2,952	1.1%	65	626	3.5%	70	26,740	69
1308	肩の傷害<損傷>	27,603,136	0.4%	60	7,828	2.9%	37	1,188	6.6%	52	23,235	75
1309	骨の密度及び構造の障害	100,923,033	1.4%	21	13,985	5.2%	22	1,845	10.2%	36	54,701	34
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	76,413,133	1.0%	32	17,474	6.4%	14	3,288	18.2%	17	23,240	74

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	7,323,911,930	271,064	18,029

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	478,383,584	6.5%		19,115	7.1%		4,491	24.9%		106,521	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	24,226,610	0.3%	66	1,783	0.7%	77	488	2.7%	76	49,645	41
1402 腎不全	321,016,648	4.4%	5	3,463	1.3%	60	496	2.8%	75	647,211	2
1403 尿路結石症	11,910,071	0.2%	86	589	0.2%	96	241	1.3%	90	49,419	43
1404 その他の腎尿路系の疾患	52,766,852	0.7%	45	8,744	3.2%	32	2,513	13.9%	26	20,998	78
1405 前立腺肥大(症)	36,239,598	0.5%	56	3,926	1.4%	56	661	3.7%	69	54,825	33
1406 その他の男性生殖器系の疾患	2,400,696	0.0%	105	347	0.1%	104	162	0.9%	98	14,819	94
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	6,841,349	0.1%	96	1,632	0.6%	79	367	2.0%	81	18,641	85
1408 乳房及びその他の女性生殖器系の疾患	22,981,760	0.3%	68	2,537	0.9%	68	1,256	7.0%	49	18,298	86
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	17,132,541	0.2%		509	0.2%		192	1.1%		89,232	
1501 流産	1,041,665	0.0%	111	39	0.0%	116	27	0.1%	116	38,580	52
1502 妊娠高血圧症候群	129,478	0.0%	118	4	0.0%	121	4	0.0%	121	32,370	60
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	15,961,398	0.2%	79	482	0.2%	100	177	1.0%	97	90,177	24
XVI. 周産期に発生した病態	5,514,505	0.1%		81	0.0%		56	0.3%		98,473	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	380,145	0.0%	116	28	0.0%	118	19	0.1%	117	20,008	82
1602 その他の周産期に発生した病態	5,134,360	0.1%	100	59	0.0%	114	43	0.2%	113	119,404	17
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	9,356,569	0.1%		766	0.3%		268	1.5%		34,913	
1701 心臓の先天奇形	704,780	0.0%	113	116	0.0%	113	44	0.2%	111	16,018	92
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	8,651,789	0.1%	94	672	0.2%	92	233	1.3%	91	37,132	54
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	144,221,180	2.0%		23,371	8.6%		5,341	29.6%		27,003	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	144,221,180	2.0%	13	23,371	8.6%	9	5,341	29.6%	6	27,003	68
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	253,683,211	3.5%		12,346	4.6%		3,437	19.1%		73,809	
1901 骨折	89,944,607	1.2%	23	3,605	1.3%	59	838	4.6%	61	107,332	20
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	12,088,119	0.2%	84	292	0.1%	106	178	1.0%	96	67,911	31
1903 熱傷及び腐食	17,180,387	0.2%	74	251	0.1%	108	110	0.6%	104	156,185	13
1904 中毒	2,300,269	0.0%	106	593	0.2%	95	299	1.7%	86	7,693	108
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	132,169,829	1.8%	16	8,618	3.2%	33	2,619	14.5%	23	50,466	38
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	25,439,008	0.3%		7,756	2.9%		1,316	7.3%		19,331	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	40,915	0.0%	120	8	0.0%	119	5	0.0%	119	8,183	106
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	7,323,911,930	271,064	18,029

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	25,398,093	0.3%	63	7,749	2.9%	39	1,313	7.3%	46	19,344	84
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		4,427,672	0.1%		1,932	0.7%		362	2.0%		12,231	
9999	分類外	4,427,672	0.1%	101	1,932	0.7%	76	362	2.0%	82	12,231	98

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

第2章

第2期データヘルス計画

1. 計画策定について

(1) 背景

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市区町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果やレセプト等から得られる情報)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取組むべき健康課題、中長期的に取組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、レセプトを活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。

また、「日本再興戦略2016」(平成28年6月4日閣議決定)においては、「データヘルス計画を通じた企業や保険者等による健康・予防に向けた取組を強化する。」としている。こうした背景を踏まえて策定した第1期データヘルス計画を見直すとともに、第2期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康維持増進を図る。

レセプトを用いた現状分析は、株式会社データホライゾンの医療費分解技術、傷病管理システム、レセプト分析システムおよび分析方法を用いて行うものとする。

- ※医療費分解技術(特許第4312757号) レセプトに記載されたすべての傷病名と診断行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。
- ※傷病管理システム(特許第5203481号) レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。
- ※レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号) 中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

(2) 計画期間

本データヘルス計画の計画期間は、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」第4の5において、「特定健康診査等実施計画及び健康増進計画との整合性を踏まえ、複数年とすること」とされていることから、第3期特定健康診査等実施計画期間である、平成30年度から平成35年度までの6年間とする。

■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

(3) 基本方針

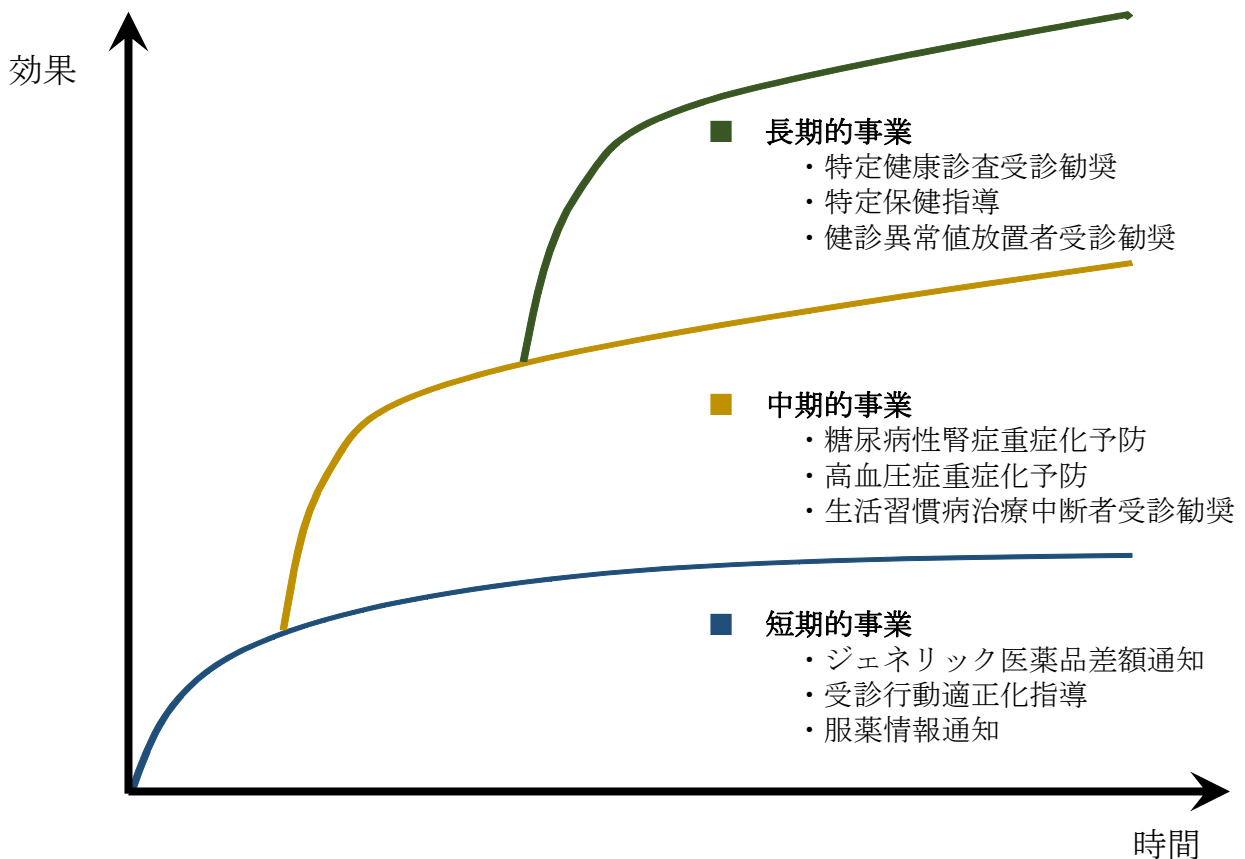
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。これら事業を国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。



(4) データヘルス計画の位置づけ

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「北海道健康増進計画」及び「岩見沢市健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要がある。

(5) 実施体制

本データヘルス計画の遂行に当たっては、国保医療助成課が主体となり、健康づくり推進課・保健師・栄養士等の専門職と共同で事業を推進する。

医師会等の外部有識者が議論に参加できる協議の場として、岩見沢地域保健懇談会等を活用し、有識者からの支援体制を強化する。

被保険者自身が当事者意識を持って主体的・積極的に取組める体制を整備しながら事業を運営する。

■ データ分析期間

- ・ 国保データベース (KDB) システムデータ
平成26年度～平成28年度(3年分)

- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月診療分(12か月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月診療分(12か月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)

- ・ 健康診査データ
単年分析
平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)
年度分析
平成26年度…平成26年4月～平成27年3月健診分(12か月分)
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12か月分)
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)

2. 過去の取組みの考察(第1期データヘルス計画の振り返り)

(1) 第1期データヘルス計画の各事業達成状況

第1期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況を以下に示す。

なお、評価は、5:目標達成、4:改善している、3:横ばい、2:悪化している、1:評価できない、の5段階で評価する。

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成27年度から平成29年度	特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。
平成27年度から平成29年度	糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けられるように専門職より対象者に6か月間の面談指導と電話指導を行う。
平成27年度から平成29年度	受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。
平成27年度から平成29年度	健診異常値放置者受診勧奨事業生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	健診異常値を放置している対象者及び生活習慣病治療中断者の医療機関受診	特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者と、かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
平成27年度から平成29年度	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。
平成27年度から平成29年度	薬剤併用禁忌防止事業	薬剤併用禁忌の発生件数減少	レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握する。薬剤併用禁忌の対象者リストを作成し、医療機関へ情報提供を行う。
平成27年度から平成29年度	高血圧症重症化予防事業	高血圧症患者の病期進行阻止	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けられるように専門職より対象者に6か月間の面談指導と電話指導を行う。
平成27年度から平成29年度	COPD予防受診勧奨事業	COPD発症リスクのある喫煙者の禁煙外来受診	特定健康診査の間診から喫煙者を特定し、通知書を送付することで禁煙外来の受診勧奨を行う。受診により、COPDの早期発見と早期治療を目指す。

5:目標達成
 4:改善している
 3:横ばい
 2:悪化している
 1:評価できない

実施内容	目標値(平成29年度末)	達成状況(平成28年度時点)	評価
指導対象者に対して適切な保健指導を行った。 健康診査データより検査値の推移を確認した。	・実施率 40.0%以上	実施率 22.0%	3
	・指導対象者の指導実施率 10%向上	実施率 15.9%	3
	・指導対象者の生活習慣改善率 50%	改善率 21.9%	3
	・指導対象者数 10%減少	減少率 0.0%	3
指導対象者に対して適切な保健指導を行った。 健康診査、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認した。	・指導対象者の指導実施率 20%	実施率 5.2%	2
	・指導対象者の生活習慣改善率 70%	改善率 100.0%	4
	・指導対象者の検査値改善率 100%	改善率(HbA1c) 58.3%	4
	・指導対象者の病期進行者0人。	透析移行者 0人	4
指導対象者に対して適切な保健指導を行った。 指導後に医療機関への受診行動が適正化されているか確認した。	・指導対象者の指導実施率 20%	実施率 28.8%	4
	・指導対象者の受診行動適正化 50%	適正化率 27.0%	4
	・指導対象者の医療費 50%減少	減少率 64.7%	5
	・多受診患者数 20%減少	減少率 25.9%	5
健診異常値放置者及び生活習慣病治療中断者に医療機関受診勧奨通知を作成し、郵送した。 通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行った。	・対象者への通知率 100%	通知率 100.0%	4
	・対象者の医療機関受診率 20%	受診率 9.5%	3
	・健診異常値放置者数20%減少	減少率 41.5%	5
年6回、7,000通郵送した。 対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討した。	・対象者への通知率 100%	通知率 100.0%	5
	・ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)通知開始時平均より5%向上	普及率 5.3%向上	4
年12回、医師、薬剤師へ薬剤併用禁忌情報の提供を行った。	・薬剤併用禁忌割合 10%減少	減少率 △13.5%	2
	・併用禁忌薬剤による健康被害 0%	健康被害 0.0%	5
指導対象者に対して適切な保健指導を行った。 健康診査、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認した。	・指導対象者の指導実施率 10%	実施率 4.3%	2
	・指導実施者の生活習慣改善率 70%	改善率 80.0%	4
	・指導実施者の検査値改善率 70%	改善率 -	1
	・指導実施完了者の病期進行者0人。	病期進行者 0人	4
喫煙者を対象とし禁煙外来受診及びスパイロメーターによる呼吸機能検査の勧奨通知を作成し、郵送する。通知後に医療機関受診があるか確認。	・対象者への通知率 100%	通知率 100%	5
	・対象者の医療機関受診率 20%	受診率 1.5%	2
	・対象者の喫煙者数 20%減少	減少率 △2.0%	2

(2) 第1期データヘルス計画の各事業実施内容

第1期データヘルス計画に基づき実施した事業の詳細は以下の通りである。

① 特定保健指導事業

【実施年度】 平成27年度から平成29年度

【事業目的】 生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】 特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面談や電話、e-mail等で行う。

【実施内容】 指導対象者に対して適切な保健指導を行った。健康診査データより検査値の推移を確認した。

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施率(%)	32.2%以上	36.5%以上	40.0%以上

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
保健指導終了者の割合(%)	5.1%	22.0%	—

【考察】 平成28年度の保健指導終了者の割合は22.0%であり、平成27年度の5.1%から16.9ポイント増加している。結果に基づき目標値等の見直しを行い、更なる取組みを検討する。

②糖尿病性腎症重症化予防事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

【事業概要】特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けられるように専門職より対象者に6か月間の面談指導と電話指導を行う。

【実施内容】指導対象者に対して適切な保健指導を行った。健康診査、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認した。

【目標値】

・指導対象者の指導実施率 20%
・指導対象者の生活習慣改善率 70%
・指導対象者の検査値改善率 100%
・指導対象者の糖尿病性腎症における、病期進行者0人。

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
・指導対象者の指導実施率	10.0%	5.2%	—
・指導対象者の生活習慣改善率	100.0%	100.0%	—
・指導対象者の検査値改善率 (HbA1c)	36.4%	58.3%	—
・指導対象者の糖尿病性腎症における病期進行者	0人	0人	—

【考察】平成28年度の生活習慣改善率、検査値改善率ともに改善しているが、指導実施率が5.2%と、平成27年度の10.0%から4.8ポイント減少している。結果に基づき実施方法、目標値等の見直しを行い、更なる取組みを検討する。

③受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【事業概要】レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

【実施内容】指導対象者に対して適切な保健指導を行った。指導後に医療機関への受診行動が適正化されているか確認した。

【目標値】

・指導対象者の指導実施率 20%
・指導対象者の受診行動適正化 50% (指導前と指導後で受診行動が適正化された人数の割合)
・指導対象者の医療費を指導実施前より 50%減少 (医療機関への受診回数が減少し重複した医療費が削減される)
・多受診患者数 20%減少

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
・指導対象者の指導実施率 20%	22.7%	28.8%	—
・指導対象者の受診行動適正化 50%	19.6%	27.0%	—
・指導対象者の医療費を指導実施前より 50%減少	57.7%	64.7%	—
・多受診患者数 20%減少	—	25.9%	—

【考察】平成27年度、平成28年度ともに目標数値を達成している。結果に基づき目標値等の見直しを行い、更なる取組みを検討する。

④健診異常値放置者受診勧奨事業

⑤生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】健診異常値を放置している対象者の医療機関受診
生活習慣病治療中断者の減少

【事業概要】特定健康診査の受領後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者と、かつて生活習慣病で定期受診をしていたがその後定期受診を中断した対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】健診異常値放置者及び生活習慣病治療中断者に医療機関受診勧奨通知を作成し、郵送した。通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行った。

【目標値】

・対象者への通知率 100%
・対象者の医療機関受診率 20%(受診勧奨を実施することにより、通知後、医療機関を受診した人数の割合)
・健診異常値放置者及び生活習慣病治療中断者数20%減少

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
・対象者への通知率 100%	100.0%	100.0%	—
・対象者の医療機関受診率 20%	11.0%	9.5%	—
・健診異常値放置者及び生活習慣病治療中断者数20%減少	—	41.5%	—

【考察】平成28年度の健診異常値放置者等の事業対象者は41.5%減少しているが、平成28年度の医療機関受診率は9.5%であり、平成27年度の11.0%から1.5ポイント減少している。結果に基づき目標値等の見直しを行い、更なる取組みを検討する。

⑥ジェネリック医薬品差額通知事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】ジェネリック医薬品の普及率向上

【事業概要】レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】年6回、7,000通郵送した。

【目標値】

・対象者への通知率100%
・ジェネリック医薬品普及率（数量ベース）通知開始時平均より 5%向上

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
・対象者への通知率100%	100.0%	100.0%	—
・ジェネリック医薬品普及率（数量ベース）通知開始時平均より 5%向上	—	5.3%	—

【考察】平成27年度、平成28年度ともに対象者全員に通知を郵送した。普及率は5.3%増加している。結果に基づき目標値等の見直しを行い、更なる取組みを検討する。

⑦薬剤併用禁忌防止事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】薬剤併用禁忌の発生件数減少

【事業概要】レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握する。薬剤併用禁忌の対象者リストを作成し、医療機関へ情報提供を行う。

【実施内容】年7回、医師、薬剤師へ薬剤併用禁忌情報の提供を行った。

【目標値】

・薬剤併用禁忌割合 10% (減少初年度の基準となったレセプトデータ時における併用禁忌発生人数との比較)

・併用禁忌薬剤による健康被害 0%

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
・薬剤併用禁忌割合 10%減少	—	△13.5%	—
・併用禁忌薬剤による健康被害 0%	0.0%	0.0%	—

【考察】平成28年度の併用禁忌抽出人数は564人であり、平成27年度の497人から67人増加しているが、医師会でスクリーニングを経て医療機関へ通知した件数は平成27年度6件、平成28年度5件となっている。結果に基づき事業実施方法等の見直しを行い、更なる取組みを検討する。

⑧高血圧症重症化予防事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】高血圧症患者の病期進行阻止

【事業概要】特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けられるように専門職より対象者に6か月間の面談指導と電話指導を行う。

【実施内容】指導対象者に対して適切な保健指導を行った。健康診査、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認した。

【目標値】

・指導対象者の指導実施率 10%
・指導対象者の生活習慣改善率 70%
・指導対象者の検査値改善率 70%
・指導対象者の高血圧症における、病期進行者0人。

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
・指導対象者の指導実施率	2.3%	4.3%	—
・指導対象者の生活習慣改善率	66.7%	80.0%	—
・指導対象者の検査値改善率	—	—	—
・指導対象者の高血圧症における病期進行者	0人	0人	—

【考察】平成28年度の指導実施率、生活習慣改善率ともに改善しているが、指導実施率が平成27年度2.2%平成28年度4.3%と非常に低い。検査値改善率は、血液検査データの取得が困難なため、比較ができなかった。結果に基づき事業実施方法、目標値等の見直しを行い、更なる取組みを検討する。

⑨COPD予防受診勧奨事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】COPD発症リスクのある喫煙者の禁煙外来受診

【事業概要】特定健診の間診から喫煙者を特定し、通知書を送付することで禁煙外来の受診勧奨を行う。

【実施内容】喫煙者を対象とし禁煙外来受診及びスパイロメーターによる呼吸機能検査の勧奨通知を作成し郵送する。通知後に医療機関受診があるか確認した。

【目標値】

・対象者への通知率 100%
・対象者の医療機関受診率 20%(受診勧奨を実施することにより、通知後、医療機関を受診した人数の割合)
・喫煙者数20%減少

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
・対象者への通知率 100%	100.0%	100.0%	—
・対象者の医療機関受診率 20%	0.4%	1.5%	—
・喫煙者数20%減少	—	△2.0%	—

【考察】特定健診受診者の喫煙者全員に受診勧奨通知を郵送し、受診率については平成27年度0.4%、平成28年度1.5%と非常に低いが、COPD周知の観点では一定の効果があつたものとする。結果に基づき目標値等の見直しを行い、受診率向上対策等について更なる取組みを検討する。

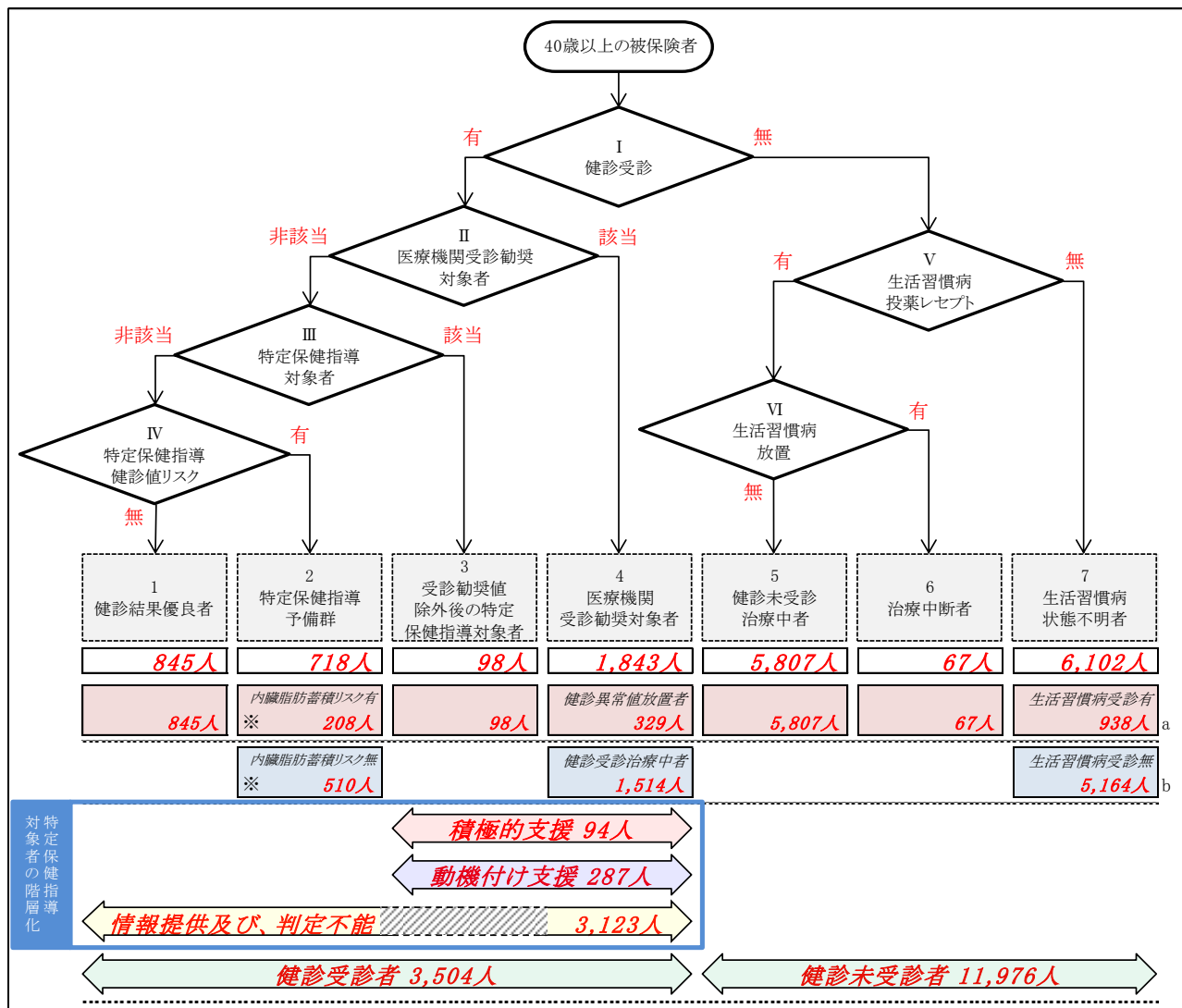
3. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類し、分析結果を以下に示す。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定健康診査に係る分析

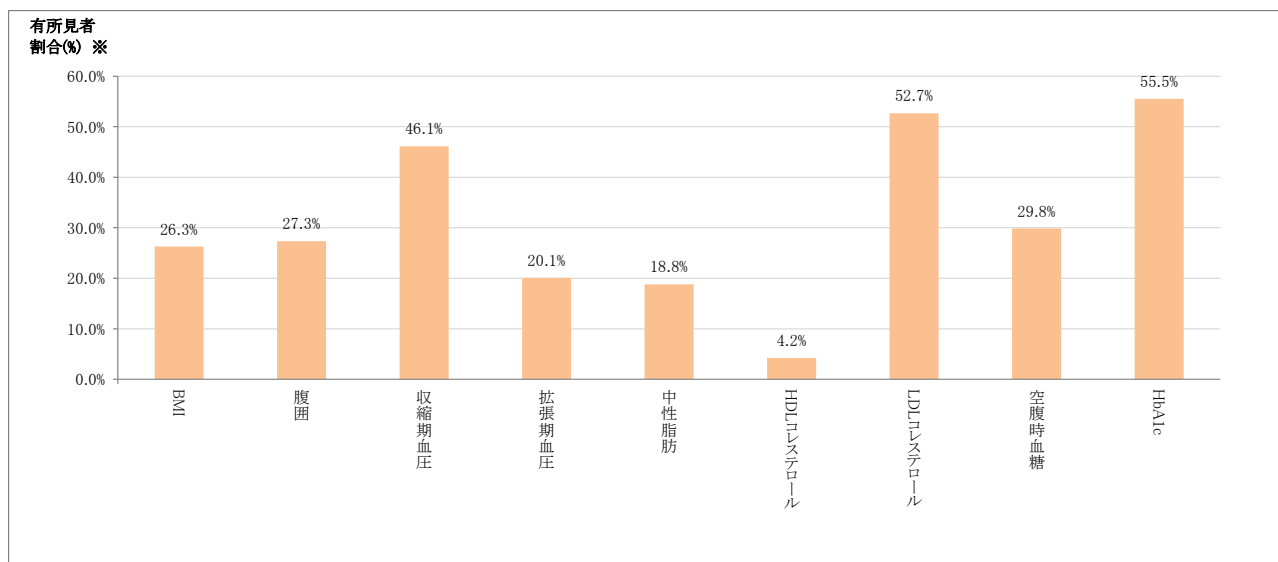
特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を以下に示す。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	3,504	3,504	3,504	3,504
有所見者数(人) ※	921	958	1,616	703
有所見者割合(%) ※	26.3%	27.3%	46.1%	20.1%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	3,504	3,504	3,504	3,441	3,504
有所見者数(人) ※	659	148	1,845	1,027	1,945
有所見者割合(%) ※	18.8%	4.2%	52.7%	29.8%	55.5%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、

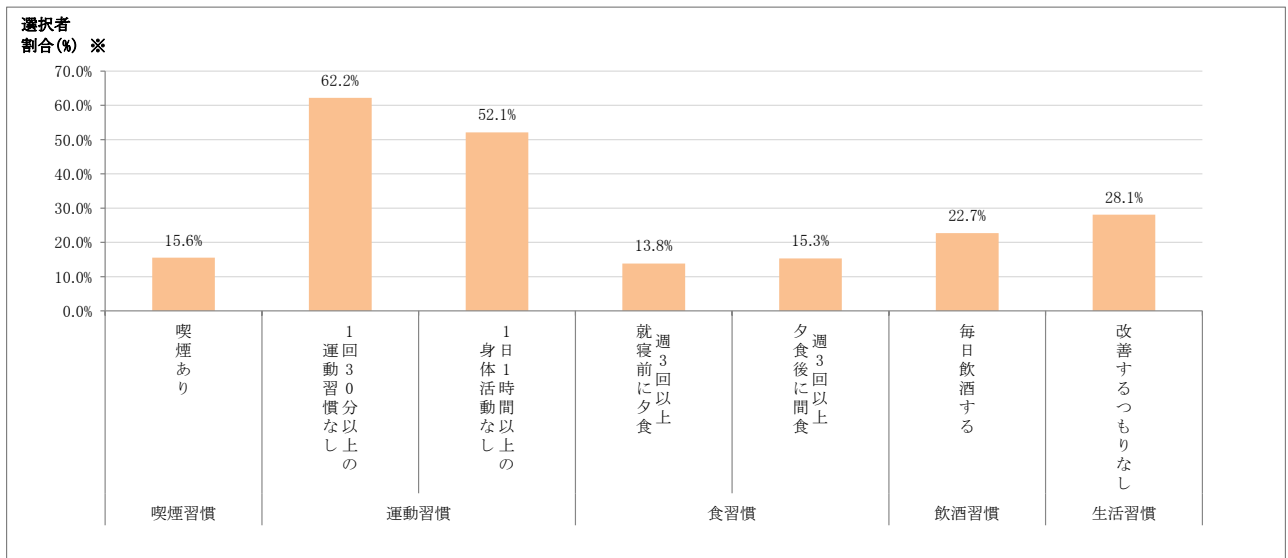
空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

質問別回答状況

質問の選択肢	喫煙習慣	運動習慣	
	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	3,504	3,501	3,504
選択者数(人) ※	545	2,177	1,825
選択者割合(%) ※	15.6%	62.2%	52.1%

質問の選択肢	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	3,502	3,501	3,500	3,499
選択者数(人) ※	485	536	796	984
選択者割合(%) ※	13.8%	15.3%	22.7%	28.1%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は381人である。このうち、積極的支援の対象者は94人、動機付け支援の対象者は287人である。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			381人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	2人	94人 25%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	12人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	4人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	5人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	12人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	11人	
	●		●			血糖+脂質	3人	
	●	●	●			血圧+脂質	19人	
	●			●		血糖+喫煙	3人	
		●		●		血圧+喫煙	8人	
	●		●	●	因子数1	脂質+喫煙	12人	
				●		血糖	0人	
		●				血圧	2人	
		●		因子数0	脂質	1人		
			●		喫煙	0人		
				なし	0人			
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	7人	287人 75%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	18人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	7人	
	●		●	●		血糖+脂質+喫煙	1人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	2人	
	●	●			因子数2	血糖+血圧	40人	
	●		●			血糖+脂質	10人	
	●	●	●			血圧+脂質	20人	
	●			●		血糖+喫煙	4人	
		●		●		血圧+喫煙	8人	
	●		●	●	因子数1	脂質+喫煙	7人	
				●		血糖	38人	
		●				血圧	91人	
		●		因子数0	脂質	29人		
			●		喫煙	1人		
				なし	4人			

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)。

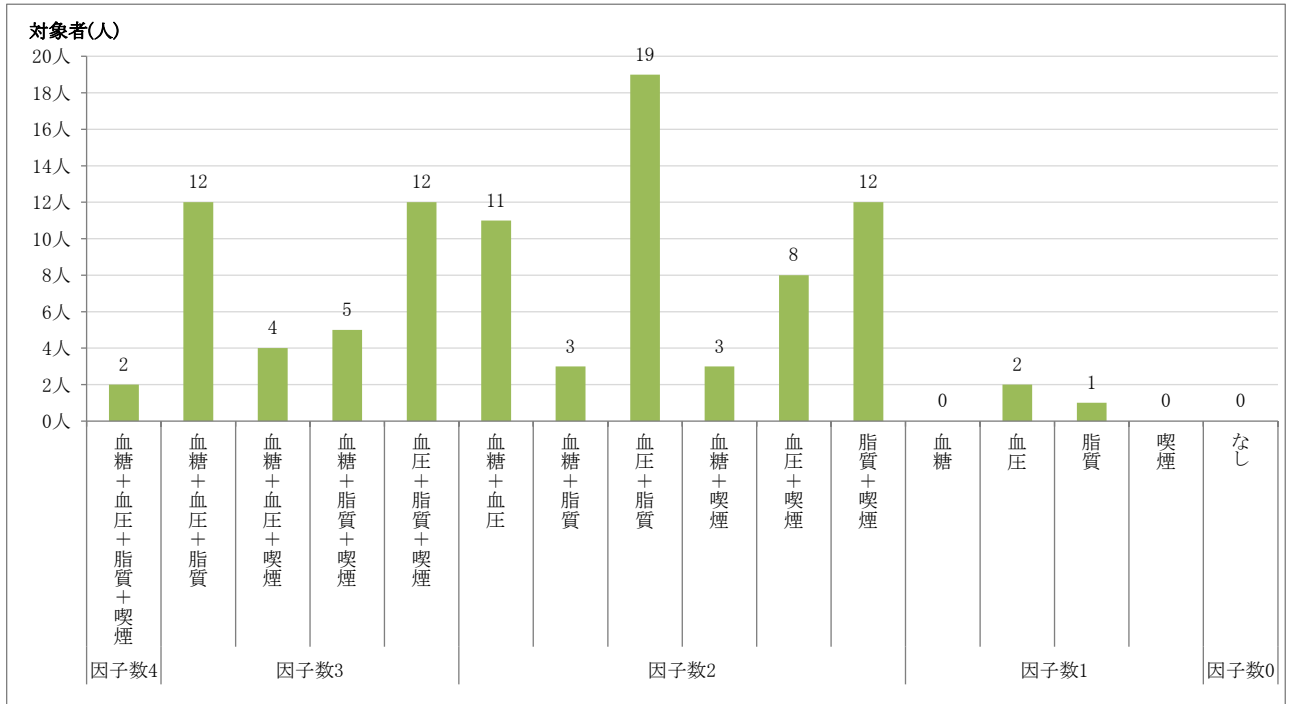
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

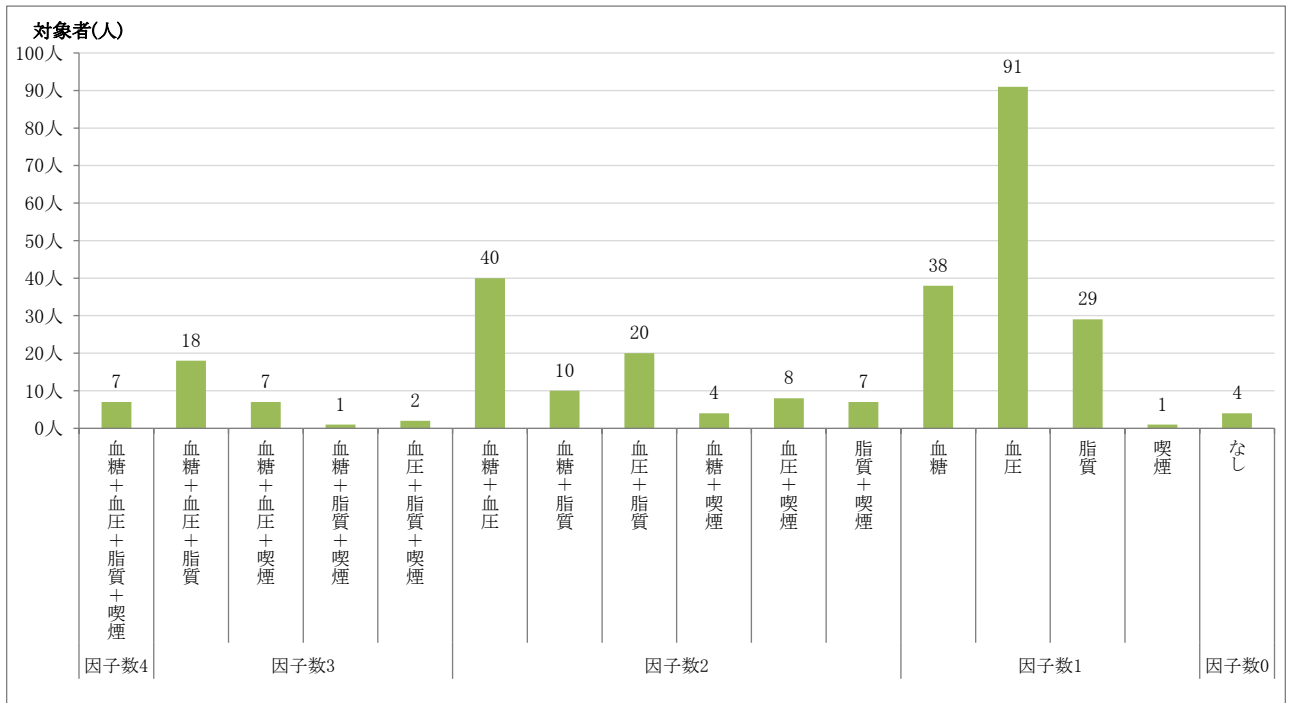
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する329人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	329 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定		除外理由別人数
除外	がん、難病等	102 人
↓		
除外患者を除いた候補者数		227 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者227人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位			
↑高 効果 ↓低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 0人	候補者C 1人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 6人	候補者D 32人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 48人	候補者F 140人
	喫煙	非喫煙	
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			227人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者89人が対象となる。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	候補者人数 67 人
	上記以外のグループ	22 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		89 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
除外	がん、難病等	除外理由別人数 2 人
	除外患者を除き、候補者となった患者数 87 人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者87人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 2人	候補者A2 0人	候補者A3 0人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 1人	候補者B2 12人	候補者B3 4人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 5人	候補者C2 33人	候補者C3 30人
		毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				87人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、60.3%が生活習慣を起因とするものであり、その57.4%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

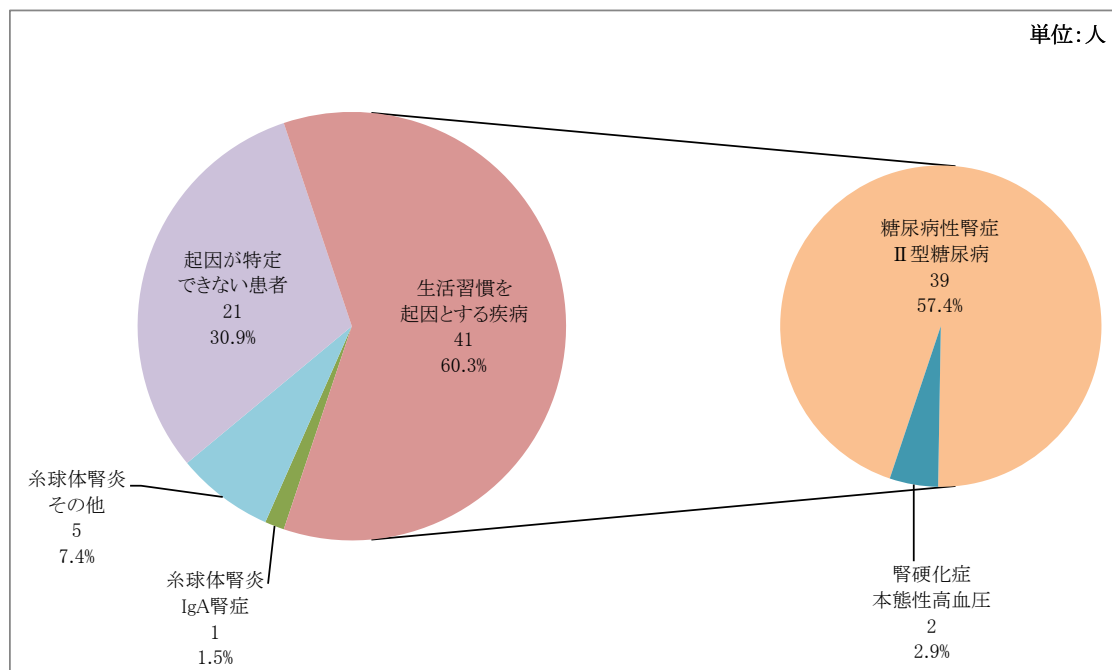
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	67
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	1
透析患者合計	68

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

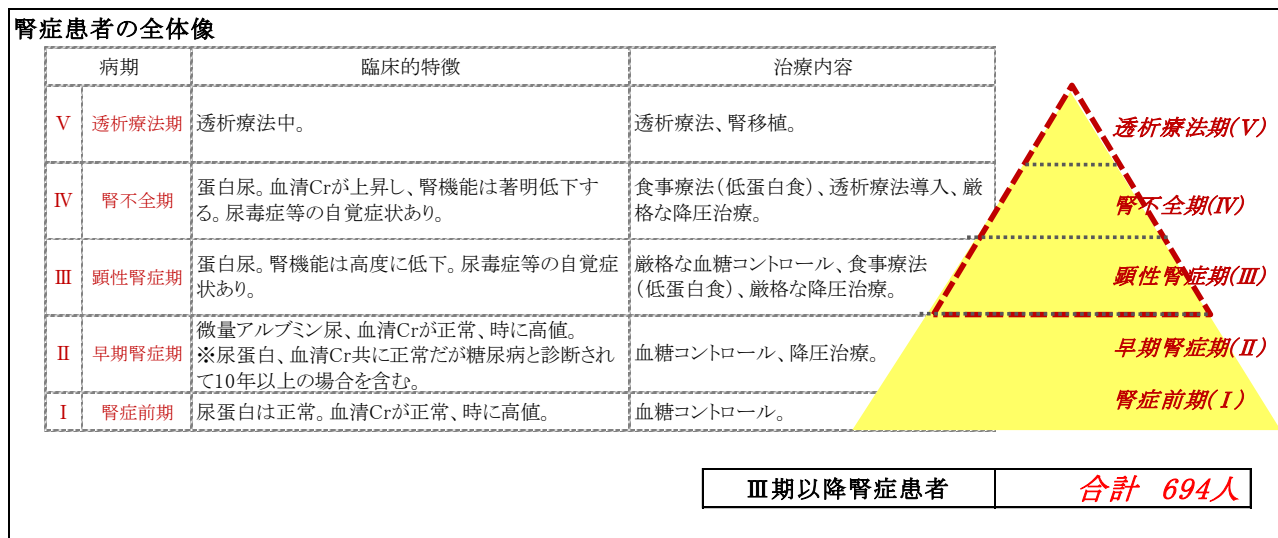
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者694人中179人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

腎症患者の全体像



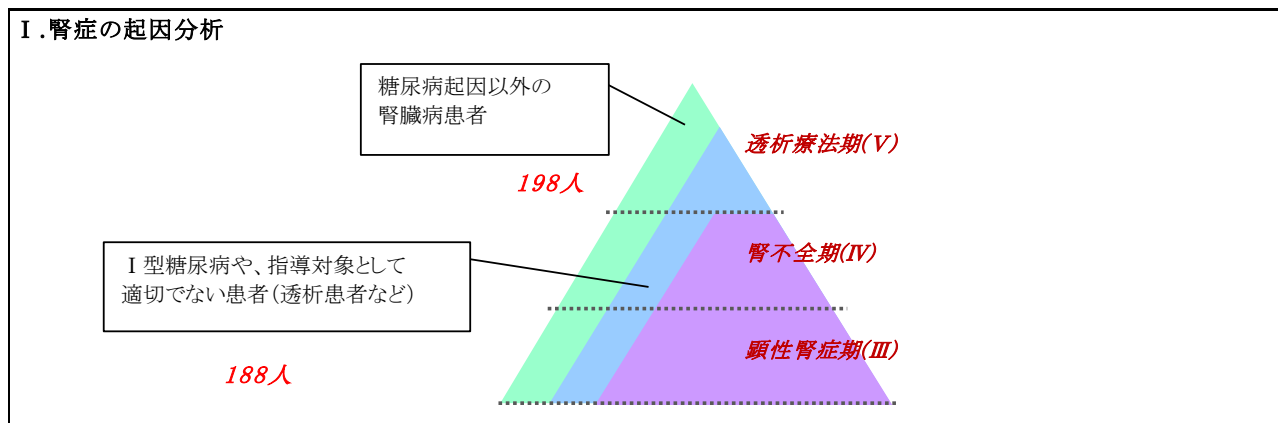
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、198人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、188人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

腎症の起因分析



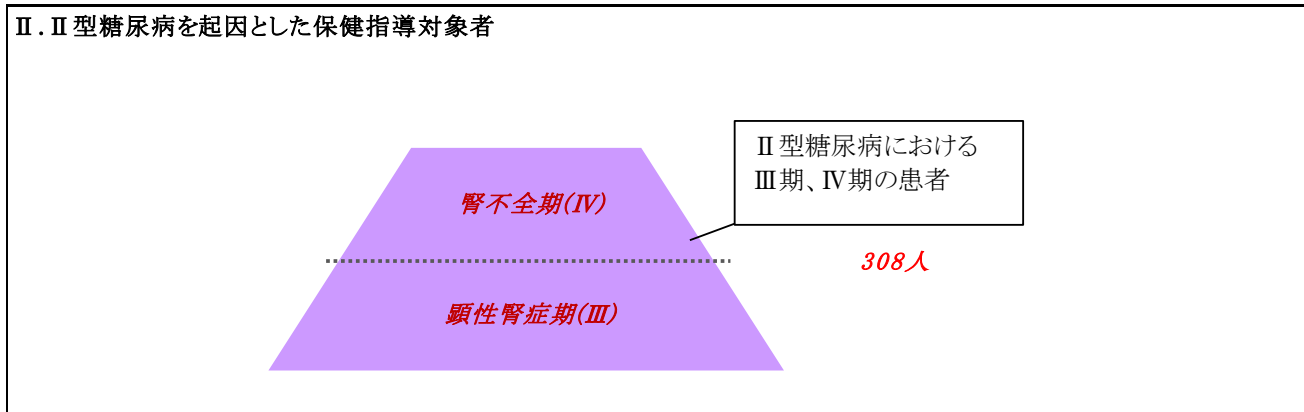
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて308人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行に近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

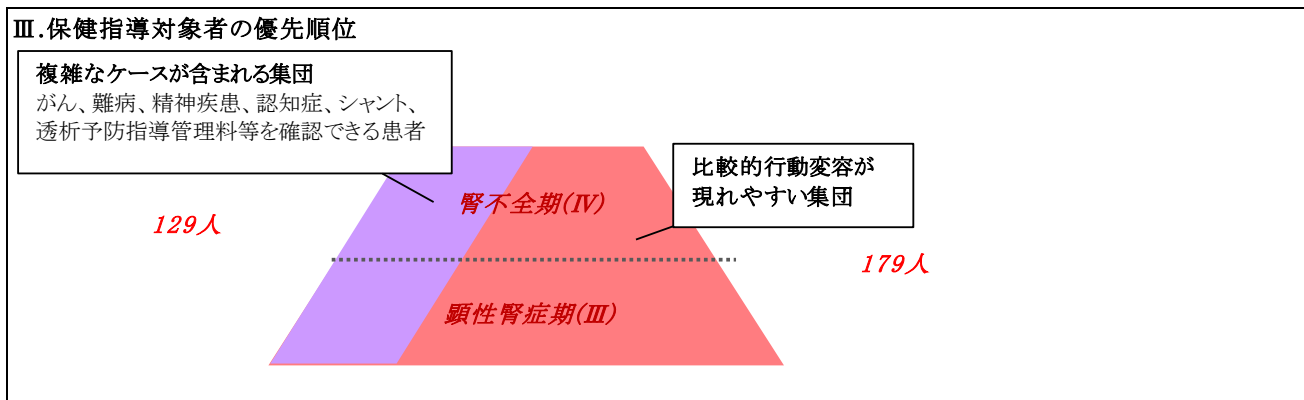


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。308人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、129人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、179人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

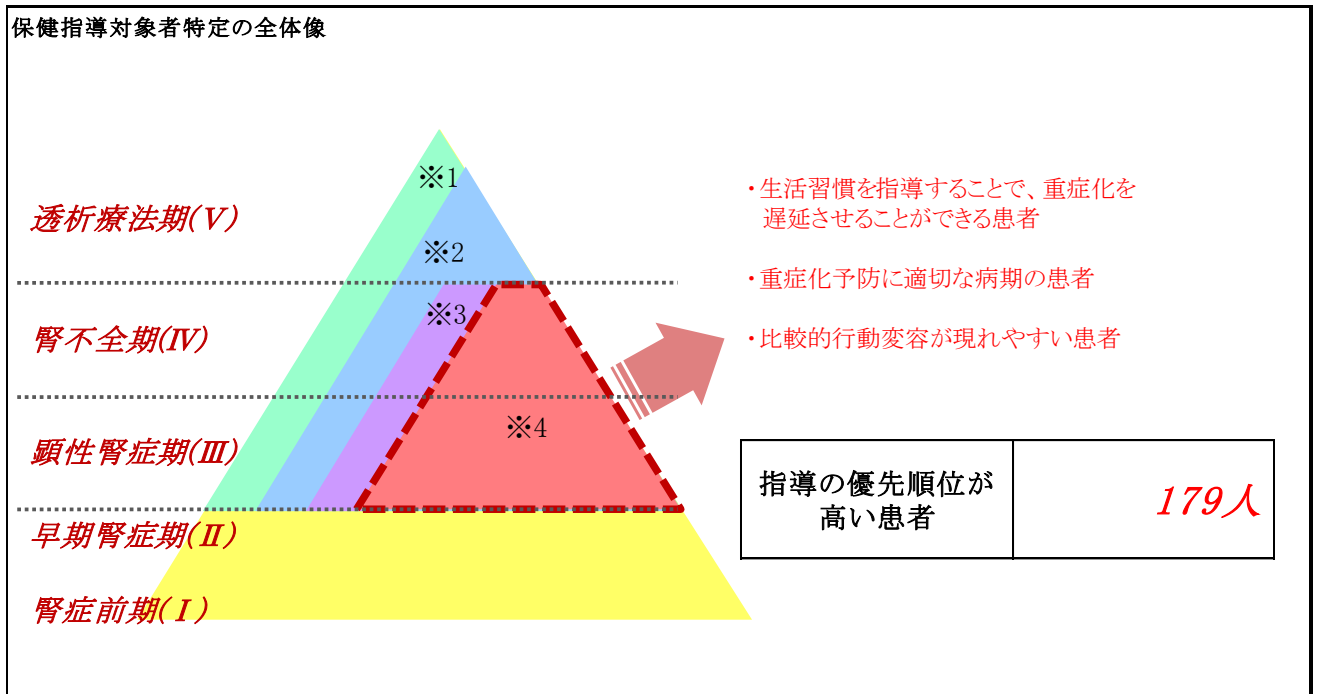
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、179人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

(7) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。指導対象者数の分析結果は以下の通りである。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)のレセプトデータを用いて分析した。

重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人) *	25	19	15	14	19	19	20	19	19	23	18	22
12か月間の延べ人数											232	
12か月間の実人数											149	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライゾン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1か月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人) *	40	46	54	46	55	54	56	55	53	48	47	64
12か月間の延べ人数											618	
12か月間の実人数											191	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1か月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) *	80	63	77	90	86	81	98	129	121	96	94	111
12か月間の延べ人数											1,126	
12か月間の実人数											561	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1か月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

分析結果より、12か月間で重複受診者は149人、頻回受診者は191人、重複服薬者は561人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> ・重複受診患者 …1か月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者 ・頻回受診患者 …1か月間で同一医療機関に12回以上受診している患者 ・重複服薬者 …1か月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者 	
条件設定により候補者となった患者数	829 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	0 人	628 人
除外②	がん、難病等 ※	628 人	
除外患者を除き、候補者となった患者数		201 人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者201人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から、6か月間遡ったレセプトのうち5～6か月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先する。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは19人となった。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑高 効果 低↓	最新6か月レセプトのうち 5～6か月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 6人	候補者C 1人	候補者 としない 182人
	最新6か月レセプトのうち 3～4か月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 9人	候補者D 2人	
	最新6か月レセプトのうち 2か月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2か月レセに該当)	候補者E 1人	候補者F 0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良 効率 悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数			19人	

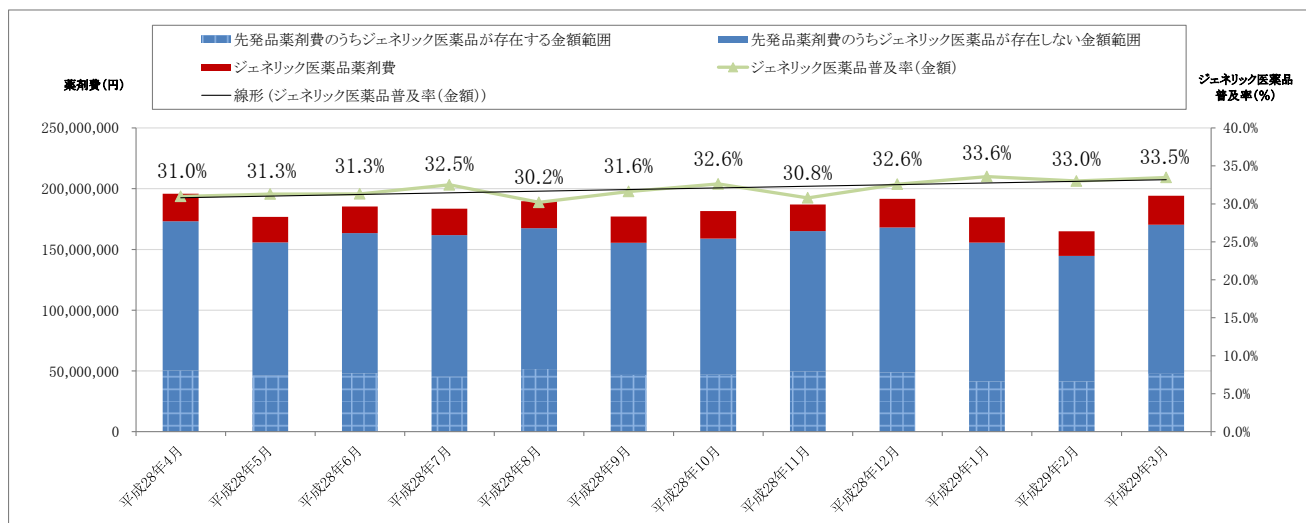
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。

以下に平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示す。現在、ジェネリック医薬品普及率は32.0%(金額ベース)、57.5%(数量ベース)である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



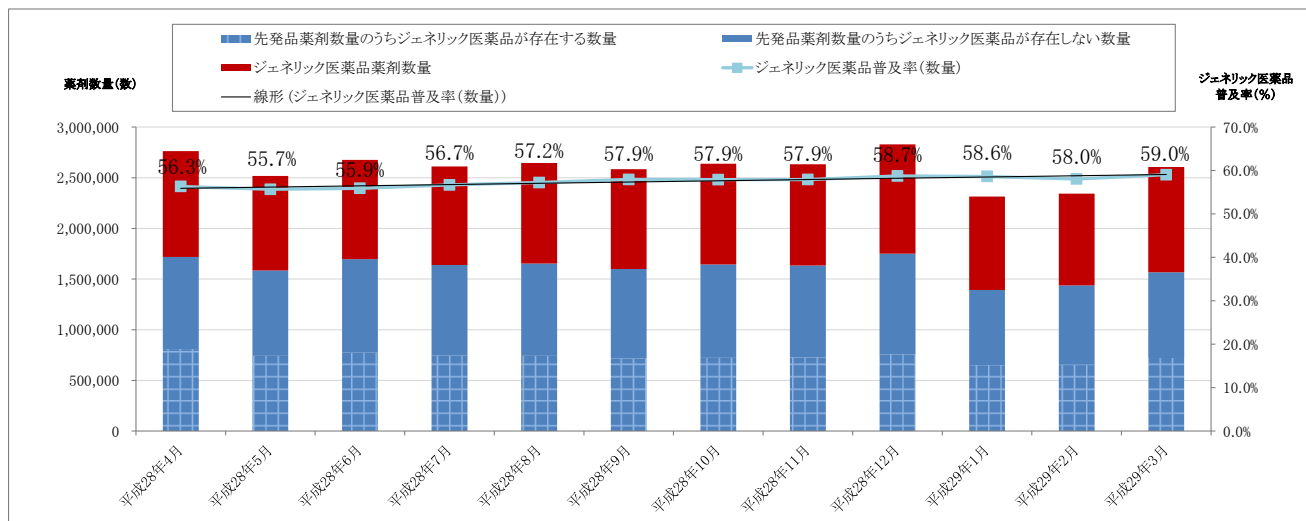
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

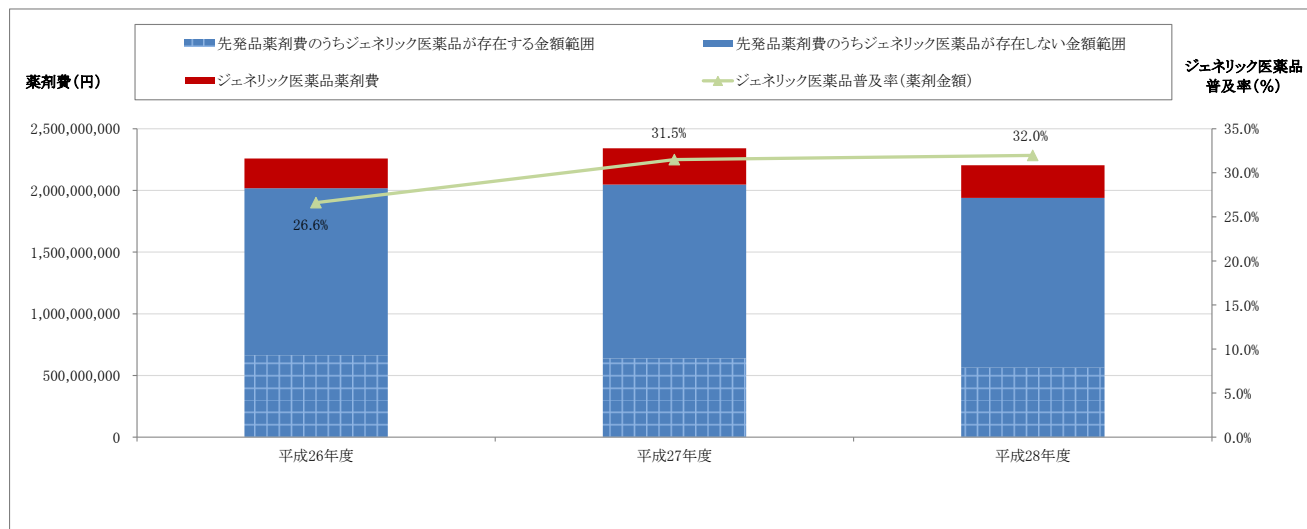
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成26年度から平成28年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示す。平成28年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)32.0%は、平成26年度26.6%より5.4ポイント上昇しており、平成28年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)57.5%は、平成26年度49.2%より8.3ポイント上昇している。

年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



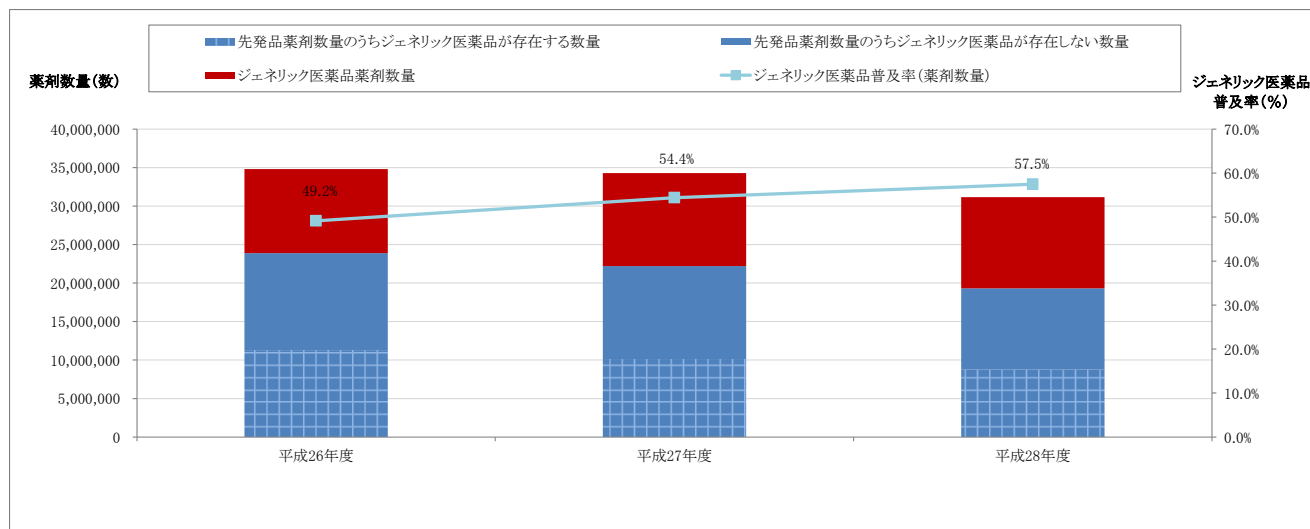
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

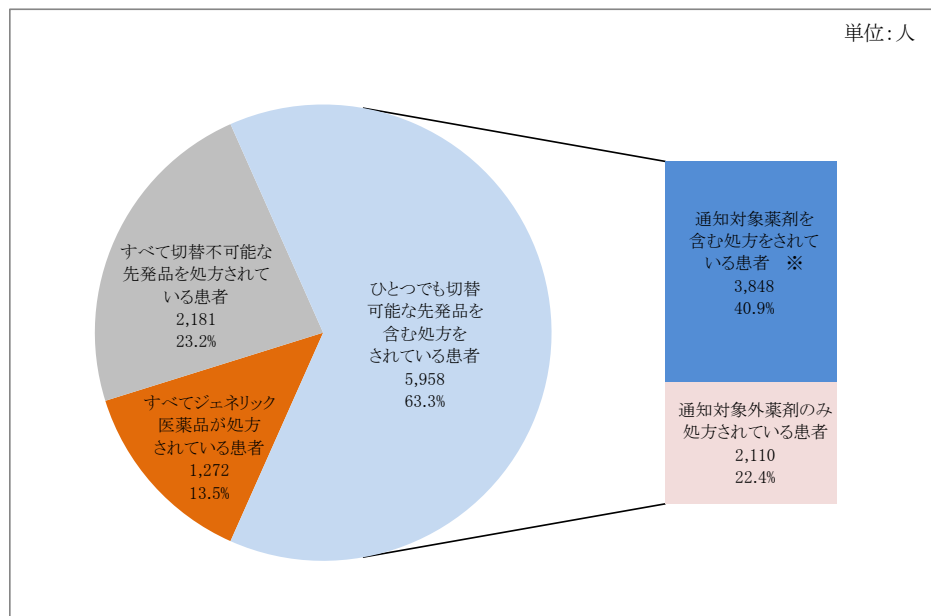
対象診療年月は平成26年4月～平成29年3月診療分(36か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成29年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は9,411人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は5,958人で患者数全体の63.3%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、3,848人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の40.9%となる。

薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のもは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(9) 薬剤併用禁忌に係る分析

薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

現在、平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)の対象者延べ人数は625人、実人数は428人である。

薬剤併用禁忌対象者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
薬剤併用禁忌対象者数(人)※	53	44	51	42	32	37	66	59	72	67	44	58
12か月間の延べ人数											625	
12か月間の実人数											428	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※薬剤併用禁忌対象者…1か月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

実人数(人)	428
件数合計(件)	859

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

No.	(A) 剤型名	(A) 医薬品 コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品 コード	(B) 医薬品名	件数
1	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	217
2	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	46
3	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	622081101	トラムセット配合錠	46
4	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	45
5	内服	620005428	ロカール小児用ドライシロップ20%	内服	620160501	PL配合顆粒	40
6	内服	622028401	インヴェガ錠9mg	内服	620005635	リスベリドン内用液1mg/mL「ヨシトミ」 0.1%	22
7	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	22
8	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	611170295	ハロステン錠1mg	17
9	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	610453150	レボトミン錠5mg	17
10	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	16
11	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	620002519	ジブレキサザイデイス錠10mg	16
12	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	16
13	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	16
14	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	621558101	SG配合顆粒	16
15	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	620005613	リスベリドン錠1mg「ヨシトミ」	15
16	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160501	PL配合顆粒	14
17	内服	622230101	ナテグリニド錠90mg「日医工」	内服	620872003	グリベンクラミド錠2.5mg「三和」	12
18	内服	621524601	スルaptopリド塩酸塩細粒50%「アメル」	内服	620151601	プロムベリドール細粒1%「アメル」	11
19	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	611170192	セレネース錠1mg	11
20	内服	611170691	バルネチール錠50 50mg	内服	620003080	スルピリド錠50mg「アメル」	11
21	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	620161401	ビーエイ配合錠	10
22	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	620009062	ベネトリン吸入液0.5%	10
23	内服	620006067	バルネチール細粒50%	内服	620000064	セレネース内服液0.2%	7
24	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	6
25	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620161401	ビーエイ配合錠	6
26	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	620005635	リスベリドン内用液1mg/mL「ヨシトミ」 0.1%	5
27	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	5
28	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	5
29	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	5
30	内服	620003935	クラリスロマイシン錠200mg「日医工」	内服	622374301	ベルソムラ錠20mg	5
31	内服	620005825	セララ錠50mg	内服	620006951	スローケー錠600mg	5
32	内服	612370037	タンニン酸アルブミン	内服	613220039	フェロミア錠50mg 鉄50mg	5
33	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	610409340	リスバダール錠1mg	5
34	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	内服	620160501	PL配合顆粒	5
35	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621829601	アドエア250ディスカス60吸入用 60ブリスター	5
36	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621950801	シムピコートタービューヘイラー60吸入	5
37	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	660421115	ホクナリンテープ0.5mg	5
38	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	620004835	メブチン吸入液0.01%	5
39	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	4
40	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	621498101	カフコデN配合錠	4
41	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	4
42	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	610451003	ジブレキサ錠10mg	3
43	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	620158101	ベゲタミンB配合錠	3
44	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	621932101	リプレックス錠15mg	3
45	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	611170826	レスリン錠25 25mg	3
46	内服	610443020	ネオオラル50mgカプセル	内服	620002477	クレストール錠2.5mg	3
47	内服	610444106	パチール錠100mg	内服	620005635	リスベリドン内用液1mg/mL「ヨシトミ」 0.1%	3
48	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	620000064	セレネース内服液0.2%	3
49	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	620004224	ソロブテロールテープ0.5mg「HMT」	3
50	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	620004235	ソロブテロールテープ2mg「QQ」	3

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リストは51件以上省略

(10) 服薬情報に係る分析

薬剤の多剤服薬は、副作用が起りやすく様々なリスクがある。特に高齢者に起りやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れがある。転倒による骨折をきっかけに寝たきりになったり、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等が起りやすくなる。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。薬剤種類数別対象者数は以下の通りである。複数医療機関の受診があり6種類以上の薬剤を14日以上服薬している対象者は1,631人である。

薬剤種類数別対象者数

年齢階層	対象者数(人)									
	～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～	合計	
被保険者数(人)	3,726	925	930	955	1,276	2,388	4,829	5,670	20,699	
薬剤種類数	1種類	29	7	8	11	13	43	69	80	260
	2種類	54	7	6	20	13	53	144	138	435
	3種類	47	12	7	16	26	63	143	160	474
	4種類	29	10	9	12	20	54	139	169	442
	5種類	20	11	6	13	24	54	134	168	430
	6種類	14	4	7	4	23	45	122	165	384
	7種類	12	5	6	9	10	36	107	126	311
	8種類	9	6	6	4	11	30	74	114	254
	9種類	10	8	5	8	8	18	35	79	171
	10種類	1	5	4	6	11	10	34	59	130
	11種類	2	2	5	6	6	13	27	51	112
	12種類	1	1	2	4	6	10	24	40	88
	13種類	3	3	4	3	2	6	16	17	54
	14種類	3	1	1	2	1	6	8	15	37
	15種類	1	2	2	3	2	1	6	10	27
	16種類	0	1	0	0	2	5	4	10	22
	17種類	0	0	0	2	0	1	2	8	13
	18種類	0	0	1	1	2	0	0	2	6
	19種類	1	0	0	1	1	0	0	3	6
	20種類	0	0	0	0	1	2	1	2	6
	21種類以上	0	0	0	2	0	2	2	4	10
合計	236	85	79	127	182	452	1,091	1,420	3,672	



長期多剤服薬者数(人)※	1,631
--------------	-------

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4か月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

また、長期多剤服薬者1,631人が被保険者全体に占める割合は7.9%、長期服薬者全体に占める割合は44.4%である。

長期多剤服薬者の状況

		～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳 ～59歳	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	70歳～	合計
A	被保険者数(人)	3,726	925	930	955	1,276	2,388	4,829	5,670	20,699
B	長期服薬者数(人)※	236	85	79	127	182	452	1,091	1,420	3,672
C	長期多剤服薬者数(人)※	57	38	43	55	86	185	462	705	1,631
C/A	被保険者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	1.5%	4.1%	4.6%	5.8%	6.7%	7.7%	9.6%	12.4%	7.9%
C/B	長期服薬者数に占める 長期多剤服薬者割合(%)	24.2%	44.7%	54.4%	43.3%	47.3%	40.9%	42.3%	49.6%	44.4%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年12月～平成29年3月診療分(4か月分)。

長期(14日以上)処方されている内服薬を集計対象とする。

異なる医療機関から同一薬剤が複数処方された場合は1種類として集計する。

複数医療機関の受診があった者を集計対象とする。

※長期服薬者数…1種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

※長期多剤服薬者数…6種類以上の薬剤を14日以上服薬している人数。

4. 分析結果に基づく健康課題の把握

(1) 分析結果

平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)における分析結果を以下に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	新生物<腫瘍>	1,147,840,986円
2位	循環器系の疾患	1,074,530,997円
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	697,230,536円

患者数が多い疾病		患者数
1位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	10,279人
2位	呼吸器系の疾患	10,025人
3位	消化器系の疾患	9,962人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	精神及び行動の障害	227,320円
2位	新生物<腫瘍>	198,898円
3位	循環器系の疾患	116,028円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費
1位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	378,078,053円
2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	372,633,234円
3位	糖尿病	360,388,352円

患者数が多い疾病		患者数
1位	糖尿病	7,245人
2位	高血圧性疾患	7,162人
3位	その他の消化器系の疾患	6,759人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	954,374円
2位	腎不全	647,211円
3位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	492,289円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	2,449件
高額レセプト件数割合	0.9%
高額レセプト医療費割合	33.1%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	熱傷及び腐食	29,571,260円
2位	白血病	6,986,857円
3位	腎不全	6,386,654円

【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	329人
----------	------

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	89人
------------	-----

【糖尿病性腎症発症者の状況】

人工透析患者	68人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	39人

【医療機関受診状況】

重複受診者	149人
頻回受診者	191人
重複服薬者	561人

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)期間中の実人数

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	57.5%
--------------	-------

【薬剤併用禁忌の発生状況】

薬剤併用禁忌対象者	428人
-----------	------

【服薬状況】

長期多剤服薬者	1,631人
---------	--------

平成26年度から平成28年度における疾病分類別の順位、高額レセプトの件数と割合等を年度別に示す。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成26年度	1位	循環器系の疾患	1,217,588,639円
	2位	新生物<腫瘍>	1,087,432,171円
	3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	763,579,764円
平成27年度	1位	循環器系の疾患	1,224,031,288円
	2位	新生物<腫瘍>	1,048,297,295円
	3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	710,212,300円
平成28年度	1位	新生物<腫瘍>	1,147,840,986円
	2位	循環器系の疾患	1,074,530,997円
	3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	697,230,536円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病			医療費
平成26年度	1位	高血圧性疾患	423,088,021円
	2位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	413,040,920円
	3位	その他の悪性新生物<腫瘍>	369,146,015円
平成27年度	1位	高血圧性疾患	397,083,063円
	2位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	394,496,790円
	3位	糖尿病	362,102,088円
平成28年度	1位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	378,078,053円
	2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	372,633,234円
	3位	糖尿病	360,388,352円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

平成 26 年度	高額レセプト件数	2,563件
	高額レセプト件数割合	0.9%
	高額レセプト医療費割合	31.5%
平成 27 年度	高額レセプト件数	2,498件
	高額レセプト件数割合	0.9%
	高額レセプト医療費割合	31.8%
平成 28 年度	高額レセプト件数	2,449件
	高額レセプト件数割合	0.9%
	高額レセプト医療費割合	33.1%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)			患者一人当たりの医療費
平成 26 年度	1位	その他の理由による保健サービスの利用者	12,384,050円
	2位	くも膜下出血	10,707,170円
	3位	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	8,917,078円
平成 27 年度	1位	その他の理由による保健サービスの利用者	7,539,653円
	2位	熱傷及び腐食	7,255,915円
	3位	悪性リンパ腫	5,995,853円
平成 28 年度	1位	熱傷及び腐食	29,571,260円
	2位	白血病	6,986,857円
	3位	腎不全	6,386,654円

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
ジェネリック医薬品 普及率	49.2%	54.4%	57.5%

(2) 分析結果に基づく課題とその対策

分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率 疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額である。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の受診勧奨 ・特定保健指導の実施
<p>◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者 健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健診異常値放置者受診勧奨 ・生活習慣病治療中断者受診勧奨
<p>◆糖尿病性腎症 人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在する。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要になる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防
<p>◆重複・頻回受診者、重複服薬者 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在し、それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受診行動適正化指導
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率 国が定める現在の目標(80%以上)と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品差額通知
<p>◆薬剤併用禁忌 多数の薬剤併用禁忌対象者が存在する。医療機関等に情報提供し、併用禁忌となる薬剤の処方を防止する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤併用禁忌防止
<p>◆服薬の状況 多数の長期多剤服薬者が存在する。多剤服薬は副作用が起りやすく様々なリスクがあるため、適正な服薬を促す必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬情報通知

5. 保健事業実施計画

(1) 各事業の目的と概要一覧

第2期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を以下に示す。

事業名	事業目的	事業概要
特定健康診査 受診勧奨事業	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査を受診していない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。
特定保健指導事業	生活習慣病該当者及び予備群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。
糖尿病性腎症重症化 予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進行 阻止	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6か月間の面談指導と電話指導を行う。
受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診、 重複服薬)	重複・頻回受診者数、重複服薬 者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。
健診異常値放置者 受診勧奨事業	健診異常値を放置している対象 者の医療機関受診	特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。
ジェネリック 医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率 向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。
薬剤併用禁忌防止事業	薬剤併用禁忌の発生件数減少	レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握する。薬剤併用禁忌の対象者リストを作成し、医療機関等へ情報提供を行う。
高血圧症重症化 予防事業	高血圧症患者の病期進行阻止	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6か月間の面談指導と電話指導を行う。
COPD予防受診勧奨事業	COPD発症リスクのある喫煙者の 禁煙外来受診	特定健診の間診から喫煙者を特定し、通知書を送付することで禁煙外来の受診勧奨を行う。受診により、COPDの早期発見と早期治療を目指す。

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
平成30年度～平成35年度		
対象者を特定し、受診券を発送し、その後、対象者が特定健康診査を受診したかどうかを確認する。	対象者への通知率 100%	特定健康診査受診率 60%
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データより検査値の推移を確認する。	対象者の指導実施率 60% 以上	指導完了者の生活習慣改善率 50% 積極的支援及び動機付け支援対象者 10% 減少
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に健康診査データ、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認する。	対象者の指導実施率 20% 以上	指導完了者の生活習慣改善率 70% 指導完了者の検査値改善率 100% 指導対象者の人工透析移行 0人
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。指導後に対象者の受診行動が適切となっているかを確認する。	対象者の指導実施率 20% 以上	指導完了者の受診行動適正化 50% 指導完了者の医療費 50% 減少 重複・頻回受診者、重複服薬者 20% 減少
健診異常値放置者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送する。通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行う。	対象者への通知率 100%	対象者の医療機関受診率 20% 健診異常値放置者 20% 減少
ジェネリック医薬品差額通知書を作成し、郵送する。対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討する。	対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80%
医師、薬剤師へ薬剤併用禁忌情報の提供を行う。医療機関への情報提供後、薬剤併用禁忌の発生状況を確認する。	医療機関への情報提供 100%	薬剤併用禁忌による健康被害 0人
指導対象者に対して適切な保健指導を行った。健康診査、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認した。	対象者の指導実施率 10% 以上	指導完了者の生活習慣改善率 70% 指導対象者の高血圧症における病期進行者 0人
喫煙者を対象とし禁煙外来受診及びスパイロメーターによる呼吸機能検査の勧奨通知書を作成し、郵送する。通知後に医療機関受診があるか確認。	対象者への通知率 100%	対象者の医療機関受診率 20% 対象者の喫煙者数 20% 減少

(2) 全体スケジュール

各事業におけるスケジュールについて以下に示す。

事業名	第1期			第2期(平成30年度～平成35年度)			
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	1Q	2Q	3Q	4Q
特定健康診査事業							P
				D			CA
特定保健指導事業		実施					P
			評価	D			CA
糖尿病性腎症 重症化予防事業		実施					P
			評価	D			
				CA			
受診行動適正化 指導事業 (重複・頻回受診、重複服薬)		実施					P
			評価	D			
				CA			
健診異常値放置者 受診勧奨事業		実施					P
			評価	D			
				CA			
ジェネリック 医薬品差額通知事業		実施					P
			評価	D			
				CA			
薬剤併用禁忌 防止事業		実施					P
			評価	D			
				CA			
高血圧症 重症化予防事業		実施					P
			評価	D			
				CA			
COPD受診勧奨事業		実施					P
			評価	D			
				CA			

(3) 各事業の実施内容と評価方法

本計画(第2期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下の通りである。

①特定健康診査受診勧奨事業

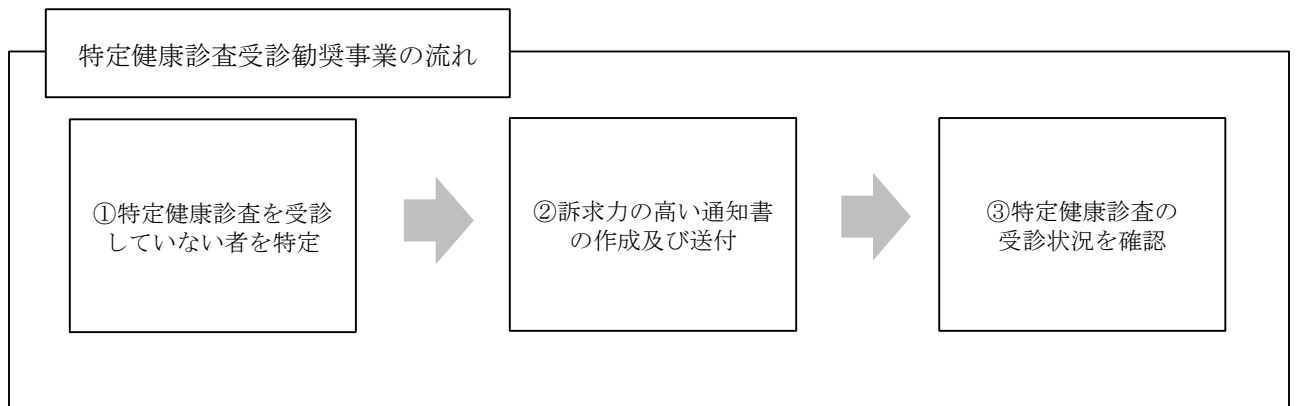
【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

【事業概要】

特定健康診査を受診していない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
		目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	短期	特定健康診査受診率 35%	特定健康診査受診率を確認する。
	中長期	特定健康診査受診率 60%	特定健康診査受診率を確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)														
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)														
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)														
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)														
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)														
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)														

平成30年度事業
平成33年度事業

平成31年度事業
平成34年度事業

平成32年度事業
平成35年度事業

②特定保健指導事業

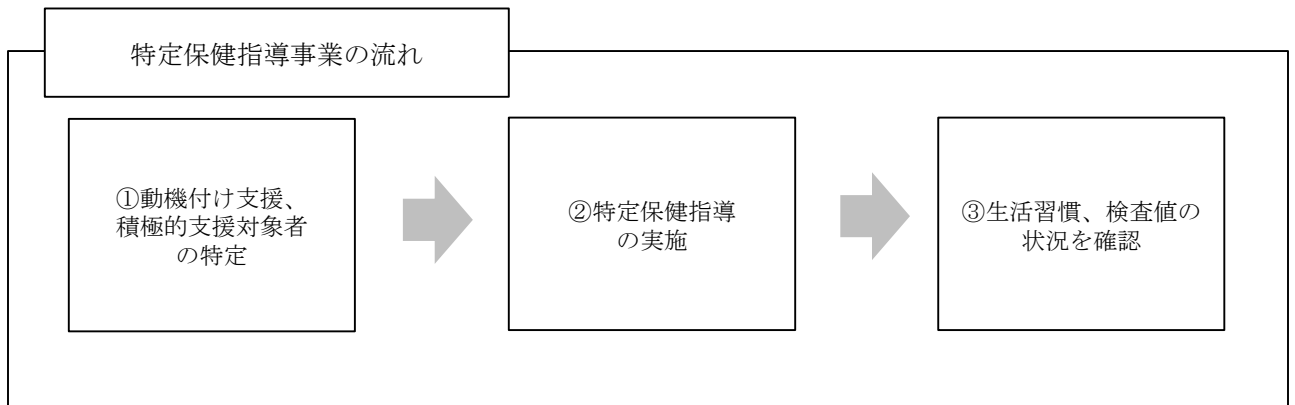
【事業目的】

生活習慣病該当者及び予備群の減少

【事業概要】

特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話、e-mail等で行う。

【事業内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標	評価方法	
対象者の指導実施率 60% 以上	短期	指導完了者の生活習慣改善率 50%	指導前後の健康診査データから生活習慣の改善状況を確認する。
	中長期	積極的支援及び動機付け支援対象者 10% 減少	

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		←											
		指導実施				←									
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認												⇔	
	A(改善)	改善計画											⇔		
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)												⇔		
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		←											
		指導実施				←									
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認												⇔	
	A(改善)	改善計画											⇔		
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)												⇔		
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		←											
		指導実施				←									
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認												⇔	
	A(改善)	改善計画											⇔		
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)												⇔		
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		←											
		指導実施				←									
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認												⇔	
	A(改善)	改善計画											⇔		
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)												⇔		
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		←											
		指導実施				←									
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認												⇔	
	A(改善)	改善計画											⇔		
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)												⇔		
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←											
		指導実施				←									
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認												⇔	
	A(改善)	改善計画											⇔		
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)												⇔		

平成30年度事業
 平成33年度事業

平成31年度事業
 平成34年度事業

平成32年度事業
 平成35年度事業

③糖尿病性腎症重症化予防事業

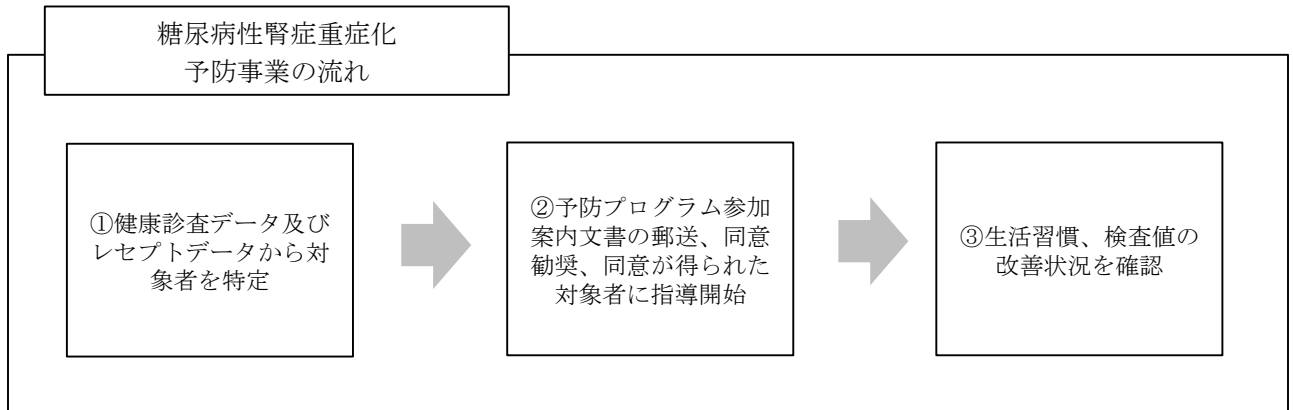
【事業目的】

糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6か月間の面談指導と電話指導を行う。

【実施内容】



【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。


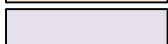
アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 20% 以上	短期	指導完了者の生活習慣改善率 70% 指導完了者の検査値改善率 100%
	中長期	指導対象者の人工透析移行 0人


評価方法: 指導後の結果から生活習慣や検査値の改善状況を確認する。
レセプトデータより新規人工透析患者数の推移を確認する。

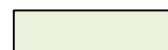
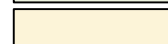
【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													←→
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													←→
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													←→
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													←→
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													←→
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													←→

 平成30年度事業
 平成33年度事業

 平成31年度事業
 平成34年度事業

 平成32年度事業
 平成35年度事業

④受診行動適正化指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)

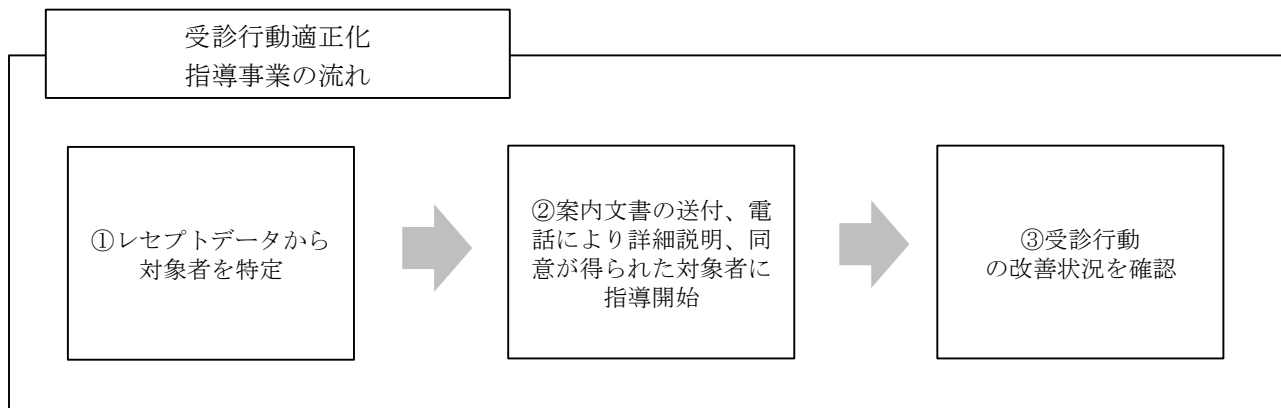
【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

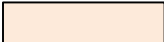


アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 20% 以上	短期 指導完了者の受診行動適正化 50% 指導完了者の医療費 50% 減少	指導後の医療機関受診状況を確認する。
	中長期 重複・頻回受診者、重複服薬者 20% 減少	多受診対象者数の推移により確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													←→
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													←→
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													←→
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													←→
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													←→
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													←→

	平成30年度事業		平成31年度事業		平成32年度事業
	平成33年度事業		平成34年度事業		平成35年度事業

⑤健診異常値放置者受診勧奨事業

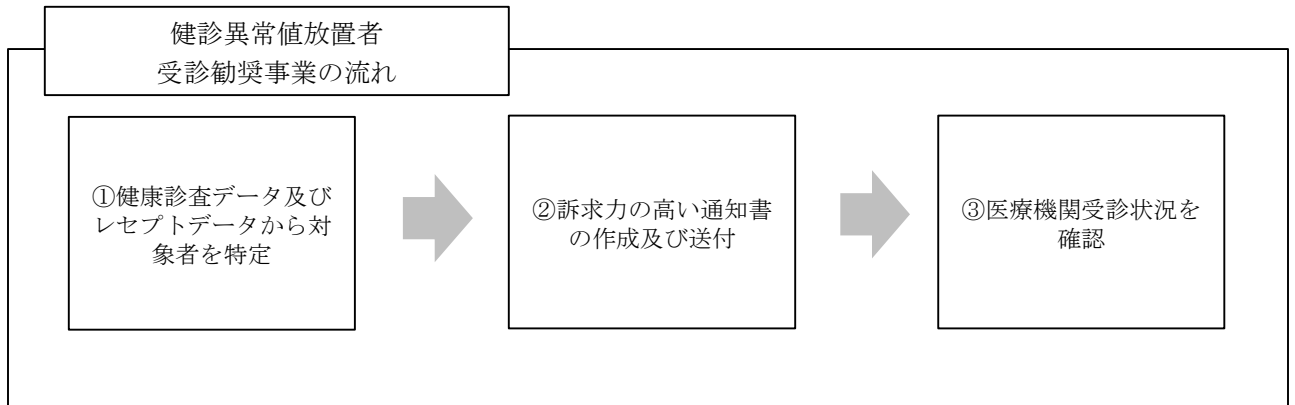
【事業目的】

健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

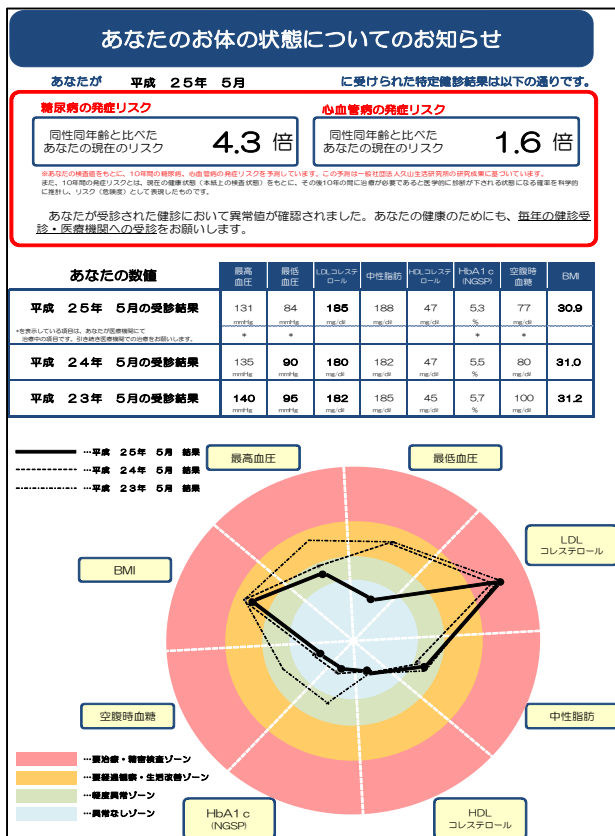
【実施概要】

特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行う。

【実施内容】



通知書デザイン



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値	評価方法	
対象者への通知率 100%	短期	対象者の医療機関受診率 20%	通知後医療機関を受診したか確認する。
	中長期	健診異常値放置者 20% 減少	健診異常値放置者数の推移により確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													←→
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													←→
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													←→
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													←→
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													←→
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													←→

平成30年度事業
平成33年度事業

平成31年度事業
平成34年度事業

平成32年度事業
平成35年度事業

⑥ジェネリック医薬品差額通知事業

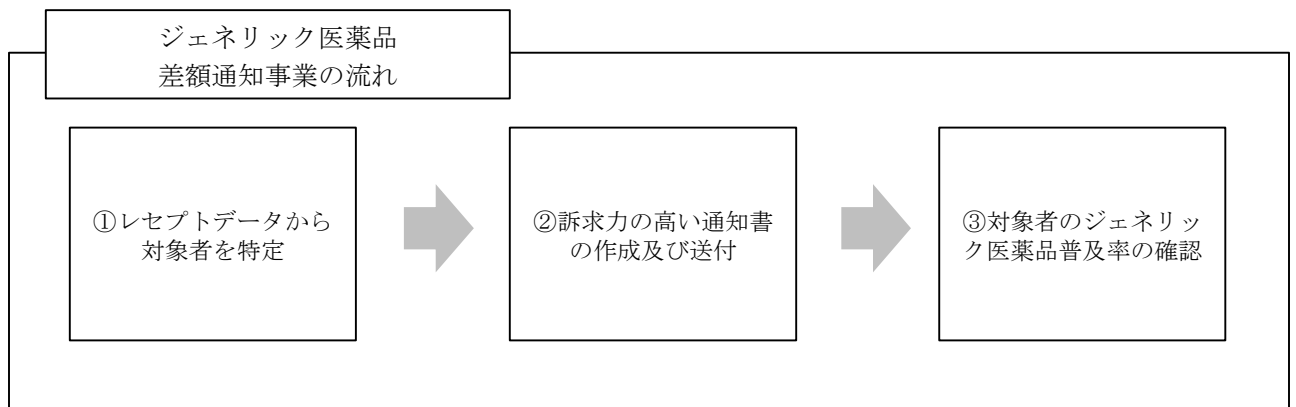
【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	中長期 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)推移により確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備	←												
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定			←										
		効果確認			←										
	A(改善)	改善計画													↔
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													↔	
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備	←												
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定			←										
		効果確認			←										
	A(改善)	改善計画													↔
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													↔	
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備	←												
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定			←										
		効果確認			←										
	A(改善)	改善計画													↔
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													↔	
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備	←												
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定			←										
		効果確認			←										
	A(改善)	改善計画													↔
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													↔	
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備	←												
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定			←										
		効果確認			←										
	A(改善)	改善計画													↔
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													↔	
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備	←												
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定			←										
		効果確認			←										
	A(改善)	改善計画													↔
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													↔	

平成30年度事業
平成33年度事業

平成31年度事業
平成34年度事業

平成32年度事業
平成35年度事業

⑦薬剤併用禁忌防止事業

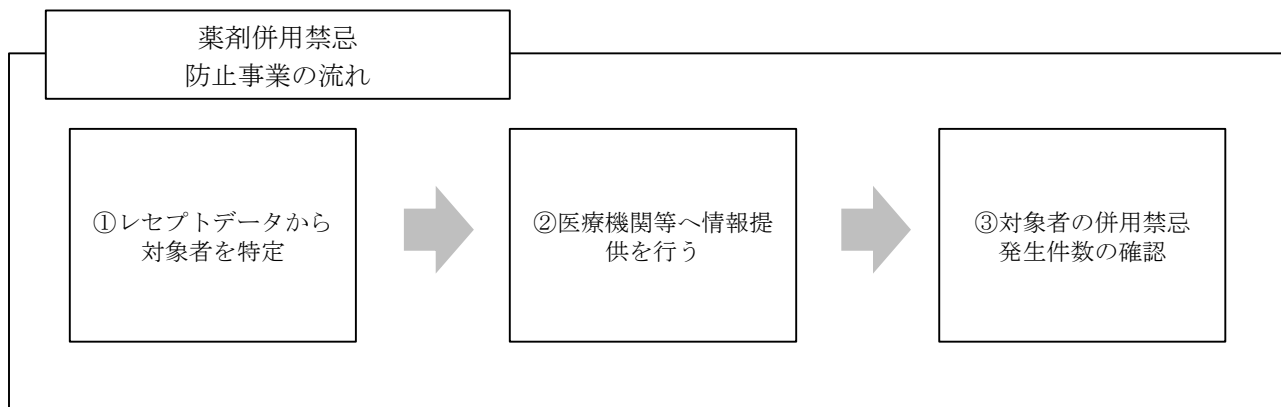
【事業目的】

薬剤併用禁忌の発生件数減少

【事業概要】

レセプトデータから、薬剤併用禁忌の発生状況を把握する。薬剤併用禁忌の対象者リストを作成し、医療機関等へ情報提供を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
医療機関等への情報提供 100%	中長期	薬剤併用禁忌による健康被害 0人	レセプトデータにより確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)														
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)														
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)														
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)														
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)														
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		指導実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)														

平成30年度事業
 平成33年度事業

平成31年度事業
 平成34年度事業

平成32年度事業
 平成35年度事業

⑧高血圧症重症化予防事業

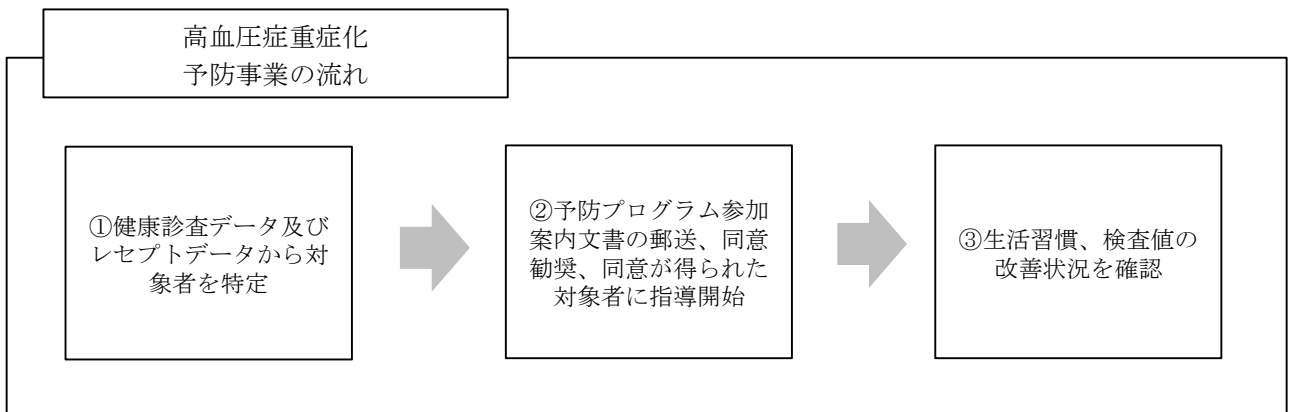
【事業目的】

高血圧症患者の病期進行阻止

【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6か月間の面談指導と電話指導を行う。

【実施内容】



【目標】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者の指導実施率 10% 以上	短期 指導完了者の生活習慣改善率 70%	指導後の結果から生活習慣や検査値の改善状況を確認する。
	中長期 指導実施完了者の高血圧症における病期進行者 0人	レセプトデータより確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													←→
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													←→
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													←→
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													←→
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													←→
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施				←→								
	C(効果測定)	効果測定				←→								
		効果確認												←→
	A(改善)	改善計画												←→
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													←→

平成30年度事業
 平成33年度事業

平成31年度事業
 平成34年度事業

平成32年度事業
 平成35年度事業

⑨ COPD 予防受診勧奨事業

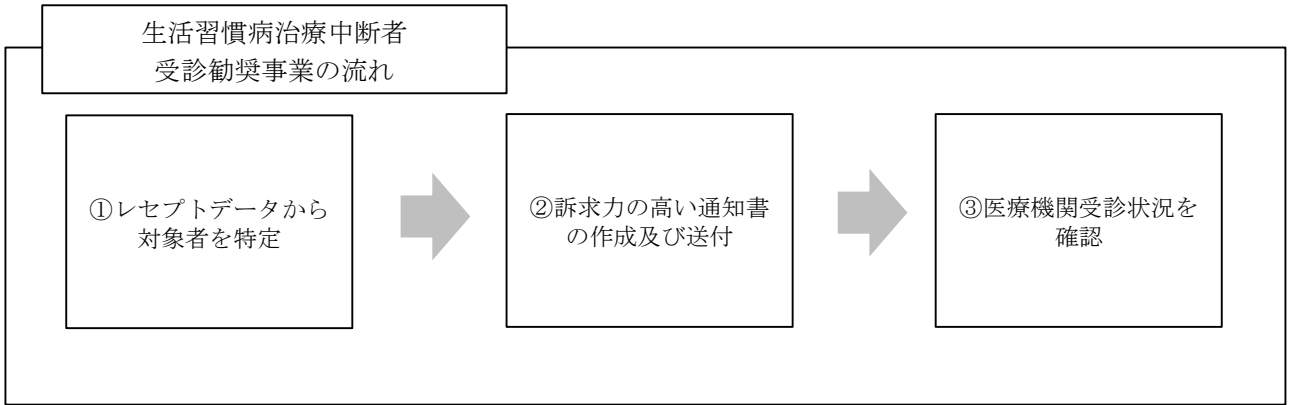
【事業目的】

COPD発症リスクのある喫煙者の禁煙外来受診

【実施概要】

特定健診の間診から喫煙者を特定し、通知書を送付することで禁煙外来の受診勧奨を行う。

【実施内容】



通知書デザイン



大切なあなたへ
働き盛りのみなさんにぜひ、始めてほしい

**COPD（慢性閉塞性肺疾患）の治療
治療法（禁煙）についてのご案内**


COPDになってからでも**禁煙**を行えば、呼吸機能の減少率は禁煙2年以内に、喫煙していない人の呼吸機能減少率とほぼ同じになること
いわれています。



「症状がないから大丈夫」「そのうち・・・」と思っていませんか？
今こそ、禁煙を始めませんか？

COPD 治療法のご紹介

- ①禁煙
- ②ワクチン接種
- ③薬物療法
- ④呼吸リハビリテーション
理学療法、運動療法、栄養管理
- ⑤在宅酸素療法



COPDが相談できる医療機関

下記の医療機関で、COPDの相談が受けられます。

病院名	住所
岩見沢市立栗沢病院	岩見沢市栗沢町南本町30
岩見沢市立総合病院	岩見沢市九条西7-2
岩見沢北翔会病院	岩見沢市十条西21-1
小玉内科医院	岩見沢市二条東1-3
北五条医院	岩見沢市北四条西10-4-7
とくち内科・胃腸科呼吸器科	岩見沢市三条西6-11
竹内内科循環器科	岩見沢市美園五条3-2-1
中村耳鼻咽喉科・呼吸器科	岩見沢市三条西5-7-2
竹内医院	岩見沢市六条西2-4
中央医院	岩見沢市六条西0-5-2
朝日医院	岩見沢市朝日町50
松蔭医院	岩見沢市二条西4-8
森川内科クリニック	岩見沢市7条東1丁目1
おなかのクリニック	岩見沢市九条東1-1-5

◆事業に関するお問い合わせ
 岩見沢市役所 ●●課 ●●係 （担当:●●●●●）
 住所:
 電話:

【目標値及び評価方法】

アウトプット・アウトカムを以下の通り設定する。

アウトプット	アウトカム		
	目標値	評価方法	
対象者への通知率 100%	短期	対象者の医療機関受診率 20%	通知後医療機関を受診したか確認する。
	中長期	対象者の喫煙者数 20% 減少	特定健康診査の喫煙者数の推移により確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとする。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→											
		指導実施				←→									
	C(効果測定)	効果測定					←→								
		効果確認												←→	
	A(改善)	改善計画												←→	
	P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)												←→	
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→											
		指導実施				←→									
	C(効果測定)	効果測定					←→								
		効果確認												←→	
	A(改善)	改善計画											←→		
	P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)											←→		
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→											
		指導実施				←→									
	C(効果測定)	効果測定					←→								
		効果確認												←→	
	A(改善)	改善計画											←→		
	P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)											←→		
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→											
		指導実施				←→									
	C(効果測定)	効果測定					←→								
		効果確認												←→	
	A(改善)	改善計画											←→		
	P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)											←→		
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→											
		指導実施				←→									
	C(効果測定)	効果測定					←→								
		効果確認												←→	
	A(改善)	改善計画											←→		
	P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)											←→		
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→											
		指導実施				←→									
	C(効果測定)	効果測定					←→								
		効果確認												←→	
	A(改善)	改善計画											←→		
	P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)											←→		

平成30年度事業
平成33年度事業

平成31年度事業
平成34年度事業

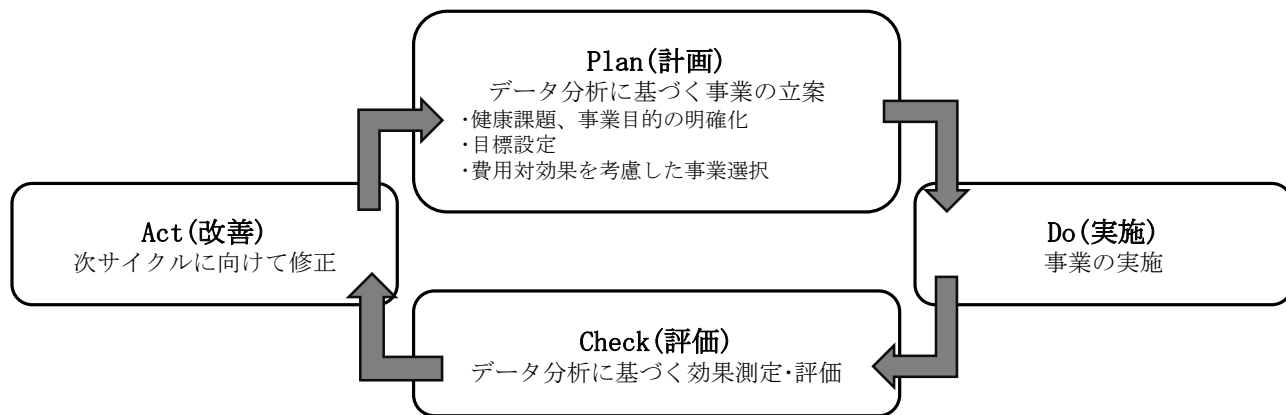
平成32年度事業
平成35年度事業

6. その他

(1) データヘルス計画の見直し

① 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととし、達成状況により必要に応じて次年度の実施計画の見直しを行う。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

② 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施する。

(2) 計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図る。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとする。

(3) 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」「個人情報保護条例」「情報セキュリティポリシー」に基づき管理する。また、業務を外部に委託する際も同様に取扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

(4) 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組む。

第3章

第3期特定健康診査等実施計画

1. 計画策定について

(1) 背景

高齢化の急速な進展に伴い、疾病構造も変化し、疾病全体に占める虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病等の生活習慣病の割合は増加し、死亡原因でも生活習慣病が約6割を占め、医療費に占める生活習慣病の割合も国民医療費の3分の1となっている。

生活習慣病の中でも、特に、心疾患、脳血管疾患等の発症の重要な危険因子である糖尿病、高血圧症、脂質異常症等の有病者やその予備群が増加しており、予備群と考えられる者の割合は、40歳から74歳の男性では2人に1人、女性では5人に1人（※）の割合に達している。

生涯にわたって生活の質の維持・向上のためには、糖尿病、高血圧症、脂質異常症等の発症、あるいは重症化や合併症への進行の予防に重点を置いた取組が重要であり、喫緊の課題となっている。

（※平成27年国民健康・栄養調査）

(2) 計画期間

この計画は6年を1期とし、第3期は平成30年度から平成35年度とする。

(3) 基本方針

- ① メタボリックシンドロームは、内臓脂肪の蓄積により、高血糖、脂質異常、高血圧が重なると、虚血性心疾患、脳血管疾患等の発症リスクが高く、内臓脂肪を減少させることでそれらの発症リスクの低減が図られるという考え方を基本としている。
内臓脂肪の蓄積に起因する糖尿病、脂質異常症、高血圧症は、生活習慣の改善による予防が可能で、発症してしまった後でも、LDL コレステロール、血糖、血圧等をコントロールすることにより、心筋梗、脳梗塞、腎不全等を予防することが可能。
- ② 特定健康診査は、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、メタボリックシンドロームに着目し、その該当者及び予備群を減少させるための特定保健指導を必要とする者を、的確に抽出するために行う。
- ③ 特定保健指導は、内臓脂肪型肥満に着目し、その要因となっている生活習慣を改善するための保健指導を行うことにより、対象者が自らの生活習慣における課題を認識して行動変容と自己管理を行うとともに、健康的な生活を維持することができるようになることを通じて、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的とするものであり、特定健康診査の結果に基づき、特定保健指導の対象者を選定し、保健指導レベルを階層化することにより、特定保健指導を必要とする者の状態に見合った支援を行うものである。

(4) 計画の位置づけ

この計画は「高齢者の医療の確保に関する法律第18条 特定健康診査等基本指針」に基づき、岩見沢市国民健康保険が策定する計画であり、北海道医療費適正化計画等と十分な整合性を図るものとする。

2. メタボリックシンドローム関連疾病の状況等

(1) メタボリックシンドローム関連疾病の状況

平成29年5月診療分の医科医療費約6,3億円、受診件数15,088件のうち、メタボリックシンドロームが影響と思われる疾病は金額、件数ともに約3割となっている。

一件当たり医療費はメタボリック関連が45,096円で、それ以外のものと比較して4,800円高額となっている。

区分		医療費(円)	件数(件)	一件当たり 医療費(円)
メ タ ボ リ ッ ク 関 連	糖尿病	36,919,640	992	37,217
	高血圧性疾患	27,541,750	1,695	16,249
	腎不全	29,851,780	91	328,042
	虚血性心疾患	12,414,370	175	70,939
	脳梗塞	12,436,120	174	71,472
	脳出血	3,872,520	7	553,217
	その他	85,308,420	1,052	81,092
	小計	208,344,600	4,620	45,096
上記以外のもの		421,815,940	10,468	40,296
合計		630,160,540	15,088	41,766

(2) 月額80万円以上の高額レセプトの状況

平成29年5月診療分メタボリック関連医療費のうち80万円以上の高額レセプトの件数は26件となっている。

区分	件数(件)	医療費(円)	一件当たり 医療費(円)
虚血性心疾患	4	4,369,840	1,092,460
その他心疾患	8	12,127,880	1,515,985
くも膜下出血	1	1,995,200	1,995,200
脳内出血	3	3,243,930	1,081,310
脳梗塞	4	3,859,480	964,870
その他脳血管疾患	2	4,131,770	2,065,885
その他循環器系疾患	2	9,070,750	4,535,375
腎不全	2	1,887,130	943,565
合計	26	40,685,980	1,564,845

3. 特定健康診査及び特定保健指導の実施状況

(1) 特定健康診査及び特定保健指導の実施状況

特定健康診査受診者に対するメタボリックシンドローム（メタボ）及びメタボ予備群該当者の割合、特定保健指導対象者は横ばいで推移している。特定保健指導利用者・修了者の割合は、年度ごとの増減はあるが、増加傾向にある。

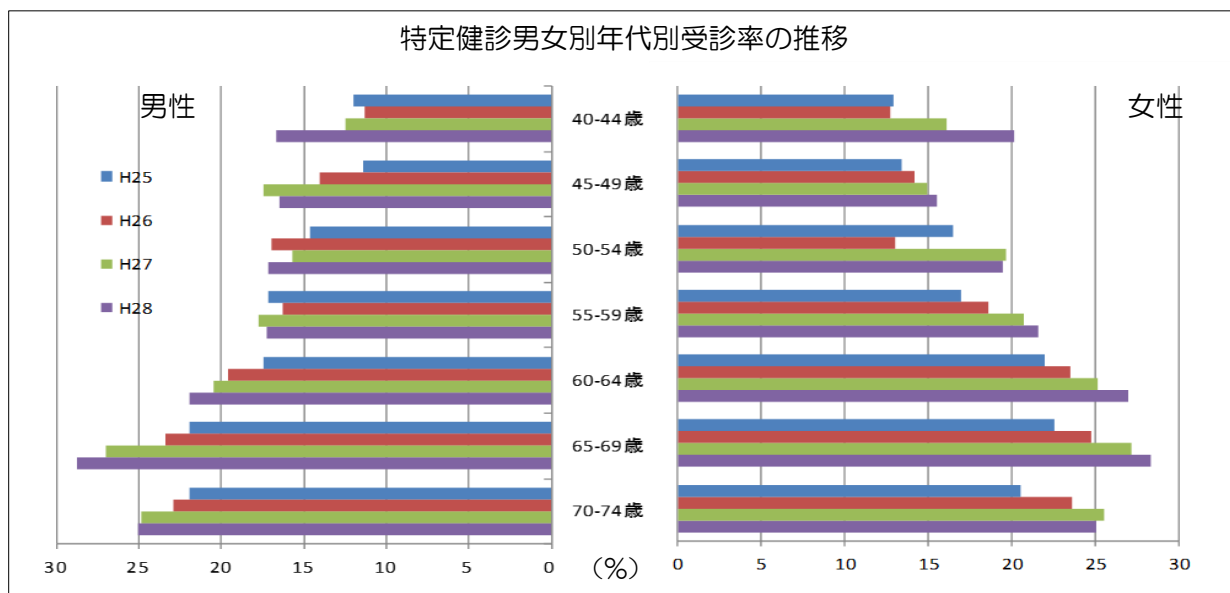
区分	平成20年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
特定健康診査対象者(人)	16,951	16,242	15,906	15,544	14,928	14,180	
特定健康診査受診者(人)	3,523	3,169	3,102	3,289	3,500	3,481	
特定健康診査受診率(%)	20.8	19.5	19.5	21.2	23.4	24.5	
メタボの状況	メタボ該当者(人)	619	422	425	468	504	521
	予備群該当者(人)	360	331	294	324	357	336
	メタボ・予備群該当者(人)	979	753	719	792	861	857
	メタボ・予備群該当者割合(%)	27.8	23.8	23.2	24.1	24.6	24.6
	前年度メタボ・予備群該当者(人)	—	698	675	650	696	765
	上記のうち非該当となった者(人)	—	110	109	71	82	125
	前年度メタボ・予備群減少率(%)	—	15.8	16.1	11.0	11.8	16.3
服薬状況 特定保健指導の状況	高血圧症治療薬の服用者(人)	1,080	954	970	1,083	1,111	1,145
	脂質異常症治療薬の服用者(人)	697	748	777	847	928	980
	糖尿病治療薬の服用者(人)	190	194	180	200	248	248
	服薬により指導対象外とした者(人)	690	605	599	676	710	721
	積極的支援対象者(人)	152	109	95	98	104	87
	動機付け支援対象者(人)	438	251	241	234	272	286
	特定保健指導対象者(人)	590	360	336	332	376	373
	特定保健指導利用者(人)	28	44	33	49	35	94
	特定保健指導利用者の割合(%)	4.7	12.2	9.8	14.7	9.3	25.2
	特定保健指導終了者(人)	26	45	18	52	19	82
	特定保健指導終了者の割合(%)	4.4	12.5	5.3	15.7	5.0	22.0
	前年度特定保健指導利用者(人)	—	74	41	32	46	32
	指導により対象外となった者(人)	—	23	12	10	11	7
指導による対象者減少率(%)	—	31.1	29.3	31.2	24.0	21.9	

(2) これまでの取組みに対する評価

特定健康診査の受診率は、年齢層が高くなるほど高く、特に60歳以上から急に上昇する傾向にある。また、男女別ではほとんどの年齢層で女性の方が男性より高くなっている。

また、各年度別の受診率は向上しているものの、著しい向上がみられないのが現状である。

これまで受診率の向上に向けた取組みでは、広報いわみざわ（年2回）、ホームページへの掲載や未受診者へのはがき、電話による勧奨などの取組みを行ってきたが、今後は、これまでの取組みに加え、これまで一度も受診していない方に対する啓発をはじめ、毎年継続した受診に向けた多様な取組みや、受診しやすい環境の整備を行うなど受診意欲を高める取組みを積極的に行い、受診率の向上を図る必要がある。



(3) 特定健康診査等の実施目標

国が示す参酌標準において、平成35年度における市町村国保の特定健康診査等の実施目標は、「特定健康診査実施率60%」、「特定保健指導実施率60%」を目標としており、第3期計画期間における実施目標を次のとおり定める。

① 特定健康診査

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定健康診査受診率	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%

② 特定保健指導

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
特定保健指導実施率	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%

③ 特定保健指導対象者の減少率

平成20年度比25%以上減少

(4) 特定健康診査等対象者の推計

① 特定健康診査

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
対象者数(人)	12,900	11,874	11,233	10,595	10,011	9,475
受診者数(人)	4,515	4,749	5,054	5,297	5,506	5,685
受診率(%)	35.0	40.0	45.0	50.0	55.0	60.0

② 特定保健指導

区分	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
対象者数(人)	374	345	327	310	291	275
実施者数(人)	131	138	147	155	160	165
実施率(%)	35.0	40.0	45.0	50.0	55.0	60.0

4. 実施目標達成のための方策

特定健康診査の受診率は、年齢が下がるほど低く、40～50歳代の受診率は低調である。この世代は、健康に関心をもちつつも、多忙であり、具体的な行動を取ることが難しい世代でもある。生活習慣病対策として、予防効果が多く期待でき、健康管理が気になる世代を中心に働きかけを強め、受診率を段階的に向上させていく必要がある。

今後、特定健康診査の受診率を向上させるためには、これまで特定健康診査を受けてこなかった方に特定健康診査の必要性を訴えるとともに、一度健診を受けた方が継続して受けるようにしていくことが重要である。

(1) 受診率向上に向けた特定健康診査等に関する情報提供

受診率は、平成25年度から全ての年齢層で向上しており、全体では毎年約4%～10%向上している。また、ほとんどの年代層で女性の方が男性より高く、40歳代から50歳代の男性の受診率が低い傾向にあり、男女とも年齢が上がるにつれて受診率が上がっている。

① ホームページの充実

岩見沢市国民健康保険のホームページに、生活習慣病の知識や毎年特定健康診査を受診することの必要性を伝える内容を盛り込む。

② イベントでの情報提供

健康まつりや各地域で行われる健康教室などのイベントで特定健康診査の受診啓発を行う。

③ 広報での情報発信

引き続き、「広報いわみざわ」や封筒への印刷など各種広報物を活用し、特定健康診査の必要性や受診の仕方、特定健康診査の検査項目等について繰り返し啓発を行う。

(2) 特定健康診査等の未受診者対策

従前の基本健康診査とは違い、保険者が健診を実施することの大きな意味は、未受診者を含めた対象者の実態把握が容易だということにある。こうした保険者としての特性を十分に生かし、未受診の送付対象者に受け入れられやすいメッセージを工夫し、個別の受診勧奨を積極的に進めていく。

①はがきによる勧奨

特定健康診査を一度も受診していない方や40歳に到達し初めて受診対象となった方を中心に未受診者勧奨はがきの送付を継続して実施する。

②電話による勧奨

特定健康診査の未受診者に電話による受診勧奨を実施し、受診希望者には健診予約を受け付ける。また、電話勧奨時にアンケート調査を実施する。

③その他の勧奨

保健推進員による地域での啓発活動に加え、窓口や保険料徴収員による受診勧奨、保健師による電話・訪問勧奨を実施する。

(3) 受診しやすい環境の整備

①インターネットによる健診予約

現在、電話予約のみとなっている健診の予約について、インターネットを利用した予約システムを整備することで、健診予約の利便性を図り、若年層の受診率向上を図る。

②イベントでの健診予約

健康まつりや各地域で行われる健康教室などのイベントで、インターネットに接続しているタブレットを利用して、健診予約を行う。

③窓口での健診予約

窓口での受診勧奨と同時に、インターネットに接続しているタブレットを利用して、健診予約を行う。

④各種健診との同時受診

各種がん検診等と同時に受診できるすこやか健診や人間ドックの受診を推進する。

(4) 受診に向けたインセンティブ対策

特定健康診査受診者に健康ポイントを付与する等、受診のインセンティブとなる施策を行う。

(5) 定期治療者に対する受診支援

定期治療中の方も特定健康診査を受診できることを周知するとともに、医師会の協力を得て、治療先である医療機関でも治療と特定健康診査と組み合わせた治療を勧奨するよう協力を求める。

(6) 検査項目の充実と自己負担の無料化

より多くの方に受診していただくため、法定健診項目に加え、市独自の健診項目を追加するとともに、平成28年度より実施している健診費用の自己負担無料を継続して行く。

5. 特定健康診査等の実施方法

(1) 実施項目

特定健康診査の法定項目に加え、血管の傷みなどからおきる腎臓の機能低下を予防するため、引き続き尿酸を健診項目に加えて実施し、血清クレアチニン、血液一般検査、血糖、ヘモグロビンA1cをすべての受診者に実施する。

健診項目		実施項目	法定項目	凡例	
診察	質問(問診)	○	○	○ 必須項目 □ 医師の判断に基づき選択的に実施する項目 ■ いずれかの項目の実施でも可 ● 市が独自に実施する項目	
	計測	身長	○		○
		体重	○		○
		BMI	○		○
		腹囲	○		○
理学的所見(身体診察)	○	○			
血圧	○	○			
脂質	中性脂肪	○	○		
	HDLコレステロール	○	○		
	LDLコレステロール又はnon-HDLコレステロール	○	○		
肝機能	AST(GOT)	○	○		
	ALT(GPT)	○	○		
	γ-GT(γ-GTP)	○	○		
代謝系	血糖	●	■		
	尿糖	○	○		
	ヘモグロビンA1c	●	■		
血液一般	ヘマトクリット値	●	□		
	血色素測定	●	□		
	赤血球数	●	□		
尿腎機能	尿蛋白	○	○		
	尿酸値	●	—		
	血清クレアチニン	●	□		
心機能	12誘導心電図	□	□		
眼底検査		□	□		

(2) 実施場所及び実施期間

市が行う成人健診での同時実施、市内医療機関又は健診機関での実施のほか、必要に応じて市外医療機関等でも実施できるようにする。具体的な実施日時及び場所については健診実施機関と調整等を行ったうえ周知する。

①各種がん検診と同時実施

いわみざわ健康ひろば、市内各コミュニティセンター等で各種がん検診と同時実施できる「すこやか健診」及び札幌がん検診センターまでバスで送迎する「バスツアー健診」等を実施する。実施日時及び場所については委託先と調整のうえ決定する。

②市民健康センターでの実施

特定健康診査のみでの実施のほか、人間ドックによる実施も行う。期間は通年で実施する。

③市内医療機関での実施

日頃より通院している病院や診療所で健診が可能となるよう、市医師会と集合委託契約を締結し実施する。期間は特定健康診査受診券送付時点から年度末まで実施する。

④その他の機関での実施

職場の健康診断等において、受診結果を特定健康診査結果とすることができる場合、当該健診機関に委託のうえ実施する。期間は各委託先と調整のうえ決定する。

(3) 周知・案内方法

①周知方法

市の広報による周知はもとより、国保の被保険者証及び納付書等の発送に併せ、パンフレットやチラシを同封するとともに、市のホームページに受診方法などを掲載し周知を図る。

②受診券の配布

年度当初に対象者全員に受診券を送付するとともに、パンフレットや受診方法などを掲載したチラシを同封する。

③受診勧奨

受診券送付後、一定期間が経過した時点で、未受診者に対し受診を促す文書及び電話等による受診勧奨を行う。

(4) 受診方法

各健診機関の窓口で受診券及び国保保険証を提示して受診する。

6. 特定保健指導の実施方法

(1) 対象者の選定基準

特定健康診査の結果により、「特定保健指導の実施に関する基準」（厚生労働大臣告示特定保健指導の対象者に関する基準）に基づき、対象者の選定と保健指導レベルの階層化を行う。

腹囲/BMI	追加リスク	④喫煙歴	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40-64歳	65-74歳
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当	－	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当	あり		
		なし		
上記以外で ⑤BMI≥25	3つ該当	－	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当	あり		
		なし		
	1つ該当	－		

(注) 喫煙歴の－は、階層化の判定が喫煙歴の有無に関係ないことを意味する。

- ① 血糖：空腹時血糖100mg/dl以上又はヘモグロビンA1c 5.6% (NGSP値) 以上又は随時血糖が100mg/dl 以上 (原則として空腹時血糖又はHbA1cを測定することとし、空腹時以外はHbA1cを測定する。やむを得ず空腹時以外においてHbA1cを測定しない場合は、食直後を除き随時血糖による血糖検査を行うことを可とする。)
- ② 脂質：中性脂肪150 mg/dl以上又はHDLコレステロール40mg/dl未満
- ③ 血圧：収縮期(最高)130mmHg以上又は拡張期(最低)85mmHg以上
- ④ 喫煙歴：過去に合計100本以上、又は6か月以上吸っている者で最近1か月も吸っている者
- ⑤ BMI：体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

(2) 実施項目

対象者が自らの健康状態を自覚し、生活習慣の改善のための自主的な取組みを継続的に行うことができるようになることを目的として、「標準的な健診・保健指導のプログラム(平成30年度版)」（平成30年2月 厚生労働省健康）に記載された内容に基づき実施する。

①動機付け支援

＜初回面接：個別支援・グループ支援＞

保健師、管理栄養士等の面接・指導のもとに行動計画を策定し、生活習慣改善のための取組みに係る支援を行う。

＜3か月以上経過後の評価：個別支援・グループ支援・電話・E-mail等＞

身体状況や生活習慣に変化がみられたか確認する。

②積極的支援

＜初回面接：個別支援・グループ支援＞

保健師、管理栄養士の面接・指導のもとに行動計画を策定し、生活習慣の改善のための取組みに係る支援を行う。

＜3か月以上の継続的な支援：個別支援・グループ支援・電話・E-mail等＞

栄養・運動等の生活習慣の改善に必要な実践的な指導を行う。

＜6か月後の評価：個別支援・グループ支援・電話・E-mail等＞

身体状況や生活習慣に変化がみられたか確認する。

(3) 実施場所及び実施期間

岩見沢保健センター等の他、市が委託する健診機関等の提供する場所で実施する。期間は特定健康診査の結果に基づき、初回面接日を起点に3か月以上とする。

(4) 周知・案内方法

①周知方法

市の広報による周知はもとより、国保の被保険者証及び納付書等の発送に併せ、パンフレット等を同封するとともに、国保のホームページに指導の受け方などを掲載し周知を図る。

②受診券・利用案内の配布

保健指導の対象者となった場合、保健指導の利用案内を送付するとともにパンフレットやチラシを送付し、周知を図る。

③電話による受診勧奨

保健指導の対象者に利用案内等を送付後に、電話による受診勧奨を実施し、実施率の向上を図る。

7. その他

(1) 実施計画の公表・周知

特定健康診査等実施計画の公表は、市の広報及び市のホームページに掲載し周知を図る。

(2) 個人情報の保護

①記録の保存方法実施項目

特定健康診査及び特定保健指導結果を市が管理する健康管理システムで管理・保存する。

また、健診結果等は5年間分をデータベースに保存し、5年を経過したデータはCD-R等の記録媒体で当分の間保管する。

②保存体制

特定健康診査の結果等を記録しているサーバーは、入退室が制限されている、行政情報化推進室において管理する。

また、記録媒体の保管については、岩見沢保健センター内の立ち入りが制限できる部署で厳重に保管する。

(3) 実施計画の評価

①特定健康診査の受診率・特定保健指導の実施率

事業年度毎の事業計画値と実績値を、対象年齢別、地区別等による実績評価を行う。

②特定保健指導対象者の減少率

平成20年度実績と平成35年度実績を比較し、特定保健指導対象者数の割合等を用いて16年間の減少率を算出し、実施計画上の目標値と比較する。

また、毎年度の減少率は、実施計画上の目標値として設定されていないが、特定保健指導の対象者率等を前年実績から検証し、特定保健指導の実施内容を評価する。

③評価

前年度実績と事業計画との比較・検証を行い、翌年度の事業計画等へ反映させる。

(4) 実施計画の見直し

計画期間中に国や北海道の計画に変更が生じた場合、又は実施にあたり計画を見直す必要が生じたときは、計画を変更するものとする。また、計画が変更された場合は速やかに公表・周知する。

卷末資料

1. 地区分析

(1) 大分類による疾病別医療費地区別統計

平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示す。

西条丁目、北本町、桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	粟沢地区	北条丁目、有明、緑町、西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえで、栄町、東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、並木、美園、ふじ地区	その他	

【西条丁目、北本町、桜木、元町、大和地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	25,984,979	2.3%	13	2,916	12	750	10	34,647	15
II. 新生物<腫瘍>	194,660,965	17.0%	1	3,025	11	803	7	242,417	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	9,292,540	0.8%	15	1,212	15	335	15	27,739	17
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	98,584,343	8.6%	4	11,998	2	1,416	1	69,622	10
V. 精神及び行動の障害	133,277,859	11.6%	3	4,203	8	426	14	312,859	1
VI. 神経系の疾患	61,102,720	5.3%	9	6,678	6	676	11	90,389	7
VII. 眼及び付属器の疾患	34,661,594	3.0%	11	4,159	9	754	9	45,970	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	3,426,156	0.3%	17	655	17	214	16	16,010	20
IX. 循環器系の疾患	134,406,193	11.7%	2	13,188	1	1,276	4	105,334	4
X. 呼吸器系の疾患	82,475,375	7.2%	8	7,423	5	1,353	3	60,957	12
X I. 消化器系の疾患 ※	84,405,924	7.4%	7	11,310	3	1,364	2	61,881	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	27,045,854	2.4%	12	4,280	7	825	6	32,783	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	91,616,241	8.0%	5	8,492	4	1,112	5	82,389	8
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	88,529,173	7.7%	6	2,575	13	638	12	138,760	3
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	1,813,265	0.2%	19	73	20	25	20	72,531	9
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,107,748	0.1%	20	14	21	11	21	100,704	5
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	2,409,201	0.2%	18	90	19	40	19	60,230	13
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	20,314,935	1.8%	14	3,295	10	783	8	25,945	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	47,128,014	4.1%	10	1,949	14	498	13	94,635	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,168,118	0.4%	16	916	16	172	17	24,233	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	334,383	0.0%	21	241	18	47	18	7,115	21
合計	1,146,745,580			37,271		2,439		470,170	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	粟沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【東条丁目地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	17,026,029	2.5%	11	1,970	12	513	8	33,189	14
II. 新生物<腫瘍>	87,518,187	13.0%	2	2,006	11	527	7	166,069	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	5,220,898	0.8%	15	738	15	208	15	25,100	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	59,788,433	8.9%	4	8,245	1	881	2	67,864	7
V. 精神及び行動の障害	114,683,993	17.0%	1	3,098	7	283	13	405,244	1
VI. 神経系の疾患	52,033,192	7.7%	6	4,804	5	454	11	114,611	3
VII. 眼及び付属器の疾患	24,946,638	3.7%	10	2,594	8	479	9	52,081	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,187,022	0.3%	16	523	17	153	16	14,294	19
IX. 循環器系の疾患	85,077,809	12.6%	3	7,960	2	786	4	108,241	4
X. 呼吸器系の疾患	35,357,165	5.2%	9	4,643	6	902	1	39,199	13
X I. 消化器系の疾患 ※	49,623,734	7.4%	7	7,463	3	874	3	56,778	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	16,606,969	2.5%	12	2,474	9	528	6	31,453	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	52,484,991	7.8%	5	5,805	4	708	5	74,131	6
X IV. 泌尿路生殖系系の疾患	42,663,916	6.3%	8	1,629	13	399	12	106,927	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	1,628,835	0.2%	17	75	20	26	20	62,648	8
X VI. 周産期に発生した病態 ※	292,393	0.0%	20	6	21	6	21	48,732	12
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	655,253	0.1%	19	119	19	30	19	21,842	17
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	9,857,697	1.5%	14	2,130	10	471	10	20,929	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	15,571,882	2.3%	13	979	14	269	14	57,888	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	875,310	0.1%	18	691	16	110	17	7,957	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	260,914	0.0%	21	247	18	37	18	7,052	21
合計	674,361,260			24,571		1,589		424,393	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	栗沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【栗沢地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	11,538,459	1.9%	13	1,581	11	480	7	24,038	19
II. 新生物<腫瘍>	93,798,732	15.0%	2	1,509	13	457	10	205,249	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	7,937,389	1.3%	15	654	16	186	15	42,674	12
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	59,125,992	9.5%	4	6,535	2	838	2	70,556	8
V. 精神及び行動の障害	52,271,932	8.4%	5	1,958	8	217	14	240,884	1
VI. 神経系の疾患	34,517,259	5.5%	9	3,254	6	383	12	90,123	7
VII. 眼及び付属器の疾患	16,472,139	2.6%	11	2,353	7	498	6	33,077	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,358,679	0.4%	18	474	17	148	16	15,937	21
IX. 循環器系の疾患	112,717,715	18.1%	1	6,824	1	763	4	147,730	4
X. 呼吸器系の疾患	35,044,533	5.6%	8	4,484	5	875	1	40,051	13
X I. 消化器系の疾患 ※	48,197,868	7.7%	6	6,248	3	833	3	57,861	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	8,850,652	1.4%	14	1,918	9	460	9	19,241	20
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	67,028,940	10.8%	3	4,954	4	720	5	93,096	5
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	35,553,016	5.7%	7	1,529	12	384	11	92,586	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	2,660,591	0.4%	17	44	20	16	20	166,287	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	173,197	0.0%	21	10	21	5	21	34,639	14
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	1,509,322	0.2%	19	85	19	25	19	60,373	9
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,910,157	1.9%	12	1,760	10	462	8	25,780	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	17,457,957	2.8%	10	987	14	326	13	53,552	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,513,057	0.6%	16	704	15	113	17	31,089	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	827,134	0.1%	20	139	18	30	18	27,571	17
合計	623,464,720			21,375		1,599		389,909	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	粟沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【北条丁目、有明、緑町、西川、若松地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	22,704,688	3.5%	12	2,302	11	536	8	42,359	14
II. 新生物<腫瘍>	104,990,296	16.2%	1	2,168	12	572	6	183,549	1
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	3,789,924	0.6%	16	831	15	206	15	18,398	19
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	68,880,952	10.7%	3	9,293	2	1,015	1	67,863	9
V. 精神及び行動の障害	36,332,859	5.6%	8	2,681	8	247	14	147,097	2
VI. 神経系の疾患	28,598,595	4.4%	9	5,090	6	475	11	60,208	10
VII. 眼及び付属器の疾患	28,312,044	4.4%	10	3,107	7	545	7	51,949	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,516,985	0.4%	18	516	17	151	16	16,669	20
IX. 循環器系の疾患	90,685,591	14.0%	2	9,606	1	928	4	97,722	5
X. 呼吸器系の疾患	39,412,713	6.1%	7	5,198	5	954	3	41,313	15
X I. 消化器系の疾患 ※	52,136,938	8.1%	5	8,320	3	982	2	53,093	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	12,461,492	1.9%	13	2,482	9	527	9	23,646	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	60,087,868	9.3%	4	6,538	4	821	5	73,189	8
X IV. 泌尿生殖器系の疾患	50,405,582	7.8%	6	1,902	13	434	12	116,142	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	3,057,354	0.5%	17	57	19	22	19	138,971	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	256,614	0.0%	20	6	21	3	21	85,538	6
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	288,024	0.0%	19	33	20	14	20	20,573	18
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,133,168	1.7%	14	2,370	10	486	10	22,908	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	22,821,424	3.5%	11	1,239	14	294	13	77,624	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,289,261	1.1%	15	810	16	137	17	53,206	11
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	227,348	0.0%	21	180	18	38	18	5,983	21
合計	646,389,720			26,639		1,706		378,892	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

西余丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	粟沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【春日、鳩が丘、東山、緑が丘地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	24,437,854	4.9%	9	1,601	12	381	10	64,141	7
II. 新生物<腫瘍>	82,827,067	16.6%	1	1,726	10	455	6	182,038	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	2,723,404	0.5%	15	672	15	162	15	16,811	20
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	44,840,851	9.0%	5	6,997	1	787	1	56,977	10
V. 精神及び行動の障害	41,173,856	8.2%	6	2,134	8	208	14	197,951	1
VI. 神経系の疾患	20,183,470	4.0%	10	3,589	6	364	11	55,449	11
VII. 眼及び付属器の疾患	16,690,022	3.3%	12	2,200	7	426	7	39,178	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,100,624	0.4%	16	400	17	111	16	18,925	18
IX. 循環器系の疾患	65,740,935	13.2%	2	6,778	2	696	4	94,455	4
X. 呼吸器系の疾患	44,995,042	9.0%	4	4,088	5	711	3	63,284	8
X I. 消化器系の疾患 ※	35,595,960	7.1%	8	5,974	3	731	2	48,695	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	8,523,331	1.7%	13	1,830	9	412	8	20,688	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	46,792,458	9.4%	3	4,772	4	635	5	73,689	5
X IV. 泌尿路生殖系系の疾患	36,082,140	7.2%	7	1,352	13	317	12	113,824	3
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	175,521	0.0%	21	21	20	9	20	19,502	17
X VI. 周産期に発生した病態 ※	181,322	0.0%	20	5	21	3	21	60,441	9
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	530,340	0.1%	18	49	19	23	18	23,058	15
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,971,500	1.4%	14	1,627	11	387	9	18,014	19
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	17,783,334	3.6%	11	889	14	252	13	70,569	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	362,152	0.1%	19	545	16	105	17	3,449	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	717,637	0.1%	17	72	18	14	19	51,260	12
合計	499,428,820			20,268		1,270		393,251	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	粟沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【お茶の水、幌向、中幌向、上幌向、双葉地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	26,160,336	2.8%	12	2,783	12	668	9	39,162	15
II. 新生物<腫瘍>	146,654,433	15.6%	2	2,535	13	729	7	201,172	1
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	11,280,278	1.2%	15	1,203	15	276	15	40,871	12
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	103,458,149	11.0%	3	14,442	1	1,314	1	78,735	6
V. 精神及び行動の障害	63,236,882	6.7%	6	3,635	8	337	14	187,647	2
VI. 神経系の疾患	35,848,023	3.8%	9	5,756	6	568	12	63,113	8
VII. 眼及び付属器の疾患	29,489,364	3.1%	11	3,916	7	745	6	39,583	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	3,188,351	0.3%	17	710	17	183	16	17,423	20
IX. 循環器系の疾患	175,927,233	18.7%	1	13,933	2	1,183	4	148,713	3
X. 呼吸器系の疾患	55,596,224	5.9%	8	7,259	5	1,227	3	45,311	11
X I. 消化器系の疾患 ※	71,597,851	7.6%	5	11,384	3	1,312	2	54,572	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	14,959,437	1.6%	14	3,146	9	682	8	21,935	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	82,227,819	8.7%	4	8,376	4	1,044	5	78,762	5
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	61,277,370	6.5%	7	3,094	10	633	11	96,805	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	967,338	0.1%	18	58	20	24	20	40,306	13
X VI. 周産期に発生した病態 ※	414,152	0.0%	20	12	21	9	21	46,017	10
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	650,518	0.1%	19	126	19	32	19	20,329	18
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	23,386,140	2.5%	13	3,055	11	662	10	35,326	16
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	31,962,235	3.4%	10	1,418	14	410	13	77,957	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,393,558	0.4%	16	1,005	16	176	17	19,282	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	327,889	0.0%	21	221	18	46	18	7,128	21
合計	942,003,580			35,904		2,246		419,414	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

西余丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	粟沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【北村地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	7,964,952	2.5%	12	1,292	9	336	6	23,705	15
II. 新生物<腫瘍>	61,443,835	19.5%	1	915	11	289	9	212,608	1
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	3,745,053	1.2%	15	460	15	127	14	29,489	14
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	26,271,641	8.3%	4	4,267	2	525	2	50,041	11
V. 精神及び行動の障害	10,976,326	3.5%	9	787	13	87	16	126,165	2
VI. 神経系の疾患	9,948,695	3.2%	11	1,353	7	174	13	57,176	9
VII. 眼及び付属器の疾患	10,080,117	3.2%	10	1,496	6	335	7	30,090	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,165,941	0.7%	16	424	16	109	15	19,871	16
IX. 循環器系の疾患	43,736,665	13.9%	3	4,306	1	444	4	98,506	4
X. 呼吸器系の疾患	20,861,523	6.6%	6	3,156	4	584	1	35,722	12
X I. 消化器系の疾患 ※	24,992,434	7.9%	5	3,517	3	493	3	50,695	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,038,542	1.9%	13	1,350	8	330	8	18,299	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	44,777,212	14.2%	2	2,803	5	422	5	106,107	3
X IV. 泌尿路生殖系系の疾患	14,658,265	4.7%	8	870	12	235	11	62,376	8
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	905,807	0.3%	17	30	20	10	20	90,581	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	346,974	0.1%	18	9	21	5	21	69,395	7
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	57,950	0.0%	21	35	19	12	19	4,829	21
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,750,654	1.5%	14	934	10	273	10	17,402	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	20,715,807	6.6%	7	701	14	233	12	88,909	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	277,240	0.1%	19	331	17	54	17	5,134	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	174,087	0.1%	20	155	18	29	18	6,003	19
合計	314,889,720			13,441		1,042		302,197	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	粟沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえで、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【岡山、かえで、栄町、東町、若駒地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	15,739,260	2.9%	12	1,748	12	425	10	37,034	14
II. 新生物<腫瘍>	88,193,604	16.3%	1	1,779	11	435	8	202,744	1
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	6,779,570	1.3%	15	675	15	172	15	39,416	13
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	53,361,230	9.8%	3	7,389	2	783	1	68,150	8
V. 精神及び行動の障害	48,851,863	9.0%	5	2,644	7	263	14	185,749	2
VI. 神経系の疾患	24,688,564	4.6%	9	4,288	6	407	11	60,660	9
VII. 眼及び付属器の疾患	17,277,142	3.2%	11	2,167	9	429	9	40,273	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,352,285	0.4%	16	459	17	135	16	17,424	18
IX. 循環器系の疾患	74,831,410	13.8%	2	7,701	1	715	4	104,659	5
X. 呼吸器系の疾患	35,196,523	6.5%	7	4,474	5	766	3	45,948	11
X I. 消化器系の疾患 ※	44,130,616	8.1%	6	6,953	3	767	2	57,537	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	11,302,211	2.1%	13	2,239	8	466	6	24,254	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	49,845,734	9.2%	4	4,780	4	620	5	80,396	6
X IV. 泌尿生殖器系の疾患	34,737,371	6.4%	8	1,435	13	318	12	109,237	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	740,633	0.1%	18	21	20	4	20	185,158	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	10,492	0.0%	21	4	21	2	21	5,246	21
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	709,992	0.1%	19	56	19	24	18	29,583	15
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,850,746	2.0%	14	1,947	10	445	7	24,384	16
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	21,409,950	4.0%	10	917	14	270	13	79,296	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	757,437	0.1%	17	609	16	100	17	7,574	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	216,017	0.0%	20	147	18	23	19	9,392	19
合計	541,982,650			21,739		1,355		399,987	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	粟沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【大願、日の出、宝水、峰延、稔町地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	15,561,152	2.8%	12	2,173	10	517	6	30,099	16
II. 新生物<腫瘍>	99,358,782	18.0%	1	1,879	12	512	7	194,060	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	2,033,969	0.4%	19	637	15	176	15	11,557	21
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	55,530,224	10.0%	3	7,975	2	893	1	62,184	9
V. 精神及び行動の障害	43,737,396	7.9%	6	2,240	9	232	14	188,523	3
VI. 神経系の疾患	19,128,395	3.5%	10	3,784	6	385	11	49,684	12
VII. 眼及び付属器の疾患	18,248,616	3.3%	11	2,616	7	500	8	36,497	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	3,100,440	0.6%	15	611	17	170	16	18,238	19
IX. 循環器系の疾患	77,815,495	14.1%	2	8,191	1	776	4	100,278	5
X. 呼吸器系の疾患	33,748,417	6.1%	7	4,581	5	865	2	39,016	13
X I. 消化器系の疾患 ※	51,436,649	9.3%	5	7,104	3	857	3	60,019	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	8,494,761	1.5%	14	2,254	8	498	9	17,058	20
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	52,020,398	9.4%	4	5,747	4	724	5	71,851	8
X IV. 泌尿路生殖系系の疾患	28,786,210	5.2%	8	1,548	13	366	12	78,651	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	2,917,628	0.5%	16	40	20	17	20	171,625	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	2,382,347	0.4%	17	6	21	4	21	595,587	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	1,351,991	0.2%	20	71	19	27	19	50,074	11
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,802,569	2.0%	13	2,089	11	468	10	23,082	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	22,937,546	4.2%	9	1,133	14	299	13	76,714	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,314,321	0.4%	18	614	16	104	17	22,253	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	911,304	0.2%	21	200	18	30	18	30,377	15
合計	552,618,610			23,840		1,541		358,610	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

西余丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	粟沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【金子、志文、駒園、南町、並木、美園、ふじ地区】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	28,052,515	2.4%	13	3,550	11	888	7	31,591	16
II. 新生物<腫瘍>	151,859,381	12.7%	2	3,028	12	892	6	170,246	1
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	52,973,557	4.4%	10	1,397	16	390	15	135,830	3
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	115,513,401	9.7%	4	14,111	2	1,663	1	69,461	8
V. 精神及び行動の障害	71,312,950	6.0%	8	5,178	7	514	14	138,741	2
VI. 神経系の疾患	87,890,555	7.4%	6	7,785	6	824	10	106,663	6
VII. 眼及び付属器の疾患	36,256,564	3.0%	11	4,508	8	828	9	43,788	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	3,773,693	0.3%	16	814	17	247	16	15,278	19
IX. 循環器系の疾患	199,153,647	16.7%	1	15,351	1	1,565	4	127,255	4
X. 呼吸器系の疾患	67,720,326	5.7%	9	8,315	5	1,584	2	42,753	13
X I. 消化器系の疾患 ※	99,467,391	8.3%	5	13,143	3	1,566	3	63,517	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	19,549,776	1.6%	15	3,977	9	837	8	23,357	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	115,941,932	9.7%	3	9,938	4	1,330	5	87,174	7
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	80,053,253	6.7%	7	2,748	13	662	12	120,926	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	1,775,935	0.1%	18	64	20	29	20	61,239	11
X VI. 周産期に発生した病態 ※	292,798	0.0%	21	7	21	7	21	41,828	14
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	1,156,741	0.1%	19	79	19	35	19	33,050	15
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	23,920,810	2.0%	14	3,687	10	805	11	29,715	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	33,989,185	2.8%	12	1,970	14	523	13	64,989	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,256,070	0.2%	17	1,472	15	228	17	9,895	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	396,710	0.0%	20	310	18	57	18	6,960	21
合計	1,193,307,190			42,027		2,869		415,931	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	粟沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	3,222,657	1.7%	12	413	11	124	5	25,989	15
II. 新生物<腫瘍>	36,535,704	19.4%	2	290	13	100	11	365,357	2
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	590,257	0.3%	15	186	14	59	15	10,004	18
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	11,875,320	6.3%	6	1,099	2	164	3	72,410	7
V. 精神及び行動の障害	44,054,249	23.3%	1	769	6	89	13	494,992	1
VI. 神経系の疾患	18,948,420	10.0%	3	991	3	106	7	178,759	3
VII. 眼及び付属器の疾患	2,668,138	1.4%	13	323	12	103	9	25,904	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	159,381	0.1%	18	32	17	20	16	7,969	19
IX. 循環器系の疾患	14,438,304	7.7%	5	942	4	129	4	111,925	4
X. 呼吸器系の疾患	17,658,181	9.4%	4	784	5	204	1	86,560	6
X I. 消化器系の疾患 ※	10,159,979	5.4%	8	1,394	1	183	2	55,519	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	4,926,096	2.6%	10	539	8	101	10	48,773	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,767,353	2.5%	11	716	7	122	6	39,077	13
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	5,637,288	3.0%	9	433	10	105	8	53,688	10
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	489,634	0.3%	16	26	18	10	19	48,963	11
X VI. 周産期に発生した病態 ※	56,468	0.0%	19	2	21	1	21	56,468	8
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	37,237	0.0%	20	23	19	6	20	6,206	20
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,322,804	5.5%	7	477	9	99	12	104,271	5
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,905,877	1.0%	14	164	15	63	14	30,252	14
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	232,484	0.1%	17	59	16	17	17	13,676	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	34,249	0.0%	21	20	20	11	18	3,114	21
合計	188,720,080			3,989		373		505,952	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

(2) 中分類による疾病別医療費地区別統計

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	栗沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【西条丁目、北本町、桜木、元町、大和地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	80,141,825	7.0%	112
2	1402 腎不全	64,930,709	5.7%	84
3	0402 糖尿病	53,899,716	4.7%	993
4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	53,742,461	4.7%	375
5	0901 高血圧性疾患	47,677,126	4.2%	1,010
6	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	44,443,241	3.9%	145
7	1113 その他の消化器系の疾患	44,138,097	3.8%	957
8	0606 その他の神経系の疾患	39,214,566	3.4%	612
9	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	27,106,184	2.4%	159
10	0403 脂質異常症	26,449,209	2.3%	729

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

【東条丁目地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	70,907,988	10.5%	105
2	1402 腎不全	31,593,321	4.7%	43
3	0402 糖尿病	30,980,391	4.6%	630
4	1113 その他の消化器系の疾患	29,601,222	4.4%	591
5	0901 高血圧性疾患	28,978,615	4.3%	592
6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	26,279,099	3.9%	224
7	0606 その他の神経系の疾患	25,403,214	3.8%	407
8	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	20,659,409	3.1%	111
9	0403 脂質異常症	19,137,881	2.8%	488
10	0602 アルツハイマー病	17,047,562	2.5%	13

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	栗沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【栗沢地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	43,493,080	7.0%	208
2	0903 その他の心疾患	30,542,574	4.9%	291
3	0402 糖尿病	29,122,649	4.7%	577
4	1113 その他の消化器系の疾患	28,695,824	4.6%	554
5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	27,540,857	4.4%	54
6	0901 高血圧性疾患	27,457,270	4.4%	576
7	1402 腎不全	22,497,736	3.6%	45
8	0606 その他の神経系の疾患	19,121,230	3.1%	329
9	0403 脂質異常症	18,102,998	2.9%	463
10	0902 虚血性心疾患	17,282,311	2.8%	186

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

【北条丁目、有明、緑町、西川、若松地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	41,774,225	6.5%	268
2	0402 糖尿病	37,981,561	5.9%	773
3	0901 高血圧性疾患	36,146,443	5.6%	718
4	1402 腎不全	35,451,876	5.5%	53
5	1113 その他の消化器系の疾患	25,470,170	3.9%	674
6	0403 脂質異常症	21,977,137	3.4%	559
7	0902 虚血性心疾患	17,213,831	2.7%	206
8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	16,522,388	2.6%	407
9	0606 その他の神経系の疾患	15,830,700	2.4%	446
10	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	14,780,606	2.3%	83

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	栗沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【春日、鳩が丘、東山、緑が丘地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	28,533,356	5.7%	206
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	26,247,443	5.3%	53
3	0901 高血圧性疾患	24,987,361	5.0%	528
4	1402 腎不全	24,791,702	5.0%	38
5	0402 糖尿病	22,542,429	4.5%	567
6	1113 その他の消化器系の疾患	19,525,431	3.9%	488
7	0105 ウイルス性肝炎	18,275,593	3.7%	75
8	1011 その他の呼吸器系の疾患	18,265,269	3.7%	256
9	0403 脂質異常症	16,143,743	3.2%	467
10	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	15,701,179	3.1%	105

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

【お茶の水、幌向、中幌向、上幌向、双葉地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	72,838,342	7.7%	366
2	0402 糖尿病	53,490,278	5.7%	863
3	0901 高血圧性疾患	47,750,738	5.1%	919
4	1402 腎不全	42,482,896	4.5%	61
5	0903 その他の心疾患	40,250,310	4.3%	364
6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	37,113,533	3.9%	77
7	1113 その他の消化器系の疾患	35,487,009	3.8%	823
8	0403 脂質異常症	33,615,840	3.6%	819
9	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	23,386,140	2.5%	662
10	0606 その他の神経系の疾患	18,341,325	1.9%	507

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	栗沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえで、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【北村地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1301 炎症性多発性関節障害	17,826,730	5.7%	93
2	0901 高血圧性疾患	15,322,875	4.9%	332
3	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	15,079,113	4.8%	123
4	1113 その他の消化器系の疾患	13,385,716	4.3%	305
5	0402 糖尿病	12,325,271	3.9%	335
6	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	11,622,485	3.7%	17
7	0903 その他の心疾患	11,081,620	3.5%	130
8	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	10,615,249	3.4%	176
9	0209 白血病	10,241,025	3.3%	2
10	0403 脂質異常症	9,344,020	3.0%	272

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

【岡山、かえで、栄町、東町、若駒地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402 糖尿病	28,980,537	5.3%	553
2	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	28,505,823	5.3%	73
3	1113 その他の消化器系の疾患	26,647,660	4.9%	549
4	0901 高血圧性疾患	25,076,244	4.6%	547
5	1402 腎不全	21,301,377	3.9%	25
6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	20,609,290	3.8%	170
7	0403 脂質異常症	16,207,204	3.0%	443
8	0606 その他の神経系の疾患	12,196,792	2.3%	359
9	0903 その他の心疾患	11,769,927	2.2%	241
10	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	11,723,801	2.2%	118

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	栗沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえで、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【大願、日の出、宝水、峰延、稔町地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402 糖尿病	28,697,947	5.2%	645
2	0901 高血圧性疾患	28,678,925	5.2%	607
3	1113 その他の消化器系の疾患	27,016,177	4.9%	602
4	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	24,762,349	4.5%	62
5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	22,572,454	4.1%	228
6	0403 脂質異常症	18,094,080	3.3%	492
7	1402 腎不全	15,163,960	2.7%	36
8	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	15,021,480	2.7%	118
9	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	13,675,721	2.5%	98
10	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	13,360,033	2.4%	245

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

【金子、志文、駒園、南町、並木、美園、ふじ地区】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901 高血圧性疾患	59,505,073	5.0%	1,249
2	0402 糖尿病	56,985,192	4.8%	1,202
3	1402 腎不全	55,309,570	4.6%	80
4	1113 その他の消化器系の疾患	53,343,114	4.5%	1,085
5	0606 その他の神経系の疾患	48,300,727	4.0%	718
6	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	45,978,711	3.9%	367
7	0903 その他の心疾患	39,075,164	3.3%	459
8	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	37,123,079	3.1%	224
9	1302 関節症	36,080,246	3.0%	349
10	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	35,787,461	3.0%	123

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	栗沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	27,505,262	14.6%	19
2	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	26,779,161	14.2%	34
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,322,804	5.5%	99
4	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	8,946,136	4.7%	42
5	1011 その他の呼吸器系の疾患	7,936,155	4.2%	84
6	1113 その他の消化器系の疾患	6,656,079	3.5%	131
7	0606 その他の神経系の疾患	6,435,530	3.4%	84
8	0903 その他の心疾患	5,900,605	3.1%	49
9	0601 パーキンソン病	5,526,541	2.9%	15
10	0402 糖尿病	5,382,381	2.9%	107

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合
集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

西条丁目、北本町、桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	栗沢地区	北条丁目、有明、緑町、西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、並木、美園、ふじ地区	その他	

【西条丁目、北本町、桜木、元町、大和地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	47,677,126	1,010	41.4%
2	0402 糖尿病	53,899,716	993	40.7%
3	1113 その他の消化器系の疾患	44,138,097	957	39.2%
4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	20,314,935	783	32.1%
5	1006 アレルギー性鼻炎	11,909,220	734	30.1%
6	0403 脂質異常症	26,449,209	729	29.9%
7	0606 その他の神経系の疾患	39,214,566	612	25.1%
8	1202 皮膚炎及び湿疹	13,581,351	598	24.5%
9	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	3,851,222	594	24.4%
10	1105 胃炎及び十二指腸炎	8,578,855	576	23.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【東条丁目地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0402 糖尿病	30,980,391	630	39.6%
2	0901 高血圧性疾患	28,978,615	592	37.3%
3	1113 その他の消化器系の疾患	29,601,222	591	37.2%
4	1006 アレルギー性鼻炎	7,361,877	508	32.0%
5	0403 脂質異常症	19,137,881	488	30.7%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	9,857,697	471	29.6%
7	0606 その他の神経系の疾患	25,403,214	407	25.6%
8	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,540,073	402	25.3%
9	1105 胃炎及び十二指腸炎	5,941,472	398	25.0%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	9,643,176	377	23.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	栗沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【栗沢地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	29,122,649	577	36.1%
2	0901 高血圧性疾患	27,457,270	576	36.0%
3	1113 その他の消化器系の疾患	28,695,824	554	34.6%
4	1006 アレルギー性鼻炎	8,571,296	506	31.6%
5	0403 脂質異常症	18,102,998	463	29.0%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,910,157	462	28.9%
7	1105 胃炎及び十二指腸炎	5,031,970	384	24.0%
8	0703 屈折及び調節の障害	1,495,763	371	23.2%
9	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,252,132	366	22.9%
10	1003 その他の急性上気道感染症	1,590,452	339	21.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【北条丁目、有明、緑町、西川、若松地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	37,981,561	773	45.3%
2	0901 高血圧性疾患	36,146,443	718	42.1%
3	1113 その他の消化器系の疾患	25,470,170	674	39.5%
4	0403 脂質異常症	21,977,137	559	32.8%
5	1006 アレルギー性鼻炎	8,289,404	510	29.9%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11,133,168	486	28.5%
7	0606 その他の神経系の疾患	15,830,700	446	26.1%
8	1003 その他の急性上気道感染症	2,194,335	435	25.5%
9	1105 胃炎及び十二指腸炎	4,696,277	410	24.0%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	16,522,388	407	23.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	栗沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【春日、鳩が丘、東山、緑が丘地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	22,542,429	567	44.6%
2	0901 高血圧性疾患	24,987,361	528	41.6%
3	1113 その他の消化器系の疾患	19,525,431	488	38.4%
4	0403 脂質異常症	16,143,743	467	36.8%
5	1006 アレルギー性鼻炎	7,845,109	421	33.1%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,971,500	387	30.5%
7	1105 胃炎及び十二指腸炎	3,478,461	329	25.9%
8	0606 その他の神経系の疾患	11,119,385	326	25.7%
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	8,947,852	320	25.2%
9	0703 屈折及び調節の障害	1,182,511	320	25.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【お茶の水、幌向、中幌向、上幌向、双葉地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	47,750,738	919	40.9%
2	0402 糖尿病	53,490,278	863	38.4%
3	1113 その他の消化器系の疾患	35,487,009	823	36.6%
4	0403 脂質異常症	33,615,840	819	36.5%
5	1105 胃炎及び十二指腸炎	7,469,542	711	31.7%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	23,386,140	662	29.5%
7	1006 アレルギー性鼻炎	10,500,504	621	27.6%
8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	16,776,308	532	23.7%
9	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	3,272,708	529	23.6%
9	0703 屈折及び調節の障害	2,152,228	529	23.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	栗沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえで、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【北村地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	12,325,271	335	32.1%
2	1006 アレルギー性鼻炎	5,777,864	333	32.0%
3	0901 高血圧性疾患	15,322,875	332	31.9%
4	1113 その他の消化器系の疾患	13,385,716	305	29.3%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,750,654	273	26.2%
6	0403 脂質異常症	9,344,020	272	26.1%
7	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,835,082	259	24.9%
8	1003 その他の急性上気道感染症	1,405,772	235	22.6%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	3,871,389	233	22.4%
10	1011 その他の呼吸器系の疾患	2,304,594	225	21.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【岡山、かえで、栄町、東町、若駒地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	28,980,537	553	40.8%
2	1113 その他の消化器系の疾患	26,647,660	549	40.5%
3	0901 高血圧性疾患	25,076,244	547	40.4%
4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,850,746	445	32.8%
5	0403 脂質異常症	16,207,204	443	32.7%
6	1006 アレルギー性鼻炎	7,314,489	412	30.4%
7	0606 その他の神経系の疾患	12,196,792	359	26.5%
8	1003 その他の急性上気道感染症	2,198,756	340	25.1%
9	1105 胃炎及び十二指腸炎	4,276,791	337	24.9%
10	1202 皮膚炎及び湿疹	5,523,471	335	24.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	栗沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【大願、日の出、宝水、峰延、稔町地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402 糖尿病	28,697,947	645	41.9%
2	0901 高血圧性疾患	28,678,925	607	39.4%
3	1113 その他の消化器系の疾患	27,016,177	602	39.1%
4	1006 アレルギー性鼻炎	7,377,723	500	32.4%
5	0403 脂質異常症	18,094,080	492	31.9%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,802,569	468	30.4%
7	1003 その他の急性上気道感染症	2,114,854	412	26.7%
8	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,193,657	393	25.5%
9	1105 胃炎及び十二指腸炎	4,221,065	378	24.5%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	9,689,740	352	22.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【金子、志文、駒園、南町、並木、美園、ふじ地区】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	59,505,073	1,249	43.5%
2	0402 糖尿病	56,985,192	1,202	41.9%
3	1113 その他の消化器系の疾患	53,343,114	1,085	37.8%
4	0403 脂質異常症	34,156,180	938	32.7%
5	1006 アレルギー性鼻炎	13,973,743	822	28.7%
6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	23,920,810	805	28.1%
7	0606 その他の神経系の疾患	48,300,727	718	25.0%
8	1105 胃炎及び十二指腸炎	9,177,237	701	24.4%
9	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	4,085,711	699	24.4%
10	1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	16,624,816	631	22.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

西条丁目、北本町、 桜木、元町、大和地区	東条丁目地区	栗沢地区	北条丁目、有明、緑町、 西川、若松地区	春日、鳩が丘、東山、 緑が丘地区	お茶の水、幌向、中幌向、 上幌向、双葉地区
北村地区	岡山、かえて、栄町、 東町、若駒地区	大願、日の出、宝水、 峰延、稔町地区	金子、志文、駒園、南町、 並木、美園、ふじ地区	その他	

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1113 その他の消化器系の疾患	6,656,079	131	35.1%
2	0402 糖尿病	5,382,381	107	28.7%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,322,804	99	26.5%
4	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,384,447	96	25.7%
5	1003 その他の急性上気道感染症	436,022	91	24.4%
6	1006 アレルギー性鼻炎	873,114	89	23.9%
7	1011 その他の呼吸器系の疾患	7,936,155	84	22.5%
7	0606 その他の神経系の疾患	6,435,530	84	22.5%
7	0901 高血圧性疾患	4,853,054	84	22.5%
10	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	737,523	80	21.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12か月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

2. 年度別 特定健康診査結果分析

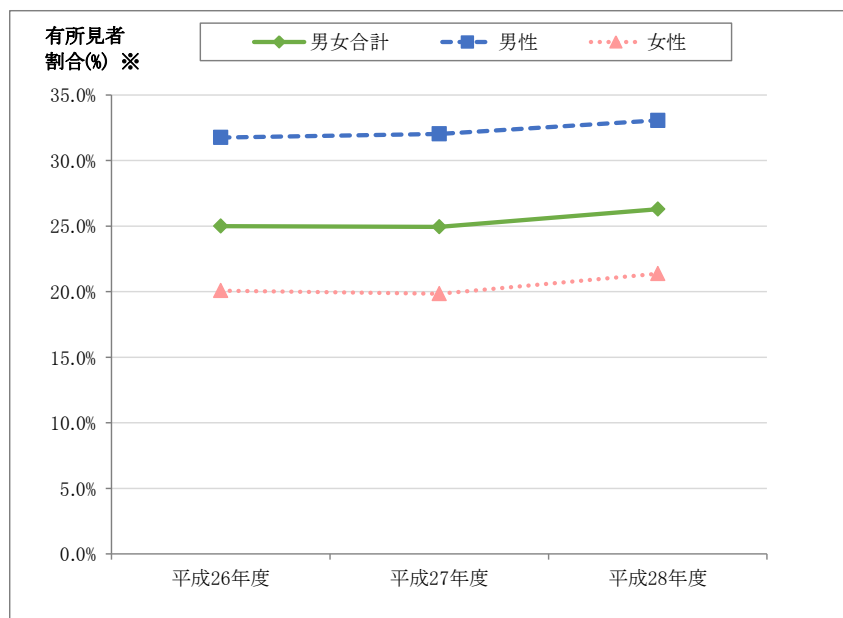
(1) 有所見者割合

平成26年度から平成28年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示す。

年度別 有所見者割合(BMI)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,217	3,509	3,504
	有所見者数(人) ※	804	875	921
	有所見者割合(%) ※	25.0%	24.9%	26.3%
男性	対象者数(人) ※	1,354	1,467	1,473
	有所見者数(人) ※	430	470	487
	有所見者割合(%) ※	31.8%	32.0%	33.1%
女性	対象者数(人) ※	1,863	2,042	2,031
	有所見者数(人) ※	374	405	434
	有所見者割合(%) ※	20.1%	19.8%	21.4%

年度別 有所見者割合(BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

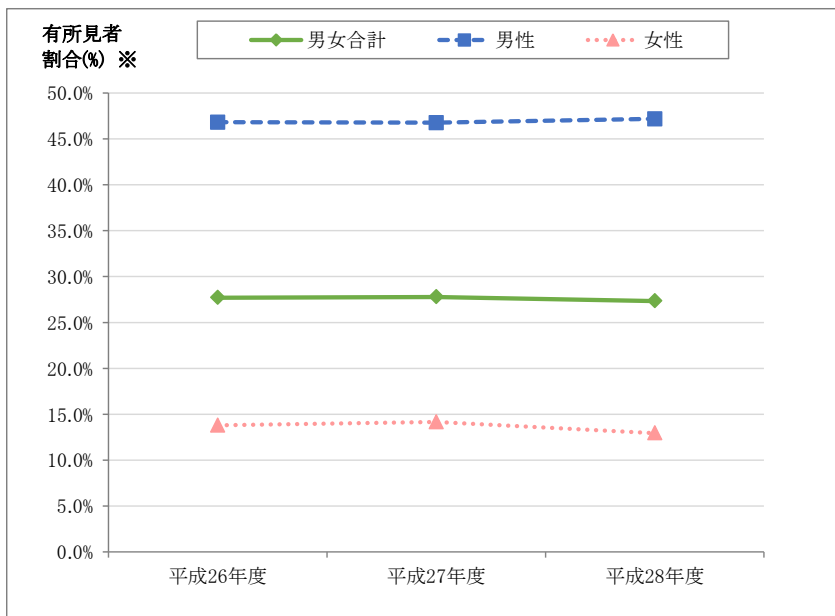
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,217	3,509	3,504
	有所見者数(人) ※	891	975	958
	有所見者割合(%) ※	27.7%	27.8%	27.3%
男性	対象者数(人) ※	1,354	1,467	1,473
	有所見者数(人) ※	634	686	695
	有所見者割合(%) ※	46.8%	46.8%	47.2%
女性	対象者数(人) ※	1,863	2,042	2,031
	有所見者数(人) ※	257	289	263
	有所見者割合(%) ※	13.8%	14.2%	12.9%

年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

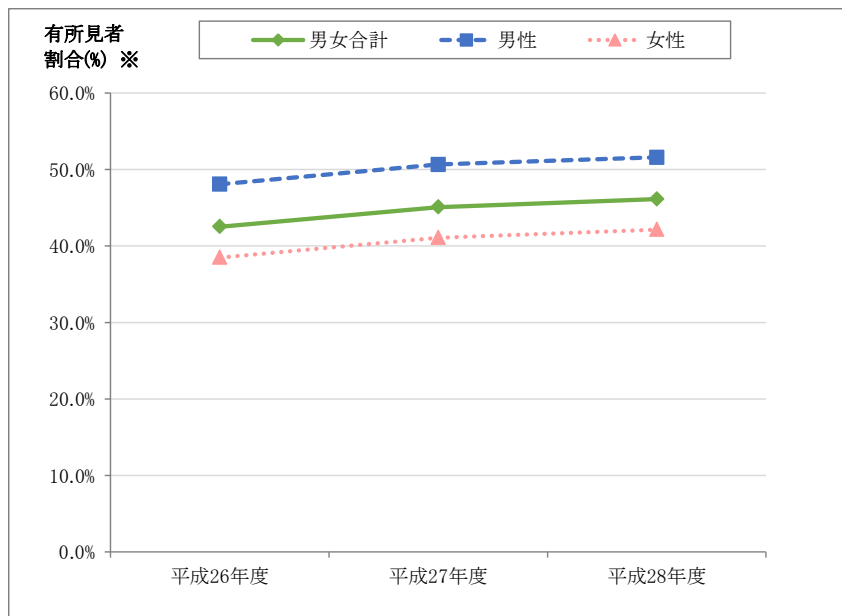
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,217	3,509	3,504
	有所見者数(人) ※	1,368	1,582	1,616
	有所見者割合(%) ※	42.5%	45.1%	46.1%
男性	対象者数(人) ※	1,354	1,467	1,473
	有所見者数(人) ※	651	743	760
	有所見者割合(%) ※	48.1%	50.6%	51.6%
女性	対象者数(人) ※	1,863	2,042	2,031
	有所見者数(人) ※	717	839	856
	有所見者割合(%) ※	38.5%	41.1%	42.1%

年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

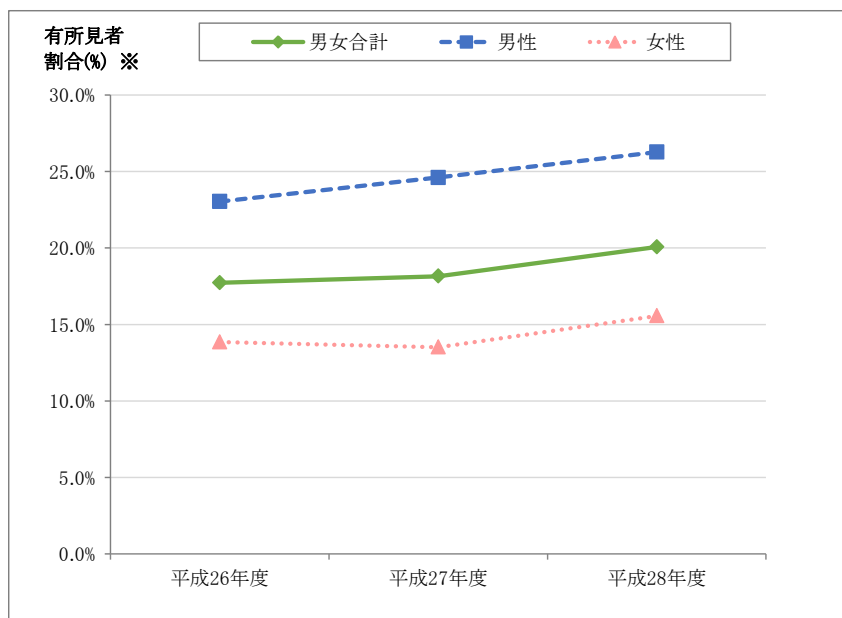
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,217	3,509	3,504
	有所見者数(人) ※	570	637	703
	有所見者割合(%) ※	17.7%	18.2%	20.1%
男性	対象者数(人) ※	1,354	1,467	1,473
	有所見者数(人) ※	312	361	387
	有所見者割合(%) ※	23.0%	24.6%	26.3%
女性	対象者数(人) ※	1,863	2,042	2,031
	有所見者数(人) ※	258	276	316
	有所見者割合(%) ※	13.8%	13.5%	15.6%

年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

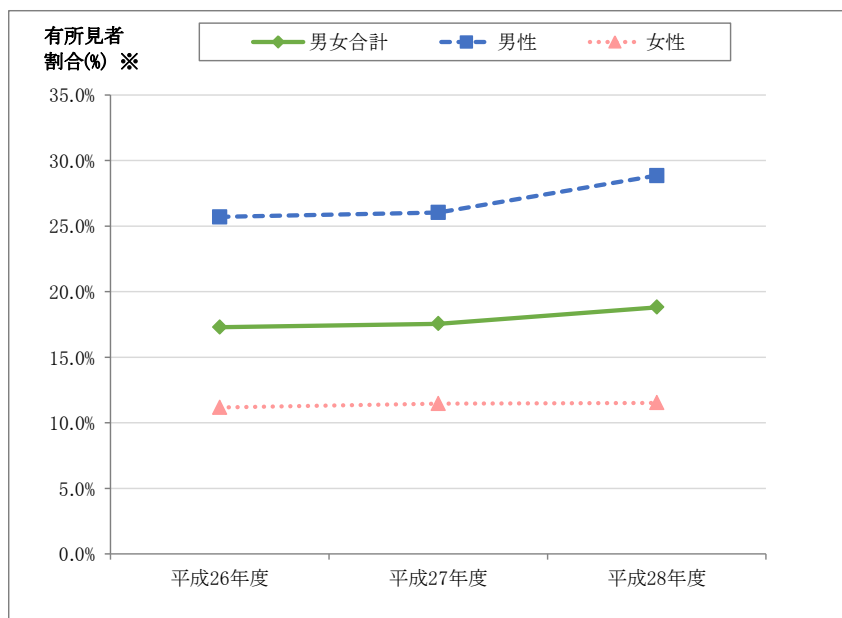
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,217	3,509	3,504
	有所見者数(人) ※	556	616	659
	有所見者割合(%) ※	17.3%	17.6%	18.8%
男性	対象者数(人) ※	1,354	1,467	1,473
	有所見者数(人) ※	348	382	425
	有所見者割合(%) ※	25.7%	26.0%	28.9%
女性	対象者数(人) ※	1,863	2,042	2,031
	有所見者数(人) ※	208	234	234
	有所見者割合(%) ※	11.2%	11.5%	11.5%

年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

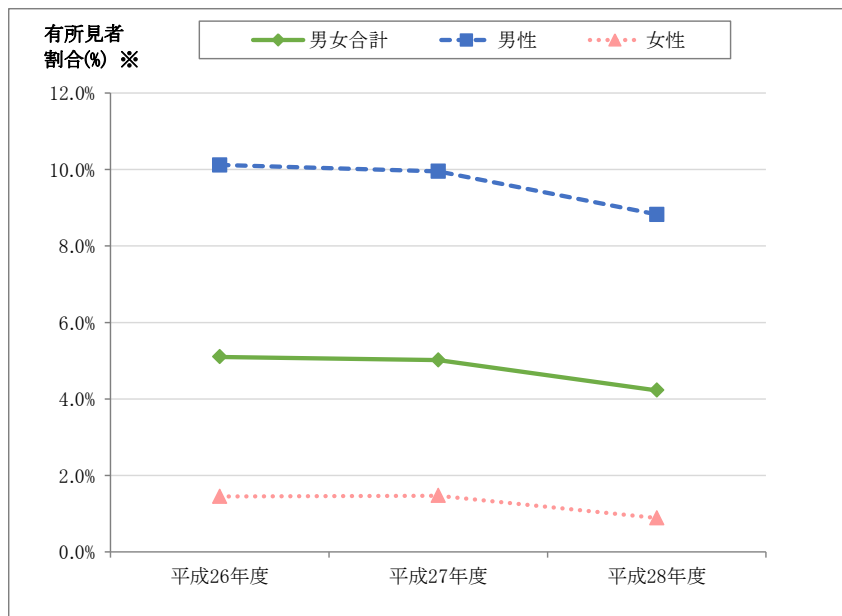
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,217	3,509	3,504
	有所見者数(人) ※	164	176	148
	有所見者割合(%) ※	5.1%	5.0%	4.2%
男性	対象者数(人) ※	1,354	1,467	1,473
	有所見者数(人) ※	137	146	130
	有所見者割合(%) ※	10.1%	10.0%	8.8%
女性	対象者数(人) ※	1,863	2,042	2,031
	有所見者数(人) ※	27	30	18
	有所見者割合(%) ※	1.4%	1.5%	0.9%

年度別 有所見者割合(HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

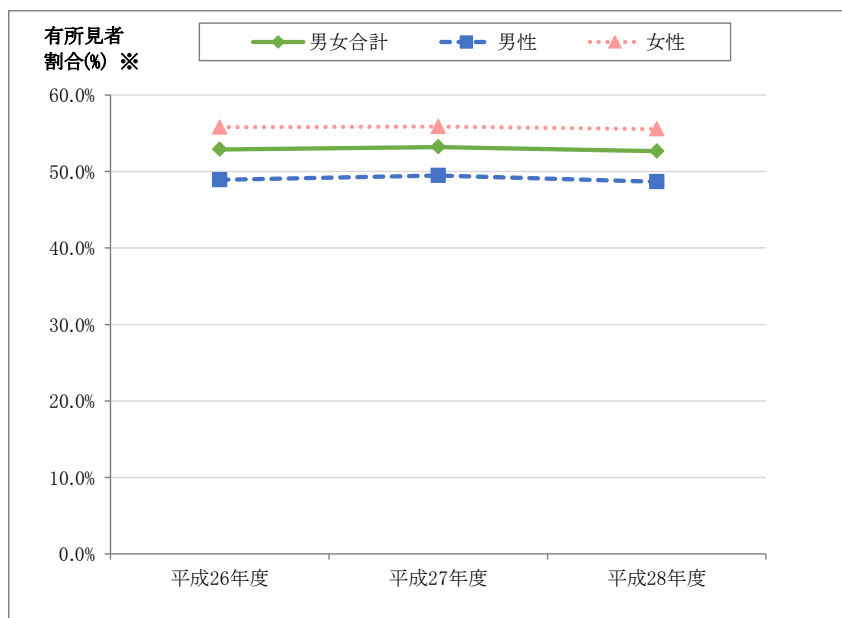
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,216	3,509	3,504
	有所見者数(人) ※	1,701	1,867	1,845
	有所見者割合(%) ※	52.9%	53.2%	52.7%
男性	対象者数(人) ※	1,353	1,467	1,473
	有所見者数(人) ※	662	726	717
	有所見者割合(%) ※	48.9%	49.5%	48.7%
女性	対象者数(人) ※	1,863	2,042	2,031
	有所見者数(人) ※	1,039	1,141	1,128
	有所見者割合(%) ※	55.8%	55.9%	55.5%

年度別 有所見者割合(LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

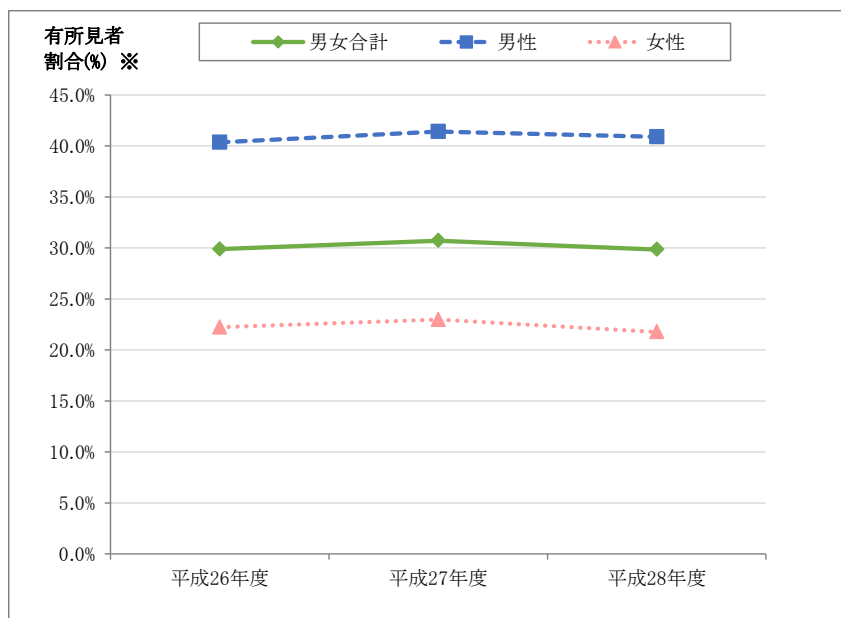
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,185	3,448	3,441
	有所見者数(人) ※	952	1,059	1,027
	有所見者割合(%) ※	29.9%	30.7%	29.8%
男性	対象者数(人) ※	1,345	1,446	1,452
	有所見者数(人) ※	543	599	594
	有所見者割合(%) ※	40.4%	41.4%	40.9%
女性	対象者数(人) ※	1,840	2,002	1,989
	有所見者数(人) ※	409	460	433
	有所見者割合(%) ※	22.2%	23.0%	21.8%

年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

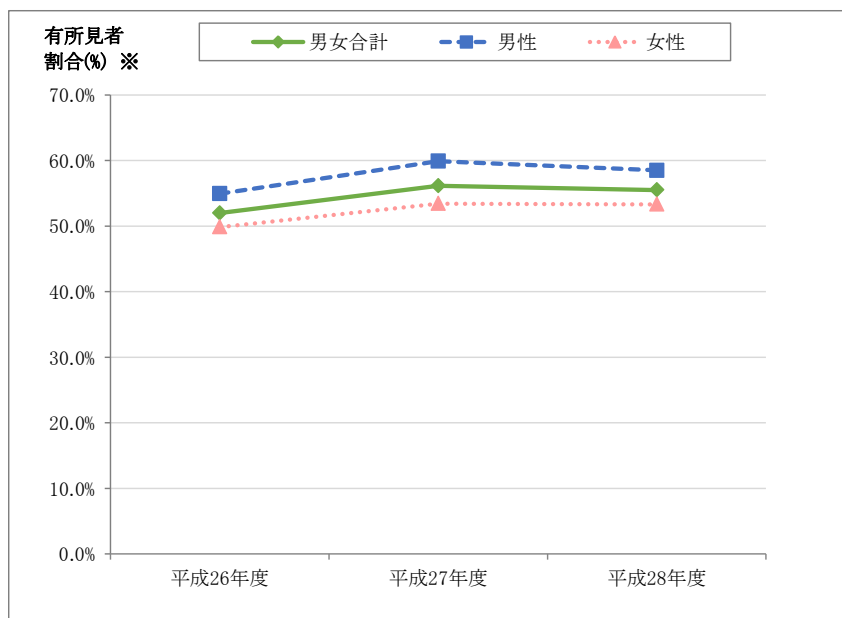
※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

空腹時血糖値:100mg/dl以上

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	対象者数(人) ※	3,200	3,509	3,504
	有所見者数(人) ※	1,664	1,970	1,945
	有所見者割合(%) ※	52.0%	56.1%	55.5%
男性	対象者数(人) ※	1,341	1,467	1,473
	有所見者数(人) ※	737	879	862
	有所見者割合(%) ※	55.0%	59.9%	58.5%
女性	対象者数(人) ※	1,859	2,042	2,031
	有所見者数(人) ※	927	1,091	1,083
	有所見者割合(%) ※	49.9%	53.4%	53.3%

年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。
資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。
保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c:5.6%以上

(2) 質問別回答状況

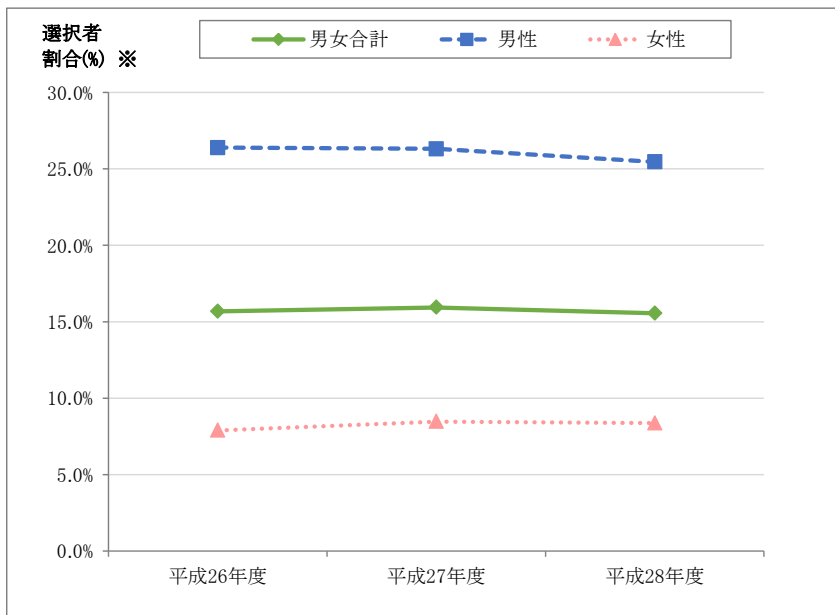
平成26年度から平成28年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示す。

① 喫煙習慣

年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	3,215	3,509	3,504
	選択者数(人) ※	504	559	545
	選択者割合(%) ※	15.7%	15.9%	15.6%
男性	質問回答者数(人) ※	1,353	1,467	1,473
	選択者数(人) ※	357	386	375
	選択者割合(%) ※	26.4%	26.3%	25.5%
女性	質問回答者数(人) ※	1,862	2,042	2,031
	選択者数(人) ※	147	173	170
	選択者割合(%) ※	7.9%	8.5%	8.4%

年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

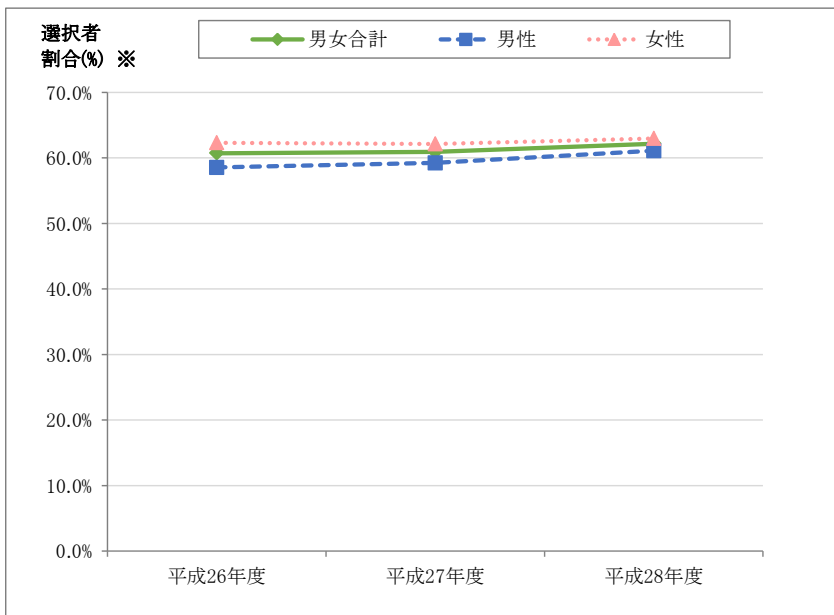
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

②運動習慣

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	3,208	3,503	3,501
	選択者数(人) ※	1,948	2,134	2,177
	選択者割合(%) ※	60.7%	60.9%	62.2%
男性	質問回答者数(人) ※	1,351	1,465	1,473
	選択者数(人) ※	791	868	900
	選択者割合(%) ※	58.5%	59.2%	61.1%
女性	質問回答者数(人) ※	1,857	2,038	2,028
	選択者数(人) ※	1,157	1,266	1,277
	選択者割合(%) ※	62.3%	62.1%	63.0%

年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

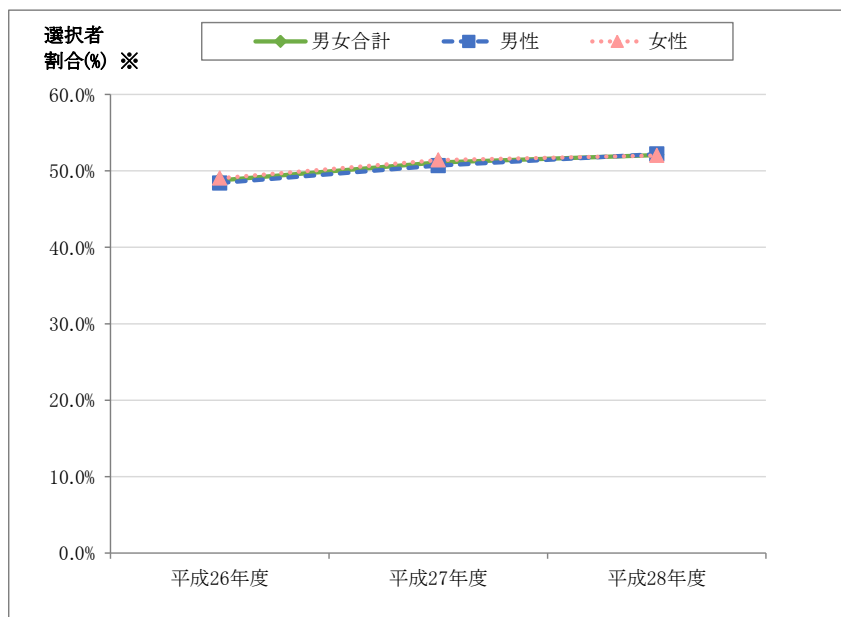
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	3,209	3,503	3,504
	選択者数(人) ※	1,565	1,790	1,825
	選択者割合(%) ※	48.8%	51.1%	52.1%
男性	質問回答者数(人) ※	1,351	1,466	1,473
	選択者数(人) ※	654	743	769
	選択者割合(%) ※	48.4%	50.7%	52.2%
女性	質問回答者数(人) ※	1,858	2,037	2,031
	選択者数(人) ※	911	1,047	1,056
	選択者割合(%) ※	49.0%	51.4%	52.0%

年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

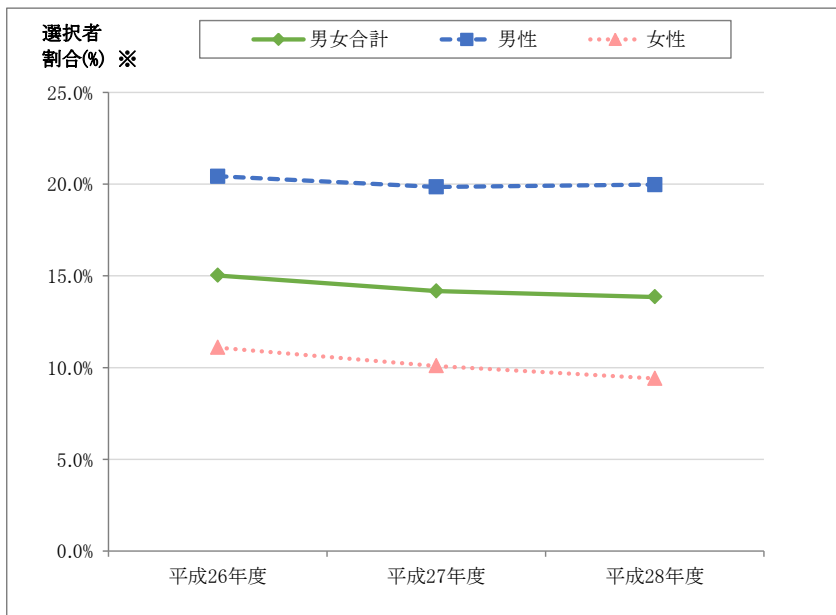
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

③食習慣

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	3,208	3,507	3,502
	選択者数(人) ※	482	497	485
	選択者割合(%) ※	15.0%	14.2%	13.8%
男性	質問回答者数(人) ※	1,351	1,466	1,472
	選択者数(人) ※	276	291	294
	選択者割合(%) ※	20.4%	19.8%	20.0%
女性	質問回答者数(人) ※	1,857	2,041	2,030
	選択者数(人) ※	206	206	191
	選択者割合(%) ※	11.1%	10.1%	9.4%

年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

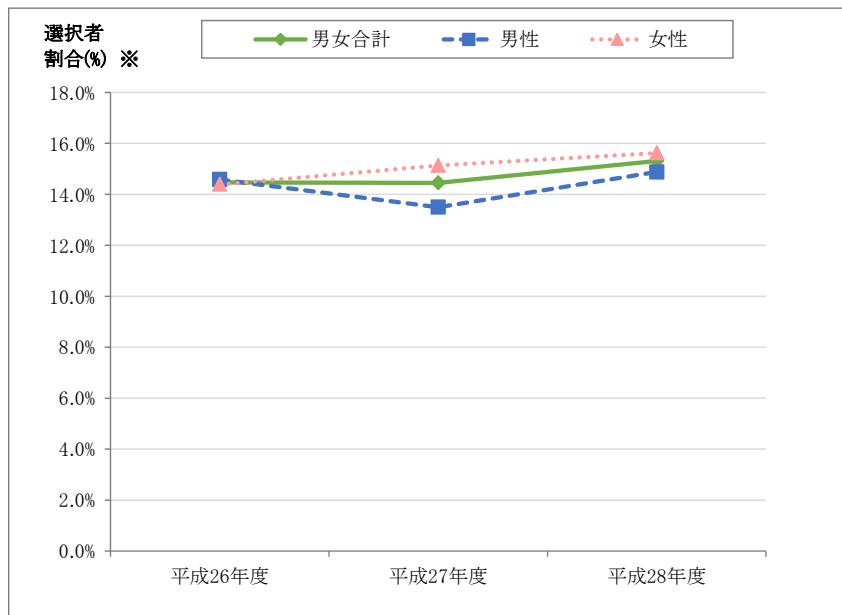
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	3,207	3,509	3,501
	選択者数(人) ※	464	507	536
	選択者割合(%) ※	14.5%	14.4%	15.3%
男性	質問回答者数(人) ※	1,351	1,467	1,472
	選択者数(人) ※	197	198	219
	選択者割合(%) ※	14.6%	13.5%	14.9%
女性	質問回答者数(人) ※	1,856	2,042	2,029
	選択者数(人) ※	267	309	317
	選択者割合(%) ※	14.4%	15.1%	15.6%

年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

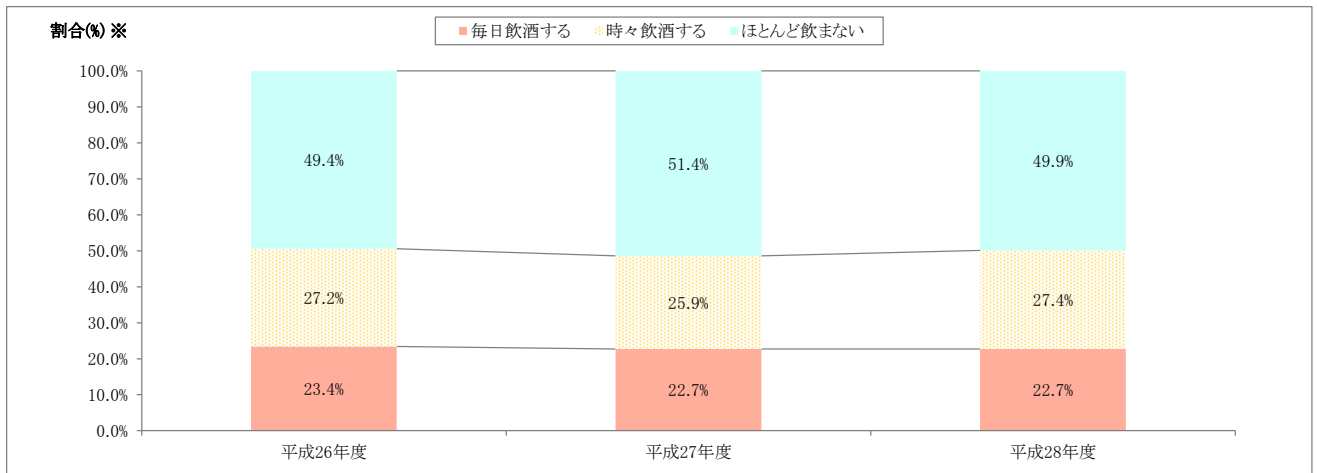
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

④ 飲酒習慣

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,208	751	23.4%	871	27.2%	1,586	49.4%
平成27年度	3,506	795	22.7%	909	25.9%	1,802	51.4%
平成28年度	3,500	796	22.7%	958	27.4%	1,746	49.9%

年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

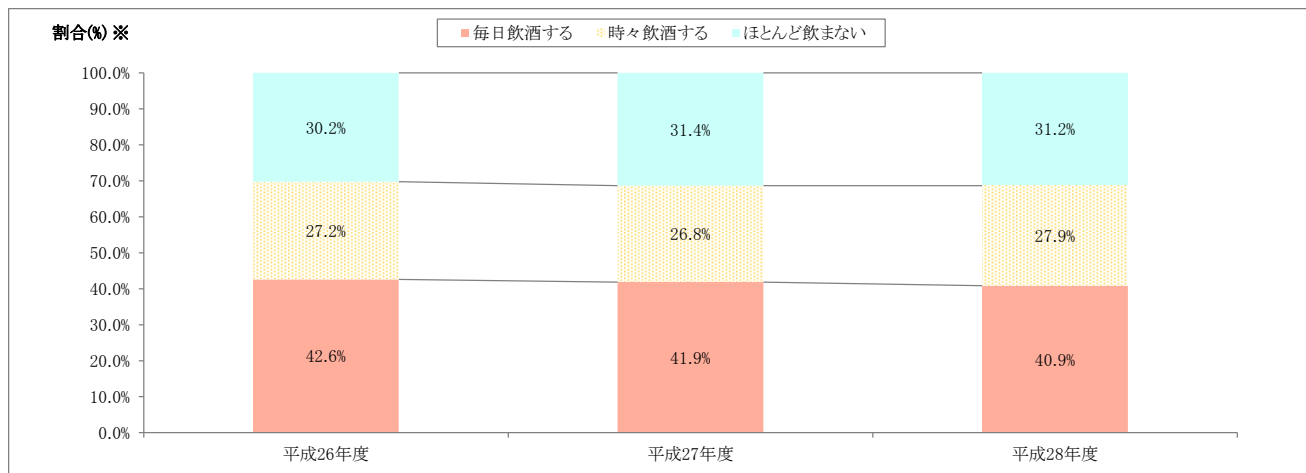
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,350	575	42.6%	367	27.2%	408	30.2%
平成27年度	1,467	614	41.9%	393	26.8%	460	31.4%
平成28年度	1,471	601	40.9%	411	27.9%	459	31.2%

年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

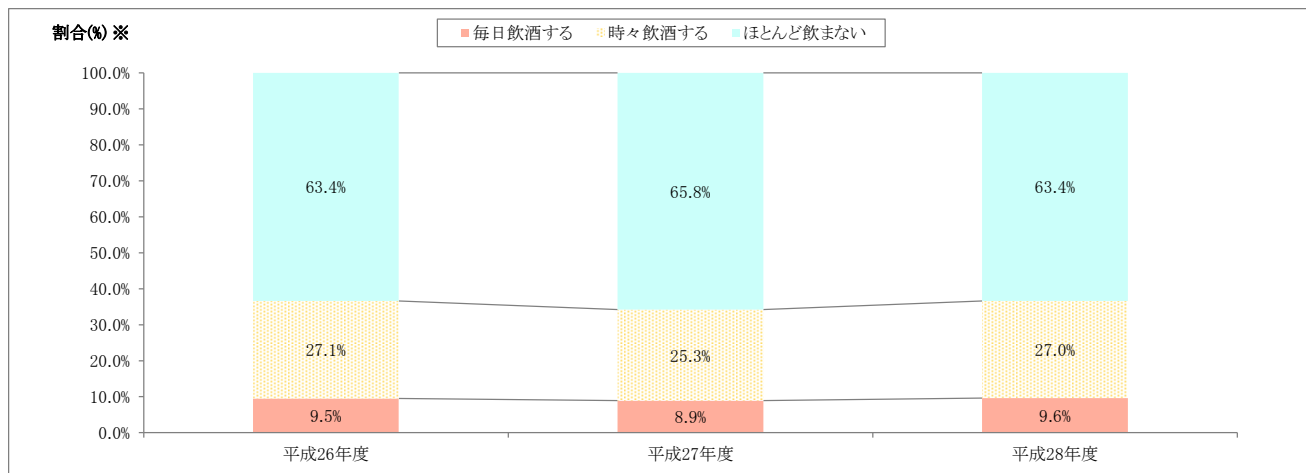
※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,858	176	9.5%	504	27.1%	1,178	63.4%
平成27年度	2,039	181	8.9%	516	25.3%	1,342	65.8%
平成28年度	2,029	195	9.6%	547	27.0%	1,287	63.4%

年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(焼酎・清酒・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

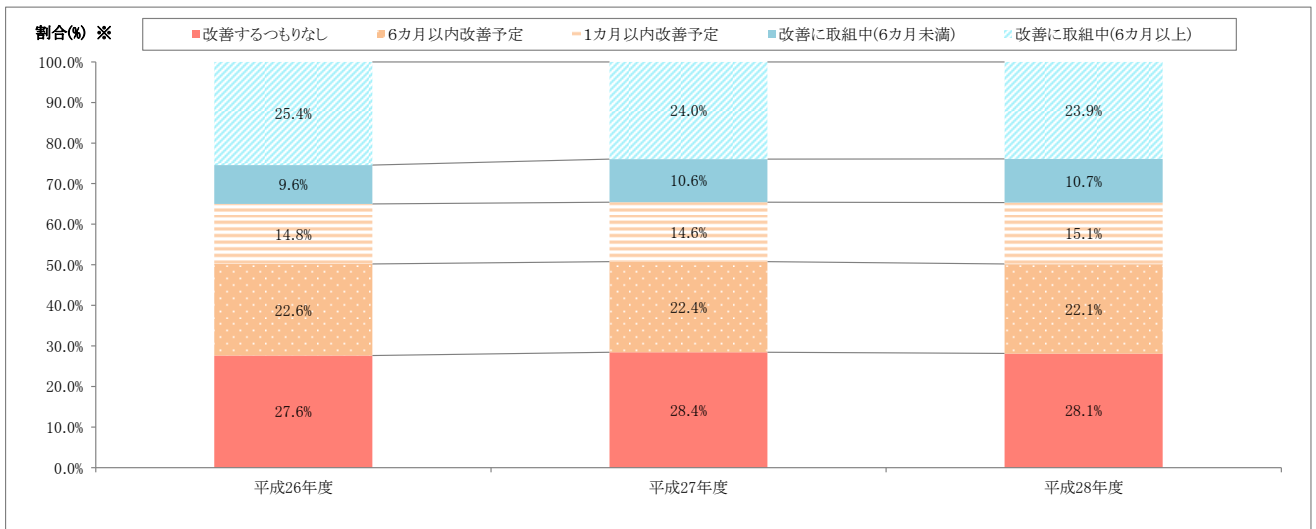
⑤生活習慣

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,208	887	27.6%	724	22.6%	474	14.8%
平成27年度	3,497	994	28.4%	782	22.4%	512	14.6%
平成28年度	3,499	984	28.1%	772	22.1%	530	15.1%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	3,208	307	9.6%	816	25.4%
平成27年度	3,497	371	10.6%	838	24.0%
平成28年度	3,499	376	10.7%	837	23.9%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

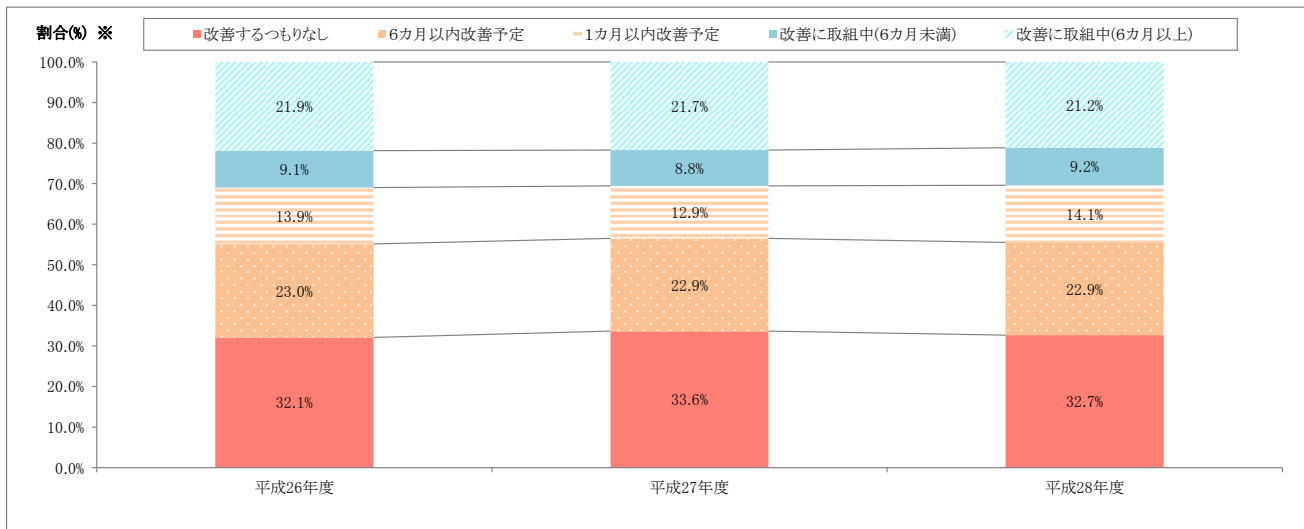
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,350	433	32.1%	311	23.0%	188	13.9%
平成27年度	1,463	492	33.6%	335	22.9%	189	12.9%
平成28年度	1,473	481	32.7%	337	22.9%	207	14.1%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,350	123	9.1%	295	21.9%
平成27年度	1,463	129	8.8%	318	21.7%
平成28年度	1,473	136	9.2%	312	21.2%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

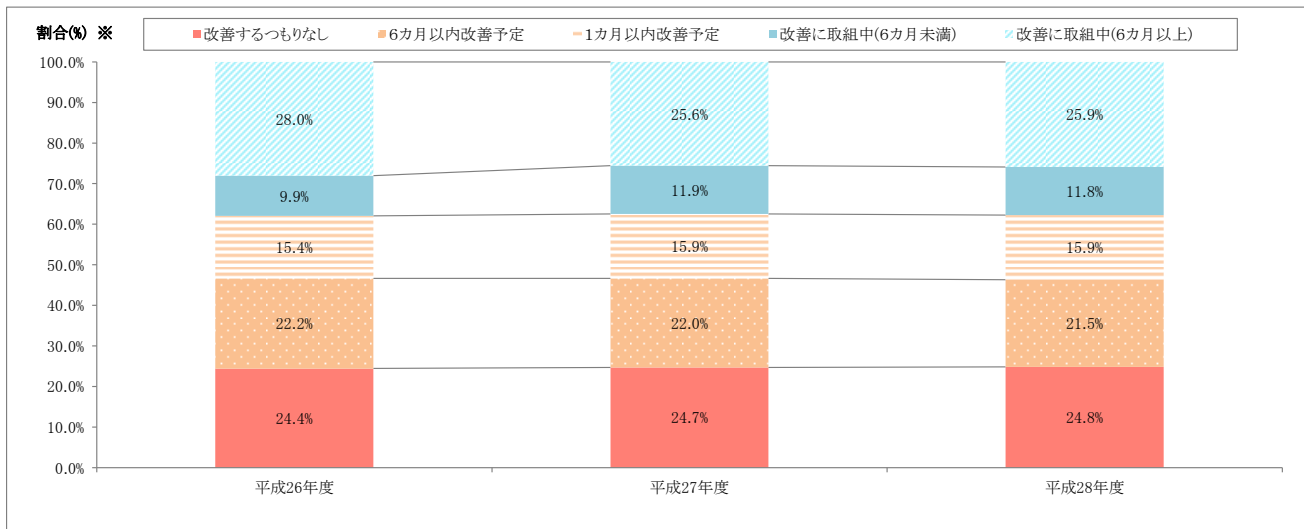
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,858	454	24.4%	413	22.2%	286	15.4%
平成27年度	2,034	502	24.7%	447	22.0%	323	15.9%
平成28年度	2,026	503	24.8%	435	21.5%	323	15.9%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成26年度	1,858	184	9.9%	521	28.0%
平成27年度	2,034	242	11.9%	520	25.6%
平成28年度	2,026	240	11.8%	525	25.9%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成26年4月～平成29年3月健診分(36か月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

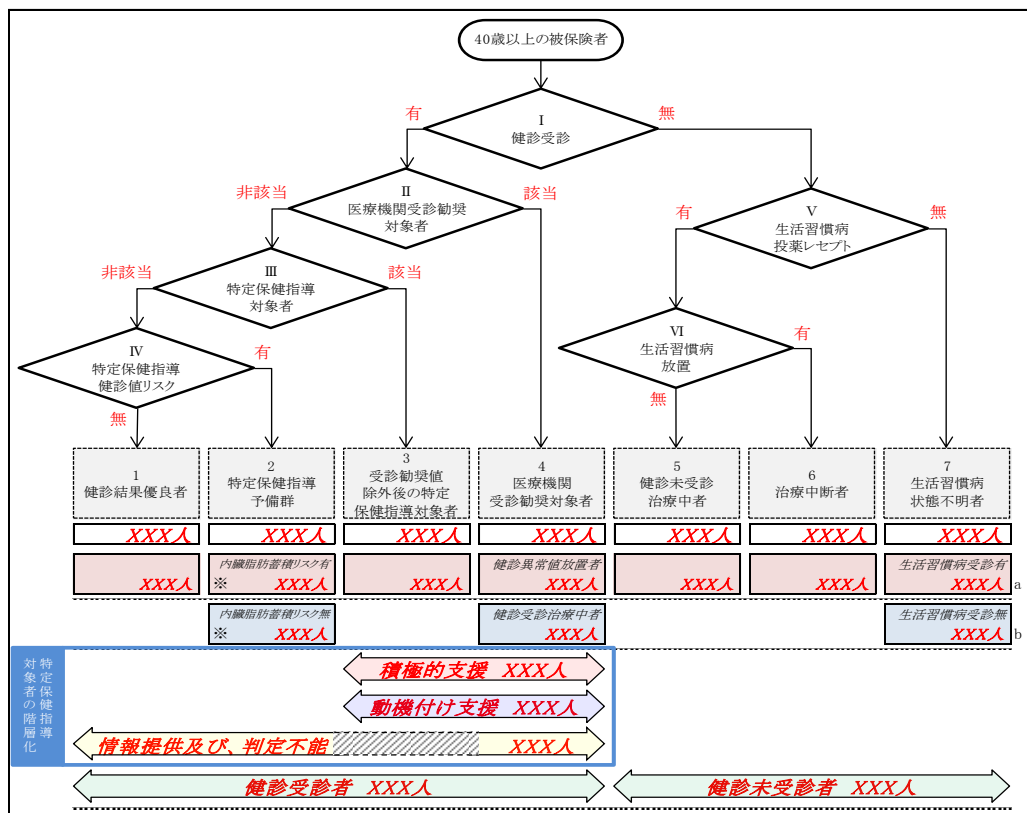
※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対する回答数を集計。

3. その他

(1)「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク…厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
 - 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者…受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者
 - 健診異常値放置者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
 - 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病投薬レセプト…生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

(2) 用語解説集

用語		説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3か月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3か月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2か月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

(3) 疾病分類表 (2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻疹後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他 ^① の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の痙攣性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎□アルコール性のものを除く)	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変□アルコール性のものを除く)	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		